

施策	111	評価担当課名:健康課	関連部局:医療保険課、こども未来課	後期基本計画掲載 P.4
----	-----	------------	-------------------	-----------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	1.健康づくりの推進
中項目の基本方針	市民一人ひとりの健康への意識を高め、健康づくりを支援するとともに医療体制の一層の充実に努めながら、安心して暮らせる健康・医療環境を築いていく。		

施策名	健康づくりの支援
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「健康ささやま21計画」に沿って、自主的な健康づくりへの意識啓発、学習機会の提供、保健医療情報の提供とともに、医療機関など関係機関との連携を密接にし、市民の健康づくりを計画的に推進する。また、母子の健康づくりは、各種健康診査や教室、相談事業を充実させ、「第5次老人保健計画」に基づき生活習慣病予防や介護予防事業の推進に努める。さらに、愛育班やいずみ会など健康に関わる自主組織の育成などを促進し、地域ぐるみでの健康づくりを支援する。
---	---

施策の実施状況 と課題	「健康ささやま21」の数値目標を目指して、健康教育、健康相談また、自殺対策や、食育推進対策など、他課他機関連携による事業を開催した。今後も愛育班やいずみ会と連携し、生涯を通じた自主的な健康づくりの普及啓発を進める。 がん検診は、未受診者対策事業の実施や兵庫医科大学ささやま医療センターへの委託によるマンモグラフィ検診実施により、受診者数が伸びた。今後も市民への利便性をさらに図るため、医療機関健診の同時実施について医師会と協議を行う。胃がん検診については、兵庫医科大学との研究事業により胃がんリスク検診(ピロリ菌検診)の導入について検討を行う。子宮頸がん検診は、無料クーポン券の定着とともに、若年者への受診勧奨として成人式での予防啓発をはじめ、子宮頸がん予防ワクチンの無料接種の実施に合わせた講演会等予防啓発の効果により、受診者が伸びた。今後は、子宮頸がん予防ワクチン接種の啓発とともに、学校保健との連携も図り、更なる啓発に努める。また、65歳以上のかかりつけ医で行う特定健診の受診率が大幅に減少しているため、今後受診率の向上に取り組む。 母子保健事業では、「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施率が96.1%であった(昨年度は84.2%)。核家族化が進み出産後は母子共に孤立しやすい状況にあるので実施率100%を目指す。子どもの発達支援として平成22年度より神戸大学との地域連携事業として就学前発達障害児等早期支援システム構築を実施している。 妊婦健康診査費補助事業については妊婦一人あたり70,000円を上限に520人に対して助成を行った。今後も、妊婦健診にかかる経済的負担軽減のための費用助成を継続する。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
健診・がん検診受診率		%	-	21.4	22.0	21.8		県13.2%(H19) 国の目標50%
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
妊産婦健康診査受診者数	診査にかかる受診者数	人	-	522	520	500		

総合評価	施策の達成度: -	-	健康増進事業への取組みについて、未受診者対策事業により受診者や健康教育・健康相談の参加者が増加した。今後も受診率の向上等を目指すとともに、市民の利便性を考えた効果的なあり方を検討する。特に65歳以上の受診率については低下傾向にあるため、今後対応を検討する。 また、女性特有のがん予防についても、ワクチンの予防接種の推進や若年層への普及啓発を進めていく。青年期・壮年期の健康教育・健康相談にも重点を置き、障害を通じた健康づくり意識の向上を図る。
	構成事業の妥当性: 計画通り進める		
	施策の方向性: これまで通り力を入れる		

施策評価シート(平成22年度実施分事後評価)

(施策を構成する事務事業)

事務事業	事務事業名	再生計画	市一般財源 〔人件費込〕 (千円)	活動指標	単位	H21	H22	H22	対H22	事業の 方向性
						実績値	実績値	目標値	達成度	
11101	8020運動事業	ま-23P	417	歯磨き教室参加者数	人	513	572	571		B
11102	重複・頻回受診相談事業	ま-23P	382	訪問・指導人数	人	20	8	-	-	A
11103	健診等受診補助事業(各種検診助成)	ま-23P	7,434	がん検診等受診者数	人	9,559	6,892	9,600		A
11104	健診等受診補助事業(特定健診実施)	ま-23P	9,926	特定健診受診件数	人	3,378	3,082	4,172		A
11105	健康増進事業総括事務	ま+23	1,451	健康観 (健康と思う人の割合)	%	H21調査 68.2	-	向上	-	B
11106	健康教育事業	ま+23	3,120	健康教育参加者数	人	3,168	2,925	5,107		B
11107	健診・がん検診事業	ま+23	48,960	がん検診受診者数	人	11,405	11,742	11,600		A
11108	健康相談事業	ま+23	6,355	相談延人数	人	3,520	5,620	-	-	B
11109	訪問指導業務	ま+23	2,452	訪問指導延数	人	132	331	160		B
11110	食生活改善推進活動事業(いずみ会活動)	ま+23	3,175	篠山市いずみ会会員数	人	269	247	280		B
11111	母子保健推進員活動事業(愛育班活動)	ま+23	7,320	声かけ訪問件数	人	56621	57000	57,000		B
11112	健康ささやま21計画事業	ま+23	209	健ささ目標達成率 (達成+維持)	%	68.9	-	向上	-	B
11113	食育推進事業 (食育推進本部会議)	ま+23	3,589	朝食を毎日食べている子どもの割合	%	86	95	90		A
11114	自殺対策事業	ま+23	687	研修会参加者数	人	0	454	-	-	B
11115	歯科保健事務事業	ま+23	1,089	関係会議開催数	回	1	3	-	-	B
11116	結核予防事業	ま+23	2,223	健診日数	日	16	16	16		B
11117	予防接種事業	ま+23	58,312	麻しん風しん予防 接種2期接種率	%	93	94	95		B
11118	感染症対策事業	ま+23	16,788	新型インフルエンザ 1歳~小学校6年生の総 接種者数	人	1,614	248	-	-	B
11119	献血事業	ま+23	1,306	献血日数	日	13	16	13		B
11120	関係機関連絡事務・会議	ま+23	10,152	連絡調整に関する 会議の開催回数	回	176	180	180		B
11121	母子保健事業総括事務	ま+33	5,499	子育てを楽しいと感じている 子どもの割合	%	H21調査 74.5	-	向上	-	B
11122	母子健康手帳交付事務	ま+33	1,553	母子健康手帳発行 数	人	343	330	-	-	B
11123	訪問指導事業	ま+33	3,312	こんにちは赤ちゃ ん訪問実施率	%	84.2	93	100		B
11124	乳幼児健診事業	ま+33	15,010	乳幼児健診受診率	%	95	95	100		B
11125	すこやか相談事業	ま+33	2,360	実施回数	回	24	24	24		B
11126	すくすく相談事業	ま+33	867	実施回数	回	6	6	6		B
11127	乳児健康相談事業	ま+33	2,183	実施回数	回	12	12	12		B
11128	子育て相談事業	ま+33	1,286	実施回数	回	24	24	24		B
11129	パパママ教室事業	ま+33	1,788	実施回数	回	12	12	12		B
11130	離乳食教室事業	ま+33	1,214	開催回数	回	11	12	12		B
11131	親子あそび教室事業	ま+33	2,690	実施回数	回	23	22	24		B
11132	思春期保健福祉体験学習事業	ま+33	2,768	事業実施校	校	7	9	6~7		B
11133	神戸大学地域連携事業	ま+33	2,703	支援者研修回数	回	1	1	2		A
11134	妊婦健康診査費補助事業	ま+33	19,043	受益者数	人	522	520	500		A
11135	健康大学事業	ま+21	2,556	参加者数	人	152	130	120		B

施策	112	評価担当課名:医療保険課	関連部局:健康課、消防本部	後期基本計画掲載 P.5
----	-----	--------------	---------------	-----------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	1.健康づくりの推進
中項目の基本方針	市民一人ひとりの健康への意識を高め、健康づくりを支援するとともに医療体制の一層の充実に努めながら、安心して暮らせる健康・医療環境を築いていく。		

施策名	医療体制の充実
------------	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	疾病予防対策と多様な疾病に対応できる医療環境の充実を図り、在宅医療関係の充実と監査体制の構築、市内医療機関の連携体制の充実を目指す。市内の中核病院を中心とした地域医療体制の構築や包括的なケアサービス展開が図れる医療体制の形成を進める。救急医療は大規模災害への対応システムの構築と初動マニュアルの策定、1署3出張所体制による地域格差の解消を進める。また健康づくりからハピリまでの一貫した保健医療体制の確立と市立診療所の医療環境の向上に努める。各医療保険、医療制度の健全運営と、福祉医療の制度の見直しを進める。
---	---

施策の実施状況 と課題	国民健康保険直営診療所の東雲・後川巡回診療所は、7月から診療所として新規開設を行い、地域医療を守るため、在宅医療・医療予防に力をいれ、地域に根ざした診療体制を構築した。 休日診療は、日祝・年末年始69日を休日診療所で診療。休日における一時救急施設として、1日あたり16名程度の利用がある。 消防本部については、1署3出張所体制で運用することにより、現場到着時間の短縮が図られ、より早く救急救命士の処置が受けられるようになった。課題としては、医療機関とのさらなる連携、3出張所の体制強化による現状以上の現場到着時間の短縮を目指す。 救急医療体制整備について、平成22年6月にささやま医療センターがオープンし「篠山市二次救急輪番制度」(ささやま医療センター・岡本病院・にしき記念病院の3病院)が確立され、篠山市消防本部が行う救急搬送の365日の受入れを可能としている。 国民健康保険事業においては、平成22年度特定健診・保健指導の未受診者対策事業を実施し、電話勧奨により健康相談及び特定健診の受診に繋がった。今後の特定健診等のデータを把握し、早期発見・早期治療に努め、国保財政の健全化を図る。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
全救急搬送の中の市内病院搬送率		%	-	74.6	74.5	-	-	54.4%(丹波市)
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
4診療所受診者数		人	-	13,413	13,200	13,000		

総合評価	施策の達成度: -	-	救急医療体制の整備については、二次救急輪番制度によって市内搬送率を維持できており、また休日診療所などによる重層的な診療体制が整い、順調な運営が出来ている。 また、市内の各診療所についても、地域住民への健康意識高揚の啓発活動を行い、地域に根ざした診療所となるよう取り組んでいる。地域医療については地域住民で守る地域医療の推進を進めていく。 消防本部についても、出張所体制の構築により、地域格差の解消が図れた。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める		
	施策の方向性: これまで通り力を入れる		

施策	121	評価担当課名:地域福祉課	関連部局:福祉総務課	後期基本計画掲載 P.11
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	福祉のまちづくりの推進
------------	--------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「地域福祉計画」をもとに、市民が自立した地域社会を目指し、近隣住民間の相互扶助、社会福祉法人やボランティアが協力する福祉サービスの充実や住民等による福祉活動の組織化を推進する。また、誰もが快適に暮らせるまちの空間形成を図るため、バリアフリー化の促進や道路・交通環境の改善整備、高齢者や障がいのある人に配慮した公営住宅の供給など、福祉のまちづくりを推進する。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>地域ボランティアについては、高齢者及び障がい者への活動を中心に、任意の組織や地域の組織がある。しかしながら、新規にボランティア活動に参加する人が少なく、ボランティア組織数は横ばい状態である。</p> <p>まちづくり協議会については、平成22年度に19地区すべてのまちづくり協議会が発足し、地域で誰もが安心・安全に暮らしていくためのひとつとして、福祉分野について「福祉のまちづくり研修」を行った。今後も更なる地域の課題・問題について、話し合いでの交流活動が必要となる。</p> <p>民生委員児童委員については、地域福祉における地域での重要な役割を担っていたが、昨年度改選を行い、約6割の方が新任となった。地域におけるニーズや問題は複雑・多種多様化しており、相談に対応できるよう専門的知識の習得について支援する必要がある。</p> <p>障がい者の施策としては、各施設などにおける障がい者用駐車場や障がい者用対応トイレなどの設置が進むとともに、平成22年度には、篠山歴史美術館にオストメイト対応トイレの整備を行った。また篠山城下町地区ユニバーサル社会づくりとして、篠山小学校区内のまち歩き検証、市民センターにおける施設検証等の取り組みを行った。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
民生委員活動日数	民生委員一人当たりの地域活動日数	日	-	122	125	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	地域ボランティアの活動は、地域内組織や任意の組織で活動されているが、組織数自体は横ばいの状況である。また、社協での掌握も不十分な状態である。民生委員児童委員については、地域福祉の担い手として大きなウェイトを占めているが、H22にて改選を迎え約6割が新任となり、今後専門知識の習得等を積極的に支援していく。 また、障がい者が安心・安全に過ごせるよう、オストメイト対応トイレやユニバーサル社会づくりの取り組みを行っており、今後も積極的な取り組みを行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる	

施策	122	評価担当課名:福祉総務課	関連部局:地域福祉課	後期基本計画掲載 P.11
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	社会参加の促進
-----	---------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>高齢者、障がい者の社会参加を促進するため、啓発活動の推進、相談指導体制の充実、スポーツ・文化活動への支援を進めるとともに、障がい者の就業支援としてジョブコーチ派遣制度の紹介や社会訓練適用事業所の増加を図る。シルバー人材センターの運営については、業務の増加・開発、会員数の増加を、業務の安全性の確認を徹底する。老人クラブについても魅力あるクラブ作りと活動の活性化支援を進めるとともに、前期高齢者層の高齢期を支援するための施策充実と、それぞれの経験を活かせる仕組みづくりを進め、生きがいある福祉活動の推進を図る。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>高齢者就業機会確保事業(シルバー人材センター)の会員数については、会員増に向け、毎月入会説明会や募集チラシの配付を行い会員確保に努めているが、H21年度は398人、22年度においても同数の横ばい状態である。受託件数及び額については、H21年度に比べると22年度は約11%増の契約金額となった。しかしながら、H22年度からセンターへの国庫補助金の大幅減額があり、人員の整理など進める中、経営状況は非常に厳しい。安定した経営、受注額の増加などが課題である。</p> <p>障がい者の社会参加については、身体・知的・精神障がい者が篠山スポーツセンターにおいてスポーツフェスティバルを行い、市内の幼稚園児も参加し親睦・交流を図った。また知的障がい者の就労支援については、障がい者就労支援事業庁内検討委員会を設置し、庁内の事務的軽作業を抽出、集約、選定を行い、平成23年度よりこれらの作業を対象として障がい者に取り組んでいただく予定である。なお、その過程で障がい者を雇用する上での配慮する事項や、効果、課題等を検証するとともに業務効率化の視点から庁内軽作業のアウトソーシングの可能性についても検討を行う予定である。</p> <p>車いすマラソンは社会参画を促進するため、全国で3箇所のみで開催地として開催を行い、平成22年度は137名の参加があり社会参画に向けた支援を行う中で障がい者に対する理解を深めた。</p> <p>老人クラブについては、クラブの加入者数が年々減少傾向にある。主な理由としては、会員の高齢化により役員のみならず手がなく活動を継続できていないケースや、団体行動ではなく個人的なグループで行いたいと考える方の増加などがある。魅力ある活動作りを支援し休会クラブの復活や新規開始への啓発が課題である。</p>
------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
シルバー人材センター会員数			人	381	398	398	450		丹波市835人(H23.4.1)
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
老人クラブ会員数			人	7,837	7,362	7,096	8,400		丹波市6,489人(H22.4.1)

総合評価	施策の達成度	-	<p>高齢者就業機会確保事業については、運営が厳しい状態であることから国への補助基準の確保要請などを行い、事務局体制の合理化や新規受託事業の開発などを行っていく。</p> <p>車いすマラソンについては、開催意義を再確認し参加者の増員等で大会を盛り上げていく。</p> <p>老人クラブは会員数が減少しており、今後魅力あるクラブ活動を目指せる対策を講じていく。</p>
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	123	評価担当課名:地域福祉課	関連部局:福祉総務課、医療保険課、市民課(支所)	後期基本計画掲載 P.11
----	-----	--------------	--------------------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	高齢者福祉の充実
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>介護予防の推進、外出や給食など日常生活を支援する取り組みを展開し、さらに高齢者虐待・権利擁護・要介護者台帳の整備など、地域で生活が継続できる体制づくりを進める。また、介護保険事業の運営については、給付の適正化を図り健全な事業運営を目指す。高齢者が生きがいを持って生活できるよう、より質の高いサービスが提供できる制度の導入を検討する。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	<p>「高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる」まちづくりをめざして、高齢者の日常生活を支援する取り組みを展開しているが、権利擁護・高齢者虐待の視点からも地域で見守れる体制作りに取り組んでいる。また、防災体制においても、自助・共助の観点から意識向上を図り、自分たちで活用できるしくみ作りを支援していく。今後も委託を行っている西部地域支援センター及び、平成23年度に委託を行う東部地域支援センターと情報共有しながら連携を図り、事業の推進を行う。</p> <p>効果的な介護予防事業の推進を図るため、健康増進と介護予防を一本化し事業展開している。また地域の力を活用した自主的な介護予防活動の推進を進めている。</p> <p>また地域包括支援センターとの連携・協働体制の確立を図り、効率的・効果的な介護予防の推進を行っている。</p> <p>認知症対策についても、正しい理解に関する啓発や地域における見守り体制の充実を図り、関係機関の連携にも取り組んでいる。</p> <p>介護保険サービスについては、平成22年度中に短期入所生活介護20床増床及びグループホーム2箇所(18人)増設を行い、総介護サービス給付費は、平成21年度と比べ1億600万円増となり、サービスの充実を図った。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
外出支援サービス年間登録者	福祉車両を利用した送迎サービス	人	124	142	163	150		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
介護予防事業年間参加人数	筋力トレーニング、口腔ケア	人	31	169	184	360		

総合評価	施策の達成度	-	健康増進及び福祉の向上を目指し、西部地域支援センターを社会福祉協議会に委託し、H23には東部地域支援センターも委託予定である。専門職の安定的な配置を可能とし、さらに地域の包括的なケアを図れるよう事業を推進する。また、今後は地域福祉のニーズを把握し、より権利擁護に特化した「福祉総合窓口」の開設を進め、権利擁護支援が充実する事業を実施する。
	構成事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

(施策を構成する事務事業)

事務事業	事務事業名	再生計画	市一般財源 〔人件費込〕 (千円)	活動指標	単位	H21	H22	H22	対H22	事業の方向性
						実績値	実績値	目標値	達成度	
12301	西紀老人福祉センター管理		7,121	利用者数	人	589	700	600		B
12302	地域介護・福祉空間整備交付金事業		78	-	-	-	-	-	-	B
12303	介護基盤の緊急整備特別対策事業		244	-	-	-	-	-	-	B
12304	敬老事業		2,356	敬老会参加者数	人	7,087	4,424	7,196		B
12305	高齢者祝福事業事務		2,534	記念品贈答数	人	258	311	300		B
12306	人生80年いきいき住宅助成事業		3,626	助成件数	件	6	13	15		B
12307	老人保護措置事業		46,879	措置人数	人	25	26	25		B
12308	緊急通報体制整備事業	行39	5,208	装置設置件数	件	267	259	300		B
12309	外出支援サービス事業	行40	9,373	外出支援サービス運行延べ回数	回	3,663	2,838	3,500		B
12310	生きがいデイサービス事業		1,767	延べ利用者数	人	474	499	500		B
12311	老人日常生活用具給付事業		653	給付件数	件	14	14	15		B
12312	在宅老人介護用品給付事業		2,335	利用者延べ人数	人	1,104	1,109	1,100		B
12313	配食サービス事業	行43	943	延べ配食数	食	3,137	3,149	3,000		B
12314	高齢者相談業務等		3,513	相談件数	件	-	587	-	-	B
12315	権利擁護事業		5,498	相談件数	件	170	155	-	-	A
12316	高齢者支援事業	行41	4,557	生活援助事業利用延べ回数	回	717	660	800		B
12317	地域自立生活支援事業		1,021	施設訪問回数	回	96	92	96		B
12318	住宅改修事業		1,820	助成件数	件	189	195	-	-	A
12319	東部地域支援センター事業	行:(3)-18	4,612	65歳以上人口に占める相談件数の割合	%	7	6	7		C
12320	東部介護予防サービス事業	行:(3)-18	13,961	ケアプラン作成件数	件	2,581	1,557	2,580		C
12321	老人保健医療費給付事業		382	-	-	-	-	-	-	B
12322	老人医療費助成事業		12,725	受給者数	人	570	401	-	-	B
12323	介護保険苦情相談事業		4,076	介護サービス調整委員会開催回数	回	1	1	-	-	B
12324	介護認定審査事業		14,978	認定審査会開催回数	回	76	80	77		A
12325	要支援・要介護認定調査・主治医意見書作成依頼事業		31,632	認定調査実績回数	回	2,179	2,600	2,400		A
12326	介護給付等費用適正化事業	行63	1,865	ケアプランチェック数	回	0	0	20		B
12327	介護保険事業所実地指導		4,200	介護サービス事業所実地指導回数	回	4	7	5		B
12328	高額介護サービス給付事業		9,663	高額介護サービス費	千円	53,519	55,919	56,600		B
12329	介護保険給付管理事業		2,711	審査支払手数料	千円	3,676	3,358	3,444		B
12330	介護予防特定高齢者施策事業	ま+21	3,231	特定高齢者把握数	人	591	327	550		B
12331	介護予防一般高齢者施策事業	ま+21	5,776	一般高齢者介護予防事業参加者数	人	4,223	5,457	2,500		B
12332	後期高齢者医療費給付事業		146,133	後期高齢者保険料徴収率	%	99	99	100		A
12333	後期高齢者医療健康診査事業		18,148	後期高齢者医療健康診査受診率	%	5	5	5		B
12334	高齢重度障害者医療費助成事業		18,792	受給者数	人	549	544	-	-	B
12335	高齢重度精神障害者医療費助成事業		7,728	受給者数	人	5	6	-	-	B

施策	124	評価担当課名:地域福祉課	関連部局:医療保険課、福祉総務課	後期基本計画掲載 P.12
----	-----	--------------	------------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	対象者別福祉の充実
-----	-----------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>国における介護保険への一元化の検討結果を考慮しつつ、障がい者福祉の計画的・総合的な推進を図る。</p> <p>相談・指導体制の強化、各種啓発活動や障がい者間及び健常者との交流、在宅サービスの充実などを推進するとともに、授産施設や小規模作業所、職業訓練校の充実、移動手段・送迎サービスの充実、まち全体のバリアフリー化、ガイドヘルプ制度の充実、居住・入居施設などを促進する。</p> <p>また、生活困窮者に対し最低限度の生活を保障すると共に、困窮の原因を把握し社会保障サービス等の活用により自立を支援する。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>障がい者に対する施策については、障がい者福祉サービスの整備推進等により、在宅サービスの充実を図ってきた。まちのバリアフリー化に取り組み、障がい者用トイレの設置や駐車場、施設の段差解消等バリアフリー化に対し一定の成果が上がった。また、地域の中で、障がい者等がいきいきと在宅生活が送れるよう地域づくりを推進しなければならない。</p> <p>就労支援については、取り組むべき課題があるが、平成22年度より市役所内において、知的障がい者の就労体験実習に取り組んだ。</p> <p>生活困窮者に対しては、最低限度の生活を保障するため必要な保護及び援助を行ってきた。被保護世帯に対する自立支援については、就労支援を更に重点的に行うため、平成22年4月より就労支援員として非常勤嘱託職員を雇用し、ハローワーク篠山と連携して生活保護受給者等就労支援事業を行うなど、被保護世帯の早期自立に取り組んだ。また、就労支援中の被保護者に、履歴書の記入方法や就労先での面接対応等について指導した。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
障害福祉サービス実支給決定者数		人	-	311	308	316		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
重度認定者の施策サービス利用割合	介護保険施設入所者における介護度4・5の認定者の割合	%	35	54	53	増加		

総合評価	施策の達成度	-	障がい者に対する施策については、まちのバリアフリー化に取り組み、一定の効果が上がっている。就労支援については、平成22年度より市役所内において就労体験実習を行い、平成23年度に就労支援モデル事業を計画している。 しかし、障がい者の一般就労はまだまだ難しく、モデル事業やアンテナショップの開設などによる新たな取組みを進めていく。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	125	評価担当課名:こども未来課	関連部局:医療保険課、丹南児童館、福祉総務課	後期基本計画掲載 P.12
----	-----	---------------	------------------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	子育て環境の向上
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「篠山市次世代育成支援対策推進行動計画」に基づき、子育て支援の推進を行う。子育てしやすい環境を整えるため、子育てふれあいセンター・ファミリーサポートセンター・児童クラブの活動を充実させる。母子家庭の子育て・生活など総合的な支援を行う。就学前教育の充実を図るための幼保連携が密となる組織体制、施設整備の充実を推進する。
---	--

施策の実施状況と課題	<p>ファミリーサポートセンター事業については、平成22年度末で3会員あわせて284名となっており、年々増加傾向にあるが、活動件数は323件となっている。平成22年度においては、運営委託先である社会福祉協議会と費用対効果に関する課題について協議を行った。その結果、平成23年度から社会福祉協議会が運営主体となり、補助方式とすることとした。これにより、アドバイザーの効率的な雇用が可能となり運営費の削減を図ることができる。また、様々な問題を抱える家庭に対しては、こども未来課と連携し、問題解決に向けた取組みを行った。今後は、より一層制度の周知を図るため、市広報紙や社協広報紙を通じて情報提供することが重要であるとともに、複雑な問題を抱える家庭に対し、適切に対応できるよう、更に関係機関との連携の充実が重要である。</p> <p>子育てふれあいセンター事業については、平成22年度から味間認定こども園のおとわ園において、身近なところで気軽に集える場として週2回「遊びの広場」の開設を行うとともに、男性の子育て参加をより促進するため、休日の事業開催を行った。また、健康課やこども未来課と随時連携をとり、個々のケースに応じた子育てに関する情報提供や助言を行っている。</p> <p>母子家庭自立支援事業については、子育て、生活支援、就業支援策、養育費等の確保、経済支援策等について随時相談の実施や児童扶養手当等母子家庭における様々な制度についての情報提供や助言・指導を行っている。平成22年度は、母子家庭総合対策事業を活用し准看護師やホームヘルパーの資格を取得され就労に繋がった。また、複雑な問題を抱える家庭に対しては、こども未来課と連携することで、早期に課題対応することができた。</p> <p>児童クラブの活動の充実については、指導員の指導力向上のため、特別支援の必要な子どもたちの受け入れに必要な知識や技術習得のための研修会を実施した。情報交換することで色々なことが共有でき、今後の子ども達の成長や発達に応じた指導につなげていこうとする意識が構築された。</p> <p>また、NPO法人城南ライフサポートによる城南児童クラブ「ピープル」が設立され、民設民営の児童クラブが継続的に安定した運営を行うため、補助金を交付し側面的支援を行った。</p> <p>また、大山小学校区の児童を対象とした児童クラブが未設置であったため、保護者からの要望を受け、西紀児童クラブでの受け入れについて、運営委託先の丹波ささやま農業協同組合との協議を進め、平成23年4月1日から受け入れが可能となり、子育て支援の充実を図った。味間児童クラブについては、利用児童の増加が予測されるため、小学校の余裕スペースの活用も含めて検討する。古市小学校区の児童クラブについては、現在未実施となっているため、今後検討・協議していく。</p> <p>平成22年度の新たな取組として、子育て環境づくりのため、大人それぞれの役割を明確にし、「子育て・子育て」を地域社会全体で支えるための指針とする「篠山市子育ていちばん条例」の素案を策定した。</p>
------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
児童クラブ箇所数			箇所	-	6	7	6		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	改善が必要	子育て支援について、関係部局との連携が重要であり、情報を共有しながら事業に取り組んでいる。今後は更に様々な課題に対応しながら支援に取り組んでいく。 児童クラブについても、全市的な保護者のニーズに応えると共に、対象児童数の将来的な推移を鑑みながら事業展開を行う。
	構成事務事業の妥当性			
	施策の方向性	これまで通り力を入れる		

施策	126	評価担当課名:医療保険課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.12
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	2. すべての人への福祉の充実
中項目の基本方針	地域の人々の間での相互扶助を基本とした地域福祉を推進するとともに、すべての人が安心して暮らせるセーフティネットの構築をめざし、安定的な社会基盤の充実を図る。		

施策名	国民年金の適切な運営推進
------------	---------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	全ての国民で支えあう年金制度の正しい理解を促進し、20歳到達者への加入促進や他の公的年金からの加入漏れを防ぎ、完全適用を目指す。また、年金受給の指導など適正な受給を推進する。
--	---

施策の実施状況と課題	<p>本庁・5支所において、国民年金の制度及び納付及び免除関係等の必要性について啓発し、未納にならないよう、資格取得届時に十分な説明・相談をおこなっている。又、奇数月に年金機構からの年金相談を開催し、裁定請求等の申請についても利便性を図っている。</p> <p>県下の国民年金の納付率は、58.99%であるが、篠山市の納付率は、65.5%となっている。</p> <p>課題として、将来の生活財源である年金受給額を確保するため、特に若者等の納付相談の充実を図る。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
窓口相談者数	窓口における相談件数	人	-	2,598	2,430	2,500		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
免除申請者数	年金免除申請者数	人	-	1,901	1,856	2,000		

総合評価	施策の達成度:	-	年金相談については窓口相談の充実が図れており、引き続き相談事業等を継続することで、今後の納付率向上を図り、未加入者の減少を目指す。
	構成事務事業の妥当性:	計画通り進める	
	施策の方向性:	これまで通り力を入れる	

施策	131	評価担当課名:公民館	関連部局:社会教育・文化財課、 スポーツセンター	後期基本計画掲載 P.15
----	-----	------------	-----------------------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	3. スポーツ・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	市民が心身ともに健康でいきいきと暮らし、市内外の人々の豊かな交流が営まれるよう、豊かな自然を活用し、多様なスポーツ・レクリエーションの場と機会の提供を図る。		

施策名	スポーツ施設の整備・充実
-----	--------------

施策の内容
(後期基本計画記載事項の要約)

小中学校などの体育施設の開放については、スポーツと親しむ場を提供するため、地域の人々との協働での運営体制を検討し、安全性・利便性に留意して施設の整備・充実を進める。
「篠山総合スポーツセンター」は、市民スポーツ活動の中核として積極的な活用を進めていくとともに、スポーツを通じた健康づくりなどの情報発信基地として、市内スポーツ施設と連携し、市民に様々な機会の提供を進める。「西紀運動公園」についても、スポーツ教室やイベントなどでの活用を推進する。
また、公式野球場や陸上競技場の整備については、既存施設の活用も含めて検討する。

施策の実施状況と課題

小中学校の体育施設の開放と中央公民館が管理するスポーツ施設については、利用人数は増加しているが、老朽化した施設の整備が課題となっている。また、小中学校の体育施設においては、一部においてスポーツクラブ21などの団体がグラウンド整備を行うなど、市民との協働による運営体制が構築されつつある。
篠山総合スポーツセンターは、市民の健康増進並びに余暇におけるレクリエーション等の拠点施設として利用すると共に、各種種目別団体の大会会場として体育施設の貸し出しを行った。また、市民の体力維持向上を図るためのスポーツ講習会を開催した。
施設整備については、西紀体育館2階に落下防止用手すりを設置したほか、川代体育館トレーニング機器周辺に防球ネットを設置するなど安全性の向上を図った。
課題としては、耐震化未実施施設や老朽化が進んでいる施設もあり、今後ますます修繕費等の維持管理経費が必要となってくる。
西紀運動公園については、平成19年度より指定管理制度を導入し、指定管理者による適切な運営が図られているが、老朽化等により修繕が必要な設備や備品等が出てきている。また、利用者数が減少傾向にあり、啓発活動等利用促進に努める必要がある。
公式野球場や陸上競技場の整備については、市の財政状況による難しいものがある。

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
学校施設年間利用者数	学校施設の利用者数	人	117,500	120,328	125,046	増加		利用件数886件
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
スポーツ施設年間利用件数	市スポーツ施設の年間利用件数	件	22,694	18,017	30,402	25,000		

総合評価	施策の達成度	-	学校開放施設については、地域住民との協働による運営体制に向けて意識付けを促進していく。 西紀運動公園について、今後も指定管理者制度での安定した施設運営に努める。スポーツセンターの利用については、今後より市民の体力向上に寄与できる事業を進めていく。 各スポーツ施設の安全管理については、各施設の点検や手すりの設置などを行っており、今後も耐震補強などを含めたより安全な施設管理に努める。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	132	評価担当課名:社会教育・文化財課	関連部局:公民館	後期基本計画掲載 P.15
----	-----	------------------	----------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	3. スポーツ・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	市民が心身ともに健康でいきいきと暮らし、市内外の人々の豊かな交流が営まれるよう、豊かな自然を活用し、多様なスポーツ・レクリエーションの場と機会の提供を図る。		

施策名	市民スポーツ活動の推進
-----	-------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>より多くの市民が、スポーツを通じた体力の向上や健康づくりを継続的に実施することを目標に、引き続きスポーツ・イベントや、市体育指導委員会、体育協会、体育振興会などの支援や指導を受けた気軽で多彩な研修や教室の開催などの取組みを進めるとともに、体育協会傘下の種目別団体の支援に努める。</p> <p>「スポーツクラブ21」は、誰もが参加しやすい体制を整え、クラブの安定的な活動の支援に努める。また、「のじぎく兵庫国体」を契機に、様々なスポーツにおいて競技レベルの向上に努める。</p>
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>市民にスポーツの機会を提供するため、各種スポーツ団体への事務的支援や補助金交付等の支援を行った。各団体が、それぞれの分野で継続的に活動することで、市民の健康増進が図られるとともに、地域体育祭等を通じて地域の一体感や活力を醸成する一助となった。</p> <p>競技スポーツの向上、地域スポーツの振興をより高めることを目的として、市体育協会から市体育振興会が独立し、別々に活動を展開することになった。それぞれの団体が、主体的に活動できるよう、引き続き自主自立に向けた支援を行っていく必要がある。</p> <p>まちづくり協議会の運営に、スポーツクラブ21の役員が関わるなど、地域スポーツの推進に対して連携も見受けられる。</p> <p>スポーツクラブ21については、19クラブが設立して7年が経過し、会員数が年々減少しているクラブもある。クラブの活性化や新たな会員を確保するため、クラブ間の合同開催事業等の支援や広報活動を積極的に支援していく必要がある。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
スポーツクラブ21加入者数	スポーツクラブ21加入者数	人	3,773	2,640	2,493	2,640		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	市民のスポーツ活動の充実・発展を図るため、市内の各団体との連携強化を行うと共に、団体の自主自立的な運営を促し、より活発な活動が出来るよう支援していく。 スポーツクラブ21については、クラブの活性化や新規会員を確保するため、クラブ間の合同開催事業や広報活動などを積極的に支援していく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	133	評価担当課名:観光課	関連部局:公民館	後期基本計画掲載 P.15
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	3. スポーツ・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	市民が心身ともに健康でいきいきと暮らし、市内外の人々の豊かな交流が営まれるよう、豊かな自然を活用し、多様なスポーツ・レクリエーションの場と機会の提供を図る。		

施策名	自然活用型レクリエーションの振興
------------	-------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>多紀連山登山道などの自然活用型レクリエーション施設を、市内外の人々のリフレッシュや交流の場とし、観光協会とボランティアグループと連携しながら、豊かな森の維持・向上と交流イベントを推進する。</p> <p>ささやまの森公園は、ボランティアスタッフなどとの更なる連携を図るとともに、管理・運営の一層の充実を促進する。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>多紀連山県立自然公園では、全国的価値に優れたクリンソウ自生の群落地に多くの見学者が訪れ、ボランティアグループによるクリンソウの保護活動や看板の整備、案内ガイドなどが行なわれた。地域の自治会では登山者のために駐車場を用意するほか、5月には多紀連山山びらきや11月には多紀連山アルペンルート登山を開催し、猪汁やゲーム大会で都市住民と交流を深め、豊かな自然環境を通じたレクリエーションが活発化している。</p> <p>また、ささやまの森公園等において、豊かな森林資源を活用した木のぼり体験や椎茸ほだ木づくり、バードウォッチングなどの交流プログラムを企画・実施し、市内外から多くの来園者を迎えている。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
自然・活用型レクリエーション施設年間利用者数	ささやまの森公園、丹波篠山渓谷の森公園、ユニピアささやま、佐中キャンプ場	千人	-	237	149	225		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	多紀連山自然公園等でのイベントを通じて、都市住民との交流が活発化しているが、事故防止や魅力アップのためには地域住民やボランティアグループとの連携が不可欠である。 また、地域住民だけでのイベント運営などが困難になることから、都市住民と協働した管理・運営を行う仕組みづくりを構築する必要がある。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	141	評価担当課名:福祉総務課	関連部局:市民協働課	後期基本計画掲載 P.17
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	4. 市民活動の支援と人材の育成
中項目の基本方針	市民が互いに支え合い、助け合いながら、より良い地域社会を形成していくため、ボランティアや自治会主体の福祉活動を中心としたコミュニティ活動や市民活動を積極的に支援し、身近なコミュニティを単位とした福祉の拠点づくりと人材の育成に努める。		

施策名	ボランティア活動の支援
------------	--------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	福祉をはじめとした様々なボランティア団体への活動支援や組織化を進めるとともに、ボランティア体験教室などの一層の充実により多くの市民がボランティアに参画できるように促す。 また、団体のNPO法人格の取得を踏まえた提案を行うほか、団体間の交流、情報交換など連携強化を図る。
--	---

施策の実施状況と課題	福祉ボランティアについては、給食サービス、在宅福祉、手話、朗読、点字、要約筆記等高齢者及び障がい者への活動を中心に、任意の組織や地域の組織がある。しかしながら、会員の高齢化や新規のボランティアに参加する人が少ない。 平成22年7月にテーマ型組織を支援する篠山市民プラザを開設した。登録団体等における各種相談や情報収集等、中間支援としての活動が行われており、今後、市民活動の活性化による新しい公共をより充実していく必要がある。
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
助成対象のボランティア団体数		団体	-	45	44	45		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度:	-	ボランティアの育成については、まちづくり協議会を中心とした地域型ボランティア組織の充実を図ると共に、分野別(テーマ型)ボランティア団体とまちづくり協議会との連携を図っていく。
	構成事務事業の妥当性:	計画通り進める	
	施策の方向性:	これまで通り力を入れる	

施策	142	評価担当課名:福祉総務課	関連部局:市民協働課	後期基本計画掲載 P.18
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	4. 市民活動の支援と人材の育成
中項目の基本方針	市民が互いに支え合い、助け合いながら、より良い地域社会を形成していくため、ボランティアや自治会主体の福祉活動を中心としたコミュニティ活動や市民活動を積極的に支援し、身近なコミュニティを単位とした福祉の拠点づくりと人材の育成に努める。		

施策名	地域福祉活動の推進
-----	-----------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>市民がお互いに支え合い、助け合いながら、より身近な地域コミュニティ活動を行う為、その拠点となるコミュニティセンターや公民館について施設整備や運営支援を行う。</p> <p>また、「要介護者システム」については、一人暮らし高齢者や障害のある人、乳幼児のいる家庭などの福祉要支援者の情報を共有するなどにより、緊急時の対応力を強化します。</p> <p>「集落等福祉活動事業」については、高齢者などの孤立化を解消するなど、子どもから高齢者まで地域のふれ合い活動を進める。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況 と課題	<p>いきいきサロンの活動については、平成21年度に40の自治会で実施し、平成22年度で更に5の自治会にて実施している。うち6集落では継続実施ができていないが、その他の集落では、2ヵ年の支援後も、自己の資金で継続している。</p> <p>また、平成22年度篠山市民生委員児童委員協議会事業として、1人暮らし高齢者等に対し、身近な安心対策として、「安心カード事業」を実施した。</p> <p>今後少子高齢化が進む中、高齢者の生きがいづくり、見守りに対する地域の役割はますます重要となっている。</p> <p>平成22年度末ですべての地区でまちづくり協議会が立ち上がり、地域コミュニティ・地域福祉に対し、地域住民の更なる参画が期待される。平成23年度には福祉の総合計画を作成する中で地域福祉計画を見直すこととなり、地区単位のワークショップを開催する。</p> <p>また、災害時要援護者支援については、現在台帳を作成して情報共有を行い、災害時に備えている。今後は要援護者の「個別支援計画」を作成し、避難支援者のみでなく地域全体の共助意識を高め、災害時だけでなく平時の見守り体制の整備も進めていく。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
小集落福祉事業実施自治会数			件	-	8	8	-	-	
主な施策指標			単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	<p>市内全ての地区でまちづくり協議会が結成され、地域課題の解消に向けた取組みが進められるようになった。地域福祉の課題は地域課題とリンクする内容であり、課題に対する取組みのきっかけになるいきいきふれあいサロン事業の展開に施策として重点化を図る。</p> <p>また、地域福祉活動については社会福祉協議会との連携を図った一体的な取組みを進めていく。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	143	評価担当課名:福祉総務課	関連部局:生活課	後期基本計画掲載 P.18
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	健康福祉の充実	中項目	4. 市民活動の支援と人材の育成
中項目の基本方針	市民が互いに支え合い、助け合いながら、より良い地域社会を形成していくため、ボランティアや自治会主体の福祉活動を中心としたコミュニティ活動や市民活動を積極的に支援し、身近なコミュニティを単位とした福祉の拠点づくりと人材の育成に努める。		

施策名	人材の育成
-----	-------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>地域福祉の人材を育成するため、養成講座等の開催などにより、地域福祉活動などに必要な技能や専門知識を有する人材を確保し、市民を対象とした講演会や情報発信を通じた意識の高揚を図るとともに、団体間の交流活動や情報交換の機会を増やす。さらにより効果的な福祉活動を展開するため、人材や団体を集約し一括して登録するなど、情報を広く発信する。また、市民活動を支える地域リーダーの育成について、市民と一体に展開できるよう体制の検討を行う。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>高齢化が進んでいく中で、支援が必要な高齢者に対する地域ボランティアを育成するため、介護予防サポーターや認知症サポーターを養成し、地域活動での主体や支援者として地域で活動を行っている。</p> <p>また、社会福祉協議会事業に対してはボランティア団体、障害者団体、ふれあいいきいきサロン事業などの補助を行っている。</p> <p>平成23年度には、社会福祉協議会が地域福祉推進計画を策定することとしており、19地区のまちづくり協議会で、市職員とともに地区ワークショップを行う。</p> <p>今後は社会福祉協議会が主体となって活動していくことが望まれ、社会福祉協議会自らが積極的に地域に関わっていく必要がある。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	<p>地域福祉の人材育成については、介護予防サポーター・認知症サポーターとも体制を整えているが、活動する場がない状態であり、人材活用の場作りを検討していく。</p> <p>福祉人材の連携については、社会福祉協議会が委託する「福祉委員制度」があるが、地域への浸透が不十分な状態であり、民生委員などと共に地域に根付いた活動が出来る仕組みづくりを構築する。今後社協に対して具体的な地域福祉行動計画を早期に策定するよう指導していく。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	211	評価担当課名:地域整備課	関連部局:地域計画課	後期基本計画掲載 P.20
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	1.計画的な住宅整備
中項目の基本方針	いつまでもすみ続けられる安心のまちづくり、美しいまちなみづくり、豊かな地域づくり、良質な住宅づくりをめざし、篠山らしい住環境の整備と既存ストックの活用に努める。		

施策名	篠山らしい住環境整備の推進
------------	----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>分散型の住環境の維持・向上に配慮し、人口定着を図るため、自然・歴史・田園に調和した住宅整備の推進を図る。また、住環境の維持・向上に向けた協定締結を支援する。</p> <p>生活基盤の整った住宅開発の計画的な誘導を図るとともに、多様なライフスタイルに対応した住宅の供給を促進し、「丹波の森構想」の理念に基づき、篠山らしいライフスタイルを支える住宅の整備を促進する。</p>
--	--

施策の実施状況と課題	<p>自然・歴史・田園に調和した住宅整備の推進を図っていく観点から、里づくり計画地区内において、地区住民自らが策定した計画(地域内ルール)により建築行為の誘導を図ってきたが、策定地区数の増加がほぼ横ばいで、建築件数についても大きな増加は見られない。</p> <p>後期計画期間中の建築協定締結は実績はないが、環境形成協定数は累計で54件、まちづくり協定件数は121件の市と開発事業者の締結実績となっている。</p> <p>平成22年度で計画期間を終了した現在の住生活基本計画(住宅マスタープラン)の改正により、生活基盤と調整された住宅開発の計画的誘導や、すでに各所で運営されているグループホームなど多様なライフスタイルに対応し、篠山の各地域特性に合った篠山らしい住環境の創造を図る。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
篠山市豊かな里づくり条例に基づく計画整備地区内での住宅建築件数	計画整備地区内での戸建住宅建築数	件	12	8	11	増加		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	定住促進を図るにあたり、社会・経済環境を勘案し、居住者の負担が大きくなるよう配慮した、市民がより快適に生活できるための施策を推進する。 住環境整備については、住民ニーズや本市の目標等を踏まえ、誰もが安全で安心して暮らせるために、関連部局と連携を図りながら住生活基本計画を策定する。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	212	評価担当課名:地域整備課	関連部局:企画課	後期基本計画掲載 P.20
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	1.計画的な住宅整備
中項目の基本方針	いつまでもすみ続けられる安心のまちづくり、美しいまちなみづくり、豊かな地域づくり、良質な住宅づくりをめざし、篠山らしい住環境の整備と既存ストックの活用に努める。		

施策名	既存ストックの活用
-----	-----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	民間住宅では、バリアフリー化の改修を促進するとともに、空き家・空き地情報を収集・発信し、空き家の有効利用や、伝統的な民家をストック資産として活用することで、人口の増大を図る。 公営住宅については、老朽住宅の建替や用途廃止、新設住宅による代替など検討しつつ、多様なニーズへの対応と維持・管理コストの削減に重点をおく事業を行う。また、「ストック総合活用計画」に基づき、防水改修や設備の改善とともに、高齢者や障害者のニーズに配慮した改修も進める。
---	---

施策の実施状況 と課題	民間住宅については、「人生80年いきいき住宅助成事業」によりバリアフリー化を促進、また、市内の空き家・空き地についての現状調査を実施し空き屋バンクを立ち上げ、後川、日置をモデル地区とし地域活性化事業で2戸の改修工事を実施するとともに、既存ストックの有効活用を推進している。 公営住宅については、「ストック活用計画」に基づき、耐震化・外壁改修工事等を計画的に実施しており、平成22年度は、耐震補強工事を京口団地、外壁工事を河原町団地で実施した。地上デジタル放送対応工事等は音羽住宅ほか4団地、住宅用火災警報器設置工事を西新町住宅ほか8団地で実施した。 平成23年度中に策定する公営住宅ストック総合計画、公営住宅長寿命化計画により、今後計画的にバリアフリー化等、住戸の整備を行う必要がある。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
公営住宅共用階段の未設置手すり箇所	手すり未設置箇所解消	箇所	106	0	0	0		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市営住宅戸数	管理住戸の戸数	戸	537	548	548	557		

総合評価	施策の達成度: -	民間住宅についてはバリアフリー化を促進し、また空き家バンクを立ち上げ既存ストックの有効活用を推進している。 公営住宅については、耐震化・外壁改修等を計画的に行っている。平成23年度より住生活基本計画の策定と併せて公営住宅ストック計画や長寿命化計画を策定し計画的な改善を行う。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める	
	施策の方向性: これまで以上に力をいれる	

施策	221	評価担当課名:地域整備課	関連部局:市民課、農都創造課、観光課	後期基本計画掲載 P.24
----	-----	--------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	2.自然環境の保全と活用
中項目の基本方針	自然と調和した豊かな農地、公益的機能を重視した森林の適正管理、多様な生き物の保全と復元、水と物質循環の促進に向けて、自然災害の被害の防止に努めつつ、自然環境や生態系の保全・維持管理・活用を推進する。		

施策名	自然公園の保全と活用の推進
------------	----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「丹波の森構想」に沿って、山林の持つ水源涵養、環境保全、災害防止などの公益的機能を維持しつつ、山林の保健・観光レクリエーション資源としての活用を推進する。 このため、3つの自然公園(多紀連山県立自然公園・猪名川渓谷県立自然公園・清水東条湖立杭自然公園)地域については、来訪者間のふれあいや環境学習の場としての整備を推進し、市内外の多くの人々の利用促進に努める。また、「丹波篠山渓谷の森公園」の利用促進や、「ささやまの森公園」、「県立丹波並木道中央公園」などの事業を推進するとともに、ボランティアを活用した維持管理手法の導入を図る。
---	--

施策の実施状況 と課題	自然公園内の整備については、施設及び遊歩道などの維持管理を地元自治会に委託し、定期的な植栽管理、草刈り等を実施したことにより、安全で快適な利用の確保をしたとともにアルペンルート登山の開催等により利用促進を図っている。 自然公園内施設の経年劣化等に対し、安全性の確保に資するため、確実な定期点検と計画的な修繕が必要であるとともに、維持・管理手法の検討が課題となっている。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
丹波篠山渓谷の森公園利用者数		人	28,110	20,805	19,418	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
ささやまの森公園ボランティア登録者数		人	81	78	73	80		

総合評価	施策の達成度	-	県民緑税を活用して整備を進めると共に、平成22年度から里山彩園事業を5地区で開催した。 自然公園の維持管理やイベント等の運営については、地元自治会や関係団体が協力して利用者確保を進めていく。公園施設の定期的な点検を行い、劣化に対する計画的な修繕等を行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	222	評価担当課名:地域整備課	関連部局:農都創造課	後期基本計画掲載 P.24
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	2.自然環境の保全と活用
中項目の基本方針	自然と調和した豊かな農地、公益的機能を重視した森林の適正管理、多様な生き物の保全と復元、水と物質循環の促進に向けて、自然災害の被害の防止に努めつつ、自然環境や生態系の保全・維持管理・活用を推進する。		

施策名	治山・治水事業の推進
-----	------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	災害のない安全なまちづくりを進めるため、自然環境に配慮した危険ため池の解消、未改修河川の改修を進める。 八幡谷ダム周辺においては、「ささやまの森公園」を活用するとともに土留工・谷止工の設置や、下流地域のニーズに対応した、渓流を整備しての治山・治水事業の推進を図ります。川代渓谷では、渓谷美を保全するとともに、水と緑とのふれあい拠点の形成に努める。また、整備の完了した篠山川や武庫川を、地域の”シンボルリバー”と位置づけ、適切な維持・管理に努める。
---	--

施策の実施状況 と課題	危険ため池の改修については、受益者及び地元関係者と調整をしながら平成22年度は2箇所解消に向け改修工事を実施した。 未改修河川の改修については、市が管理する普通河川等については、地元要望による小規模な改修や災害復旧等により整備を行っている。 親水については、県及び市が設置した施設を地元住民を中心に都市との交流活用等を行っていたり、地域の活動として蜚の保護等の活動がみられる。 計画のシンボルリバーについては、県管理河川であるが、武庫川では環境に配慮した改修が行われている。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度: -	計画通り進める これまで通り力を入れる	県民緑税を活用した「災害に強い森づくり」を進めると共に、危険ため池改修などを行った。災害のない安心・安全なまちづくりのための、治山・治水等環境整備を実施していく。 今後も緊急性等を検討し補助事業を活用していく。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める		
	施策の方向性: これまで通り力を入れる		

施策	223	評価担当課名:農都創造課	関連部局:環境課	後期基本計画掲載 P.25
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	2.自然環境の保全と活用
中項目の基本方針	自然と調和した豊かな農地、公益的機能を重視した森林の適正管理、多様な生き物の保全と復元、水と物質循環の促進に向けて、自然災害の被害の防止に努めつつ、自然環境や生態系の保全・維持管理・活用を推進する。		

施策名	自然と共生した生活環境の形成
-----	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>自然環境の多面的機能の保全・活用を図り、特徴的景観を保全するとともにビオトープの整備やその活用により地域の自然体系のネットワークを発展させるなど、自然環境の保全に努める。</p> <p>また、丹波並木道中央公園などの事業推進を図るほか、小学校区ごとの里山整備を計画的に推進する。さらに、地域で自然環境を活用した快適な暮らしが出来るよう配慮し、地域で管理・運営しやすい施設整備に努める。</p>
---	---

施策の実施状況 と課題	<p>集落等の裏山を自らの手で森林整備等を行うことにより里山林の重要性を再認識させ、その経費を助成する里山彩園事業を行った。平成23年度は5箇所(今田町上立杭、ハイオマス丹波篠山、丹南まち協、新荘、真南条上)で行っている。課題として、平成22年度から始めた事業を如何に全市的且つ継続的に取り組めるようその必要性や効用の啓発が必要である。</p> <p>緑の少年団を結成する小学校へその活動経費を助成する緑の少年団関係事業については、7団体(畑小2団、村雲小1団、西紀北小1団、大山小3団)に活動経費を助成した。課題としては、市内には緑の少年団が結成されていない小学校もあるので、各校の事情も踏まえ、事業の今後の在り方を検討しなければならない。</p> <p>また、里山整備に必要な知識や林業機械の取扱を習得する為の講習会を開催里山スクールを開催し、参加者数は平成23年度は20名であった。課題として、受講修了者が習得したものを如何に実践できたかをフォローアップしていくと共に、市内の森林に必要な森林整備とは何かを把握し、それを当該スクールのカリキュラムに織り込むかが重要である。</p>
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
里山整備箇所数(累計)			箇所	4	8	13	13		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	<p>豊かな自然環境を将来に渡り維持し、資源活用する仕組みが農地・水・環境保全向上対策事業や都市交流事業などにより普及しつつあり、里山へ目を向けるために里山彩園実験事業にも取り組んでいる。</p> <p>今後は「篠山市環境基本計画」に基づく環境に配慮した施策の展開を検討する。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	231	評価担当課名: 景観室	関連部局: 農都創造課、市民協働課	後期基本計画掲載 P.27
----	-----	-------------	-------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	3.景観形成の促進
中項目の基本方針	篠山らしい自然・田園景観、歴史・文化景観を、市民と行政の協働による景観づくりなどにより維持・向上させるとともに、個性豊かなまちづくりを計画的に進めるため、市民が親しみと愛着を感じるような都市景観の形成を推進する。		

施策名	自然・田園景観の維持・向上
------------	----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>豊かな自然景観が調和した田園景観の維持・向上のため、土地利用や開発協議等に当たっても面的な農用地の保全に努めると共に農地の流動化を高める。農地管理では、地域資源としての多面的利用の促進や農地管理に対する支援措置を行う。</p> <p>また、市民参画・協働による自然・田園景観の維持向上を図り、地域ぐるみの保全活動の推進を検討する。河川公園の維持管理は現状を維持し、市民と行政との協働による景観形成の場と機会の増加を図る。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>本市の有する優れた田園景観を保全継承するため、土地利用としての農用地の保全維持に努めると共に「特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律」に基づき市民農園等を通して非農家による農地の活用を促進している。また地域での荒廃化が懸念されている里山の保全維持を推進するため、地域と連携した里山整備を推進している。今後一層の田園景観の維持、向上を図るため、地域と連携した里山管理を推進するほか農用地が広がる幹線沿道沿いの屋外広告物対策や田園越しに見通す眺望景観に配慮した開発誘導や緑化修景に努める必要がある。</p> <p>なお、良好な景観の形成に向けた全体的な取り組みとして、平成23年1月1日に、兵庫県下において7番目の景観行政団体に移行し、景観行政を担う主団体となった。景観条例等を策定し、施策の具現化を図る。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
農地の流動化率		%	11	21	22	30		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	企業の森や里山整備など、都市住民との交流を兼ね備えた新しい事業の展開を実施しており、また新規就農者の受入にも取り組んでいる。今後は事業推進における障害やニーズを把握・解決し事業の拡大を図る。 景観においては条例制定・計画を策定し景観行政団体としてスタートしており、今後市民への景観に対する意識の普及啓発を行う。 河川・公園管理については高齢化などにより地域に委ねることが困難となっており、都市住民を巻き込んだ管理方法を検討する。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	232	評価担当課名: 景観室	関連部局: 社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.27
----	-----	-------------	-----------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	3.景観形成の促進
中項目の基本方針	篠山らしい自然・田園景観、歴史・文化景観を、市民と行政の協働による景観づくりなどにより維持・向上させるとともに、個性豊かなまちづくりを計画的に進めるため、市民が親しみと愛着を感じるような都市景観の形成を推進する。		

施策名	歴史・文化景観の維持・向上
------------	----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>篠山城下町地区では、歴史的な町並み景観保全・修景を図り、建築物などの修理・修景及び防災対策を進める。</p> <p>福住、古市、立杭地区について歴史的景観形成を図るべき地域の景観形成地区指定を目指す。</p> <p>市域全体においては、県の「緑条例」のゾーニングにもとづき、地域住民と協働しながら、歴史的な町並みや文化的な資源を活用した歴史的情緒のある落ち着いた景観の形成を図る。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>伝建地区では、許可基準により町並みの保全修景を計り、住民合意による地域の防災対策を推進した。伝建周囲の城下町地区についても、県のガイドラインに基づき町家の建替えや増改築に基づく修景整備を推進している。こうした成果を受け、民間でも町並みの保全を目的にNPOがボランティアで古民家や町家を改修したギャラリー等がオープンし、市民の歴史的な町並み保全・修景の協理理解が広がっている。一方市民センターや篠山医療センターの建設に伴い北側に市街化が拡大しており、旧城下町との調和が課題となっている。</p> <p>福住地区では、まちづくり交付金事業に伴い、住民とワークショップを開催し、町並み等を踏まえた「福住のたからもの」の冊子を作成し、その成果を案内マップとした案内図を地区内に4箇所設置している。同時に歴史的な町並み等を活かしたまちづくりを推進する組織の必要性が高まり、福住地区のまちづくり協議会の設立に結びついている。また住民の町並み意識の浸透とともに伝建指定の期待も高まり、指定調査を実施している。上立杭地区では景観形成条例による歴史的な景観形成地区指定を行い、修景を通してその地区の建築意匠の詳細及び工法等を明確化し実態あるものにしていく必要がある。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
道路美装化(累計)	城下町と調和した道路景観の形成	m	-	167	167	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
修理・修景事業	城下町における修理・修景件数	件	-	8	1	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	町並みの保全修景については、行政主導からNPOや地域主体による活用の取組みに変化してきており、より広範な参画による町並み修景の推進に対して引き続き取り組んでいく。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	233	評価担当課名: 景観室	関連部局: 地域整備課	後期基本計画掲載 P.27
----	-----	-------------	-------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	3.景観形成の促進
中項目の基本方針	篠山らしい自然・田園景観、歴史・文化景観を、市民と行政の協働による景観づくりなどにより維持・向上させるとともに、個性豊かなまちづくりを計画的に進めるため、市民が親しみと愛着を感じるような都市景観の形成を推進する。		

施策名	都市景観の形成
------------	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	デカンショ街道や丹波の森街道周辺では、看板、照明などの沿道景観整備・誘導に努める。 JR駅前及び市街地では、自然・田園景観や歴史・文化景観など、周辺環境と調和した新しい都市空間の創出を図る。また、JR駅周辺の放置自転車防止条例の制定を検討する。
---	---

施策の実施状況 と課題	国道372号や176号の道路付属物である屋外広告物については、県の景観形成地区の基準に基づき景観誘導を図っている。今後沿道市街化等に伴い主要な幹線道路での広告物の設置が懸念されることから道路照明等を含めたトータルなデザインの考え方の基に景観形成地区と同様の基準化を検討していく必要がある。 中心市街地では、交付金事業に基づき統一したデザインの照明を新たに設置するとともに、地元商店街や商工会等の関係者協議の基に調和した町並み形成に向けて、道路付属物全体のあり方を検討していく必要がある。 JRの篠山口駅前については、都市計画の用途地域指定及び区画整理地区の地区計画指定により市街地としての調和した都市景観形成を図っている。このため今後開発が予想される周辺区域についても計画的な景観形成を図っていく必要がある。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
道路照明の設置数		箇所	33	0	0	44		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
道路電線類地中化の整備延長(累計)	H17完成済	m	559	682	682	682		

総合評価	施策の達成度: -	屋外広告については、条例などによる規制を行っており、景観条例と一体化した景観形成を行う。 市街地の町並み形成では街路備品等の美観誘導も重要であり、市民の理解と協力を得て地域特性に応じた景観形成を行う。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める	
	施策の方向性: これまで通り力を入れる	

施策	241	評価担当課名:環境課	関連部局:清掃センター、学校教育課	後期基本計画掲載 P.31
----	-----	------------	-------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	4.身近な環境の保全
中項目の基本方針	自然環境と調和した持続可能なまちづくりに向けて、環境保全意識をさらに向上させるとともに、ごみ処理対策やリサイクルを充実し、市民活動を支援しつつ、総合的な環境保全策の推進を図る。		

施策名	環境保全意識の向上
-----	-----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	環境保全に対する市民・事業者・行政の意識の高揚をより一層図るため、環境教育の推進・各種講演会の開催・体験機会の充実などを進める。特に、小中学生を対象とした水生生物調査などの水辺での学習、ごみの分別、リサイクルについて講師派遣などの環境教育の充実を図る。また、市民の環境保全活動を支援し、指導者の育成や各団体との連携を進め、広範な環境保全活動の展開に努める。
---	--

施策の実施状況 と課題	各自治会衛生委員対象の各種研修会や広報などを通じて、ごみの分別や循環型社会構築に向けての啓発活動を行うとともに、自治会毎の分別説明会などにも出向き、ごみの減量化・資源化に努めている。 また、小学生と保護者が同時に環境について学ぶ「環境防災みらい学校」を9回開催して自然やリサイクルに関する学習機会の創出に努めた。 学校を対象にした学習は、総合的な学習の時間などで、各校工夫しながら環境教育を実施しているとともに、市職員や関係団体との連携による出前講座を実施している。 環境学習は、反復して学習してこそ効果があるので、今後も継続して学習機会を増やしていく必要がある。 さらに、森の学校復活大作戦事業では、実行委員会とともに泉地内の剛山においてピオトープを整備して、自然環境の保全と生物に優しい環境づくりを行った。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
環境学習年間実施回数	小中学校における環境学習の年間実施回数	回	3	3	3~13	増加		各学校によって実施回数に差分あり(最低3回、最高13回)
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
清掃センター見学者数	施設年間見学者数	人	-	957	633	-	-	

総合評価	施策の達成度: -	-	「環境防災みらい学校」を実施し、環境保全の大切さ・防災対策上の問題点を子どもたちに分かりやすい形で学んでもらっている。 今後も地球環境の保全や地球温暖化防止、市民マナー・ルールの向上の観点から、ゴミの減量化や資源の有効活用などについての意識啓発活動を継続していく。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める		
	施策の方向性: これまで通り力を入れる		

施策	242	評価担当課名:環境課	関連部局:市営斎場、清掃センター、農都創造課	後期基本計画掲載 P.31
----	-----	------------	------------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	4.身近な環境の保全
中項目の基本方針	自然環境と調和した持続可能なまちづくりに向けて、環境保全意識をさらに向上させるとともに、ごみ処理対策やリサイクルを充実し、市民活動を支援しつつ、総合的な環境保全策の推進を図る。		

施策名	総合的な環境保全施策の推進
-----	---------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>子どもや孫世代も良好な環境のなかで暮らしていけるよう様々な環境問題に取り組むべく、日常生活におけるごみの減量化・資源化の推進や農業における減農薬への取り組みなど身近な環境の保全から、国土・文化・自然まで含めた本市の環境のあり方を示し、環境保全を計画的かつ体系的に進めるため、「環境基本計画」を策定し、市民・事業者との連携・協力のもとで同計画を推進していく。また、環境への影響を考え、自然エネルギーの活用や天然ガスの利用を促進する。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>本市の環境保全施策を総合的・体系的に推進していくため、21年度に「篠山市環境基本条例」を制定、また「篠山市環境基本計画～源流のまち篠山～」を策定し、条例や計画に掲げる将来像の実現に向けて実行に移している。15の実行計画のうち、「篠山環境みらい会議」設立準備、「環境防災みらい学校」「緑のカーテン普及促進」「森の学校復活大作戦」「里山彩園事業と里山スクール」「ごみの減量化と資源化」「太陽光発電に関する啓発活動」の7つの取り組みを行った。</p> <p>ごみ処理対策については、住民の様々なニーズに応えるため、月1回の資源ごみ拠点回収を12月から開始したところ、概ね好評を博している。</p> <p>また、自然エネルギーの活用に関して、市域の約7割を占める森林の適正な管理も含めて樹木の有効利用を図るため、農都創造部において森林バイオマスに係る取り組みを進めている。減農薬の推進については、減農薬農法を実践する農家への支援を行っている。</p> <p>篠山市に係る施設の温室効果ガス排出量は、省エネを継続する中、減少の結果となり、環境負荷の抑制を図った。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
篠山市関係機関における温室効果ガス排出量	市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量を集計し、低減を図る。	kg/CO2	12,812,816	20,736,516	20,292,276	23,046,823		第2次計画において目標数値変更(23,046,823)
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
生物化学的酸素要求量(BOD) (篠山川京口橋付近)	河川の有機物質汚濁を測る指標	mg/L	0.8	1.1	1.1	0.5未満		

総合評価	施策の達成度	-	昨年度制定した「篠山市環境基本計画」をもとに、平成22年度より本格的な環境保全施策に取り組んでいる。実行計画が15に渡るため、一計画ずつの着実な進展を図る。 自然エネルギーや温室効果ガスなどに関する事業については、森林バイオマスの取組みや排出量の抑制など、着実に成果が上がっている。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	243	評価担当課名:清掃センター	関連部局:環境課	後期基本計画掲載 P.31
----	-----	---------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	4.身近な環境の保全
中項目の基本方針	自然環境と調和した持続可能なまちづくりに向けて、環境保全意識をさらに向上させるとともに、ごみ処理対策やリサイクルを充実し、市民活動を支援しつつ、総合的な環境保全策の推進を図る。		

施策名	ごみ処理・リサイクルの推進
------------	----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>環境保全の観点から、ごみの減量化や分別の徹底、リサイクルの推進、集団回収の推進を図るため、広報や小中学生、団体などの施設見学時の学習による啓発活動を行う。「容器包装リサイクル法」にもとづく分別収集品目を増やし、廃棄物の資源化に努める。</p> <p>ごみ処理施設の施設整備は、旧施設跡地にストックヤードを設置し、ごみの収集及び処理業務の円滑化を図る。</p>
--	--

施策の実施状況と課題	<p>小学4年生対象に施設見学を毎年受入れ、ごみ減量を啓発している。市内中学校の総合学習でも見学を受入れてきたが近年見学申し込みが無くなっている。各年代ごとの継続的な環境学習のとりくみが重要である。</p> <p>ごみ量は人口の減少に伴い最近5年間は減少傾向が続いている。一方、リサイクル率は、21年度、22年度と横ばいである。金属類等の資源ごみ搬入量が減少しており、清掃センター以外のルートで資源回収されている。資源化率の向上に取り組みは、プラスチック容器包装ごみの資源化、資源ごみの拠点回収利用者及び搬入量増に努めなければならない。</p> <p>また、ごみ分別、資源化、環境保全を目的に自治会を対象とした出前講座を実施した。</p> <p>ストックヤードの整備により、資源の保管など業務の円滑化が図れている。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	現状	類似他団体比較等
ごみ処理量	センターへの年間ごみ搬入処理量	t	19,675	17,971	17,689	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
リサイクル率	缶・ビン・ペットボトル等の資源化	%	10.0	6.2	6.2	12.0		

総合評価	施策の達成度	-	資源化率の向上や可燃ゴミの減量化を目的とした資源ゴミの拠点回収に取り組んでいる。ストックヤードの充実や自治体対象のごみ分別・環境保全の説明会などを実施し、ゴミ問題の意識啓発を行った。 資源化率については目標値に達していない状況であり、今後も引き続きごみの減量化や、資源を大切に育む取り組みを進めていく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる	

施策	251	評価担当課名:総務課	関連部局:消防署、予防課、警防課、管理課	後期基本計画掲載 P.34
----	-----	------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	5.防災体制の強化
中項目の基本方針	あらゆる災害から生命、財産を守るための防災対策や、災害を最小限に抑える減災対策を進め、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。		

施策名	防災意識の高揚
-----	---------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>市広報紙やホームページの積極的な活用をはじめ、社会教育、学校教育、福祉活動などあらゆる機会を通じて日頃からの防災意識の高揚を図る。</p> <p>また、継続的な防火訓練の実施は、市民、防災関係機関などの防災意識と行動力・技術の向上のために有効であることから、より多くの市民、関係団体が参加できるように訓練内容の一層の充実を図る。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>市広報誌の誌面上で、毎号「ひとくち防災メモ」を掲載し、市民の防災意識の高揚を図った。また、社会教育、学校教育などの場面で、防災学習会、防災マップづくりなどを通じて、防災意識の高揚を図った。</p> <p>社会教育については、住民の人権学習の中で、防災学習を取り扱っており、多くの自治会で防災学習を取り入れている。</p> <p>防災マップ作りについては、28か所の自治会で行い、防災意識の向上に成果をおさめている。</p> <p>今後も、さらに市民と共に防災・減災の機運を高めていくため、市民の防災リーダーの育成にも力を入れていきたい。</p> <p>また東日本大震災が発生したことを受け、次年度に向けて防災学習などの実施により市民の防災意識の向上に向けて取り組んでいきたい。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
住宅火災警報器設置率		%	-	37	41	50		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
防災ネットの登録者数		人	862	1,246	1,734	1,300		他市の状況は公開されていません。

総合評価	施策の達成度	-	市の広報紙や社会教育・学校教育などを通じて防災意識の高揚を図る事業を実施しており、防災無線などと併せた複合的な意識高揚が展開されている。 また、防災マップ作りも効果を上げており、今後も引き続き事業を実施していくと共に、防災リーダーの育成にも取り組んでいく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	252	評価担当課名:消防署	関連部局:総務課、市民課(支所)、生活課、 警防課、管理課	後期基本計画掲載 P.34
----	-----	------------	----------------------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	5.防災体制の強化
中項目の基本方針	あらゆる災害から生命、財産を守るための防災対策や、災害を最小限に抑える減災対策を進め、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。		

施策名	防災基盤の整備・充実
------------	-------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	常備消防(消防本部)、非常備消防(消防団)の連携を図り、車両・機械器具等消防資機材の整備充実、避難場所・避難地などの装備の充実、地震や風水害などの自然災害による道路、河川などの危険箇所の点検や防災工事の推進を図る。 防災活動が円滑に行えるよう装備を充実するとともに防災意識の高揚を図る。また新しい情報連絡による伝達手段の多重化を図る。土砂災害防止工事などのハード対策と合わせて、警戒避難体制などのソフト対策を充実させる。
---	---

施策の実施状況 と課題	非常備消防として消防団の活動については、機械器具の整備、充実、消火用資機材の維持管理に努めている。また、防火水槽測量委託を行い、設置への取り組みを図った。 警戒避難体制のソフト面に計画的に取り組んできたところであるが、今後もあらゆる災害に備え装備の充実を図るとともに、浸水危険箇所、がけ崩れ危険箇所の把握に努め、それぞれの危険箇所に添った対策を関係機関と連携して検討する必要がある。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
救急救命士養成職員		人	-	1	1	1		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
救急現場到着時間	括弧内は出庫～到着時間	分	8.6	9.8 (7.6)	9.9	6分台		H22より出庫～到着時間の計測は実施していない

総合評価	施策の達成度	-	機械器具について計画どおり整備を進めるとともに、教育面でも各種災害に即応できる高度で専門的な知識と技術を有した職員の養成に取り組むことができた。 救急現場への到着時間については、目標の達成に向けて改善策を検討する必要がある。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	253	評価担当課名:総務課	関連部局:地域福祉課	後期基本計画掲載 P.34
----	-----	------------	------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	5.防災体制の強化
中項目の基本方針	あらゆる災害から生命、財産を守るための防災対策や、災害を最小限に抑える減災対策を進め、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。		

施策名	災害に強いコミュニティの形成
-----	-----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>地域における自助・共助の体制強化を図る。地域コミュニティによる自主的な災害時要援護者の把握、支援方法を定めるほか、災害時の連絡体制の確立、防災訓練の実施などを積極的に推進し、それぞれの地域に応じた防災力の向上を図る。 また、自主防災組織の活性化や防災資機材の充実を図る。</p>
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>地域における自助・共助の体制強化として自治会の結束を高めるため、いのちを守る防災マップづくり事業を継続していく。 災害に強いコミュニティの形成は、一担当部署の取り組みでは不可能であり、庁内の関係する部署同士の横の連携を密にとりながら、一体的に進めていきたい。 防災訓練の実施数が目標に届かなかったため、引き続き、地域に訓練開催を促していく。 篠山再生計画(まちづくり編)の防災・減災体制の強化・危機管理体制の確立については、防災マップの作成や防災無線の配備等のハード面整備に加え、震災の影響もあり市民の危機管理意識は向上していると考えられる。しかし、防災訓練は自治会の自主的な活動であるため訓練の開催を促しているところであるが、計画通り進んでいない状態である。防災訓練の実施数は、4回となっている。 災害時要援護者の地域での支援については、要援護者担当部署と連携し、来年度から個別計画の浸透を図っていくため、事前研修・説明を行っていく。災害発生時には、災害時要援護者の避難誘導や安否の確認、また避難所等での生活支援を的確に行うためには、災害時要援護者情報の把握と関係者間での共有が必要であり、日頃から災害時要援護者の居住地や生活状況等を把握し、災害時にはこれらの情報を迅速に活用できるよう整理する必要がある。また地域住民の共助が不可欠であり、日ごろの見守りも含めた支援を地域住民で行う計画を立てる必要がある。なお災害時要援護者の対象者としては、在宅において、単独で避難が困難な介護保険における要介護認定者、障害者、難病患者やその他自治会が認める者(一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯の者など)としている。</p>
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
自主防災組織の組織率			%	-	100	100	-	-	
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
自主防災組織における防火訓練の実施数			回	0	6	4	6		

総合評価	施策の達成度	-	市民の防災意識は非常に高まっており、またまちづくり協議会を主体とした防災訓練の推進は、地域コミュニティの体制強化に繋がっている。 災害に強いコミュニティの形成は、庁内の関連部署全体での連携が必要であり、今後一体的な取組みを行っていく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	254	評価担当課名:総務課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.34
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	5.防災体制の強化
中項目の基本方針	あらゆる災害から生命、財産を守るための防災対策や、災害を最小限に抑える減災対策を進め、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する。		

施策名	突発的な災害に対する危機管理体制の確立
------------	----------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	自然災害以外の突発的な災害や事故にも迅速に対応できるよう、これまでの経験を検証しながら、「地域防災計画」に基づき関係機関とも連携し、的確に対応する能力や技術の向上を図る。
---	---

施策の実施状況 と課題	庁内全体としては、災害時における配備体制の見直しとして、より現場重視の配備となるように体制を見直した。また、近年、高齢者などの災害時要援護者を行政が主体となってどのように避難させるかについては、危機管理上の大きな課題となっており、その体制を整えるため、災害時要援護者避難支援庁内連絡会議を組織し、庁内の関係部署で構成する横断的組織を立ち上げた。 関係機関との連携については、兵庫県合同防災訓練の実施や、篠山市総合防災訓練(結果的に中止)を計画・調整する中で、兵庫県、自衛隊、警察、社会福祉協議会など関係を深めることが出来た。 また、自衛隊とは古市地区での防災訓練に参加してもらう方向で担当者との協議を進め、消防本部と篠山警察との連携訓練の中で担当者同士が打ち合わせを行い、連携を深めた。 今後の課題として、医療機関、近隣自治体(特に協定を結んでいない自治体)などとも関係を深めたい。 地域防災計画については毎年度見直しを行っている。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
職員非常招集訓練参集率	訓練開始2時間後の参集率	%	89	93	94	96		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度: -	職員減少の中であらゆる災害へ対応できる庁内体制が求められており、より現場重視の配備となる体制へと見直すなど、災害対応についての体制づくりを実施した。 今後は市単独では対応できない大規模災害に備えた自治体との応援協定などを結び、管理体制の構築を進めていく。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める	
	施策の方向性: これまで通り力を入れる	

施策	261	評価担当課名:市民協働課	関連部局:管財契約課、市民課、公民館	後期基本計画掲載 P.36
----	-----	--------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	6.コミュニティづくりの推進
中項目の基本方針	地域の自主性の尊重や地域ごとの個性の発揮に向け、地域単位で活動する各種グループの相互交流や統合を促進し、それぞれのコミュニティにおける組織、意思決定力、行動力などの強化をめざす。		

施策名	コミュニティ活動の支援
------------	--------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>コミュニティ活動の情報交流の活性化や各種機関との連携強化、人権や防犯・環境保全などに関わる活動の一層の充実を促し、多彩な活動の展開を推進するとともに、コミュニティ施設等の改修などの支援を行う。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>各自治会で人口の減少や少子高齢化が、共通となる課題となっている。そこで、自治会活動となる防犯、防災、環境美化活動など、様々な取り組みが行われているが、少子高齢化に伴い自治会でのコミュニティ維持が難しくなっている。そのために、地区(小学校区単位)での活動となる「まちづくり協議会」の継続的な支援が必要である。</p> <p>また、平成22年7月に関係機関との連携強化を目的として篠山市民プラザを開設した。各種相談や情報収集などに約1,500人の訪問があり、登録団体も50団体となるなど、中間支援としての活動が行われた。今後は、各種研修、情報交換等、機能の充実を図る必要がある。</p> <p>市内コミュニティ施設のうち耐震診断が必要な3施設(みたけ、後川、城南)を実施し、耐震基準を満たしていることを確認した。また、老朽化した空調設備改修を6施設(高城、みたけ、岡野、雲部、福住、大芋)、外壁等改修を1施設(大芋)、施設駐車場等の舗装改修を2施設(岡野、雲部)を実施した。さらに、施設点検を行い転落防止の手すり等を設置した。今後は、劣化による建物・設備が見込まれることから、定期的な点検を行ない必要な処置を講じる。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
コミュニティセンター年間利用件数		人	5,695	6,221	6,305	増加		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	関係機関との連携強化を目的として市民プラザを開設し、各種相談・情報提供などを行った。また、まちづくり協議会も全19地区で設立され、地区課題の解決に向けた取り組みが行われているが、継続可能なものとしていくために、支援体制の構築を検討していく。 コミュニティ施設においては、定期的な点検を実施し、施設の安全対策を図っていく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	262	評価担当課名:生活課	関連部局:市民協働課、地域整備課、社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.36
----	-----	------------	----------------------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	6.コミュニティづくりの推進
中項目の基本方針	地域の自主性の尊重や地域ごとの個性の発揮に向け、地域単位で活動する各種グループの相互交流や統合を促進し、それぞれのコミュニティにおける組織、意思決定力、行動力などの強化をめざす。		

施策名	地域の実情に応じた生活環境整備の推進
------------	---------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	各コミュニティとの密接な連携のもとに、地域の自主性を尊重しつつ、地域の実情に応じ、防犯灯の設置や生活道路の補修などとともに、地域遺産・資源の保存、活用など、地域ごとの個性の強化につながる生活環境整備を推進する。
--	---

施策の実施状況と課題	<p>少子高齢化や核家族化が進行する等、生活環境の変化が進むなか、最も身近なコミュニティである自治会などが中心となり、それぞれ独自性のある住みよい地域づくりが進められている。その中で、地域の実情に応じて生活道路の舗装修繕や、水路改修等及び街路灯の設置による防犯対策、自然豊かな田畑や山林などの自然景観の積極的な保存・活用などを図り、また歴史・文化を活かしたまちづくりを進めるための「集落カルテ」を作成するなど、安全・安心対策のための生活環境整備の推進に努めてきた。</p> <p>なお、緊急性や危険度の高いところから進めることから、市民や自治会の理解が求められる。</p> <p>また、今後防犯対策上設置している街灯の設置については、省エネを配慮したLED蛍光灯の設置を検討する。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
防犯灯設置数		基	-	60	70	40		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	安心・安全のための生活環境整備については、計画的に進めてきているが、今後についても自治会からの要望も踏まえた上で、地域と一体となった事業展開を行う。 なお防犯灯については、ランニングコストや寿命の関係により、今後LED電灯を採用する方向で検討する。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	263	評価担当課名:市民協働課	関連部局:社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.36
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	生活環境の向上	中項目	6.コミュニティづくりの推進
中項目の基本方針	地域の自主性の尊重や地域ごとの個性の発揮に向け、地域単位で活動する各種グループの相互交流や統合を促進し、それぞれのコミュニティにおける組織、意思決定力、行動力などの強化をめざす。		

施策名	地域課題に対応したコミュニティ体制の構築
------------	-----------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	地域課題の解決に向け、小学校区単位に「まちづくり協議会」の設立を推進し、コミュニティ力を高めていくために文化・スポーツ活動、地域づくり活動、リーダー育成活動などの支援を推進し、また各種地域課題に対応した支援方策を市民とともに検討していく。
--	---

施策の実施状況と課題	<p>市内19地区のまちづくり協議会が設立となり、活動が徐々に本格化しつつあるが、地域の課題解決や活性化に向けた支援として、財政・人材・情報支援を引き続き行っていく必要がある。支援内容として、財政支援は補助金の一括交付を、また人的支援はまちづくり支援員の配置を、情報支援は地域づくりの情報提供を毎月及びまちづくり実践学習会を8回実施した。</p> <p>各地区とも手探りの中、且つ活動に対する財源確保の課題を持っており、持続可能な活動を行ってくために、地域はこうありたいという思いを共有化し、それを実現するための具体的な計画の策定等、まちづくりの方向性を明確化し、計画した事業を展開できる支援施策や支援体制整備として、(仮称)地区まちづくり条例を制定し、支援体制の整備を図る必要がある。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
まちづくり協議会設立件数(累計)		地域	-	17	19	19		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
県民交流広場事業採択件数(累計)		地域	-	13	19	19		

総合評価	施策の達成度:	-	まちづくり協議会が設立されたことにより、地区の自主活動や課題解消に向けた取組みが徐々にではあるが本格化しつつある。 今後は将来像を見据えた活動を行う必要があり、地域への支援体制を整えるため、地区まちづくり条例(仮称)の制定などを行い、活動の枠組みや支援体制の構築を行う。
	構成事務事業の妥当性:	計画通り進める	
	施策の方向性:	これまで以上に力をいれる	

施策	311	評価担当課名:こども未来課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.37
----	-----	---------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	1.就学前保育・教育の充実
中項目の基本方針	地域社会のなかで、安心して生み育て、幼児一人ひとりの豊かな個性を育むとともに、望ましい発達を促す子育て・教育環境の充実を図る。		

施策名	子育て環境の向上
------------	-----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「篠山市次世代育成支援対策推進行動計画」に沿って、多様な就労形態に対応した保育ニーズに応えるため、延長保育・一次保育の充実、保育園の適正配置の推進、保育士の資質の向上・人材確保、保育設備の整備、保育制度の充実、さらに事業所内保育所の設置などに取り組む。 また、就学前教育の効果、幼保一体化や公設民営化も含めた幼稚園・保育園の適正配置による効果的なサービスなどの検討を進める。
---	--

施策の実施状況と課題	延長保育については、現在私立保育園2園で実施してもらうため、補助金を交付し側面的支援を行っている。一時保育については、市内では未実施であるが、ファミリーサポートセンターを推進しながら、今後検討していく必要がある。 保育園の適正配置の推進については、「元気なささ子愛プラン」において、短期・中期計画に基づき、平成22年4月から城東保育園多紀分園を廃園とした。 保育士の資質の向上・人材確保については、幼保一体化を推進するため、保育士・幼稚園教諭及び預かり保育指導員に対する合同研修会6回を実施した。幼稚園教諭が保育園を、保育士が幼稚園の現場を体験できるよう、体験研修も実施したことにより、人事交流についても促進できた。平成22年度は初めての取組でもあり、創意工夫するもまだ十分とは言えないところもあり、今後さらに保育士・幼稚園教諭の合同研修を実施し、意識改革とそれぞれの資質向上に努めていく。 保育施設の整備・保育制度の充実については、平成22年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金及び地域活性化きめ細かな臨時交付金を活用し、園舎外壁・屋根・床等の改修及び園児・職員の健康管理と快適な保育環境を整えるため、空調設備を設置した。 事業所内保育所については、子育てと就労の両立支援の一環として市ホームページの事業者向け情報ページにて各種制度について情報提供を行っている。 幼保一体化の取組として、幼稚園教育終了後等に希望者に対して教育活動を行うため、預かり保育施設を設置することについては、順次推進しているところである。平成23年4月1日からの実施に向けて、平成22年度においても西紀・大山地区において地元自治会長や保護者説明会を開催した結果、大山・西紀みなみ幼稚園を対象に「なつくりっ子はうす」と、西紀きた幼稚園を対象に「きたっこはうす」を開設する体制が整った。
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
預かり保育実施施設数		施設	-	1	3	3		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度: -	「元気なささ子愛プラン」に示している幼保一体化については、預かり保育を保護者や地域の理解を得ながら実施している。 今後は幼保一体化推進委員会を設置し、課題解消と実施に向けた具体的方策を検討するとともに、味間認定こども園の検証を行う必要がある。 また、保育士や教諭、指導員の資質向上に向けた研修などの取組みなども実施する。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める	
	施策の方向性: これまで通り力を入れる	

施策	312	評価担当課名:こども未来課	関連部局:学校教育課	後期基本計画掲載 P.38
----	-----	---------------	------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	1.就学前保育・教育の充実
中項目の基本方針	地域社会のなかで、安心して生み育て、幼児一人ひとりの豊かな個性を育むとともに、望ましい発達を促す子育て・教育環境の充実を図る。		

施策名	幼児教育の充実
------------	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「篠山市幼稚園教育振興計画」に沿って、本市の自然や文化を活かし、地域との関わりを大切にした幼児教育を推進する。特に保育園と幼稚園の連携を深めつつ、幼稚園における教育システムの一層の充実を図る。保育士と幼稚園教諭の人事交流や合同研修、資格免許の複数取得などを推進する。 特別支援学校や各家庭との連携のなかで、支援を必要とする子どもの就学前教育の推進を図る。
---	--

施策の実施状況 と課題	預かり保育事業については、幼稚園教育課程に係る教育時間終了後に、希望者に対して教育活動を行うため、平成22年4月1日にかやのみ幼稚園とたき幼稚園を対象として預かり保育施設「しるたきクラブ」を設置した。また、平成23年4月1日から西紀・大山地区においての預かり保育実施に向け、地元自治会や保護者への説明会を開催してきた結果、西紀・大山地区において2カ所開設することとなった。市内には、まだ預かり保育の未実施地域があるため、順次推進に向けて取り組む必要がある。 認定こども園の設置では、就学前の子どもに保育・教育を提供する機能と地域における子育て支援を行う機能を一体的に捉え、一貫して提供できる施設として、平成22年4月1日に味間地区において幼保連携型の認定こども園を設置した。味間認定こども園の敷地が2つにわかれていることも含め、今後の認定こども園の検証やさらなる認定こども園の運営について検討していく。 職員の資質向上については、新しい幼稚園教育要領を踏まえ、幼保一体化を推進するため、保育士・幼稚園教諭及び預かり保育指導員に対する研修会を10回開催した。幼稚園教諭が保育園を、保育士が幼稚園の現場を体験できるよう、体験研修を実施した。幼保一体化の充実に向けた共通認識と連携の視点にたち、現場体験を実施することができたとともに人事交流についても促進できた。 なお、平成22年度は初めての取組でもあり、創意工夫するもまだ十分とはいえないところがある。今後、さらに保育士・幼稚園教諭の合同研修を実施し、意識改革とそれぞれの資質向上に努める。 幼稚園における子育て相談については、子育て相談プラザをモデル的に2幼稚園(城南、味間幼稚園)に設置し、臨床心理士、家庭児童相談員または幼稚園長による相談対応を行った。平成22年度実績としては、城南幼稚園13件、味間幼稚園19件と、一定程度、保護者の不安解消に役立つことができた。子育て相談プラザ設置の1年目であり、保護者等へのさらなる周知に努める。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
2年保育の実施園数	2年保育を実施している幼稚園数	園	-	13	13	-		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
相互に連携を図った事業数	就学前教育と小学校との連携	ブロック	3	13	13	増加		

総合評価	施策の達成度: -	平成15年度より実施している幼稚園の2年保育を踏まえ、子育て支援に配慮した預かり保育施設を順次設置している。幼保一体化については、こどもの発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を展開しており、今後更に保幼小の連携強化を図ると共に、合同研修の場を広げ、意識改革とそれぞれの資質向上に努める。 また子育て相談にも取り組んでおり、今後相談事業の周知に努める。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める	
	施策の方向性: これまで通り力を入れる	

施策	321	評価担当課名:学校教育課	関連部局:教育総務課、学事課、 学校給食センター	後期基本計画掲載 P.40
----	-----	--------------	-----------------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	2.学校教育の充実
中項目の基本方針	活力に満ちた魅力ある、開かれた学校づくり、心やすらぐ、ゆとりある環境づくりを進め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学校・家庭・地域の協働のもとで確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。		

施策名	義務教育の充実
-----	---------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>「生きる力」の定着や自己実現に向け、個に応じた学習指導を一層推進して確かな学力を育成するとともに、自然・社会体験を重視した心の教育や食育を充実させ、「心豊かでたくましい知的自然児」の育成を目指す。また、教員の資質向上と家庭・地域・学校の連携強化を推進する。同時に、地域社会との密接な関係のもとで児童・生徒の安全性確保に向けた方策を検討する。</p> <p>また、障害の実態に即した継続的な就学指導に努めるほか、教育施設の地域格差を順次解消し、情報通通信ネットワークなどを活用した交流学习を取り入れ、国際理解教育、情報教育、環境教育、福祉教育などを推進する。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況 と課題	<p>「自然学校」「トライやる・ウィーク」等の教育活動との関連を図る取り組みや、学校では得難い体験活動プログラムの一層の充実と地域の教育力の活性化が図れた。また、子どもたちの望ましい食習慣の形成と健全な心身の成長をめざし、各校において指導体制を整備し、全体計画の作成を図ることで、少しずつその成果が見え始めた。学習環境、授業等に関わる研究課題等様々な教育実践にかかる課題を自主的にを行い、教職員が意見交換などをする機会を持つことで幼児・園児・児童・生徒の実態や指導のあり方について共通理解を図ることができた。</p> <p>特別な支援を必要とする幼児児童生徒のニーズを把握し、関係機関との連携や一貫した支援を推進するうえで、サポートファイルを活用した。また、特別支援教育コーディネーターを配置し、教育相談、自立活動、進路相談、教材・教具、研修会講師等、各学校園からの要望に適切に対応している。障がいの多様化、重度化に向けて、より専門的な資質向上が必要である。</p> <p>耐震補強工事については、平成23年3月末現在で、非木造68棟の内64棟が実施済となっている。また、木造については10棟(篠山小・八上小)があるが、現在未実施となっている。平成23年度は、非木造3棟(今田中、今田幼、味間幼)の施工予定であり、平成24年度以降に篠山小学校の木造校舎及び非木造の体育館、八上小学校の木造校舎の耐震補強工事を予定している。</p>
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
耐震化棟数	学校施設における耐震化済棟数	棟	-	3	12	10		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	改善が必要	<p>新学習指導要領については、適切な移行措置を進めると共に、各種事業を通じた「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育むことができ、一定の成果があった。また食育や環境学習にも取り組んでおり、今後も引き続き地域特性などを取り入れた事業を展開する。</p> <p>学校施設の整備充実については、耐震補強工事等を計画的に推進することが出来ており、今後も計画通り工事を実施する予定である。</p>
	構成事業の妥当性			
	施策の方向性	これまで通り力を入れる		

(施策を構成する事務事業)

事務事業	事務事業名	再生計画	市一般財源 〔人件費込〕 (千円)	活動指標	単位	H21	H22	H22	対H22	事業の方向性
						実績値	実績値	目標値	達成度	
32101	学校適正規模・適正配置業務	ま-38	8,040	学校適正配置等審議会の開催回数	回	6	6	6		B
32102	ふるさとガイドブック作成事業		2,977	ガイドブックの作成数	冊	-	2,500	1,000		D
32103	学校保健関係事業		24,583	薬物乱用防止教室等の開催率(中学校)	%	100	100	100		B
32104	篠山市学校保健会補助事業		1,308	学校保健会開催回数	回	1	1	1		B
32105	通学に関する事務		5,306	遠距離通学者への補助率	%	100	100	100		A
32106	安全安心な教育施設の整備事業	ま:39	90,318	耐震化棟数	棟	3	10	10		A
32107	学力向上事業		1,591	学力向上実践推進事業委託校数	校	2	2	2		B
32108	指定研究事業		3,102	研究指定校委託校数	校	3	9	9		B
32109	教育課程推進事業		7,106	支援教師配置数	人	2	2	2		B
32110	読書活動向上事業		944	1日30分以上読書する子どもの割合	%	27	25	25		A
32111	理科おもしろ推進事業		1,333	推進員配置校数	校	10	8	17		C
32112	小学校外国語活動支援事業		917	派遣校数	校	5	4	17		C
32113	外国語指導助手派遣事業		20,688	配置人数	人	4	4	4		B
32114	学校情報化支援事業		708	対象校数	校	-	23	23		B
32115	教職員研修会事業		6,629	研修会開催回数	回	16	15	16		B
32116	学びの交差展事業		1,236	出品率	%	-	68	100		A
32117	道徳教育推進事業		950	教師配置校数	校	25	23	23		B
32118	感謝の気持ちを届けようプロジェクト2010事業		764	実施校数	校	-	23	23		A
32119	生徒指導体制充実事業		1,641	研修会開催回数	回	1	1	1		B
32120	不登校支援事業		10,097	配置人数	人	4	4	4		B
32121	スクールカウンセラー配置事業		5,807	対象校数	校	16	16	16		A
32122	フォリナーサポート事業		3,090	フォリナーサポート配置人数	人	4	4	6		B
32123	体力向上事業		1,606	体力・運動能力調査校	校	19	18	22		B
32124	食育推進事業 (学校教育推進事業)	ま:18P	1,527	食育実施校数	校	25	23	23		B
32125	特別支援教育事業		62,978	校内委員会の実施校数	校	25	23	23		A
32126	環境体験事業		2,239	事業実施校数(年3回以上実施)	校	19	17	17		B
32127	自然学校推進事業		9,056	実施校数	校	19	17	17		B
32128	わくわくオーケストラ教室事業		1,998	実施校数	校	6	5	5		B
32129	トライやる・ウィーク、トライやる・アクション事業	行(4)-1	3,410	実施校数	校	6	6	6		B
32130	学校安全安心づくり事業		17,912	防災訓練実施校数	校	25	23	23		B
32131	地元産物活用事業 (東部給食センター)	ま-3 7頁	916	地元野菜(12品目)の使用率	%	13	15	21		B
32132	特色のある献立作成事業 (東部給食センター)	ま-3 7頁	678	特色ある献立の実施品目	品目	96	99	100		B
32133	食育推進活動事業 (東部給食センター)	ま-3 7頁	797	試食会、親子クッキング、見学会等の実施回数	回数	101	123	90		B
32134	地元産物活用事業 (西部給食センター)	ま-3 7頁	950	地元野菜(12品目)の使用率	%	19	17	21		B
32135	特色のある献立作成事業 (西部給食センター)	ま-3 7頁	535	特色ある献立の実施品目	品目	90	98	100		B
32136	食育推進活動事業 (西部給食センター)	ま-3 7頁	984	試食会、親子クッキング、見学会等の実施回数	回数	75	72	80		B

施策	322	評価担当課名:教育総務課	関連部局:学校教育課、総務課	後期基本計画掲載 P.41
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	2.学校教育の充実
中項目の基本方針	活力に満ちた魅力ある、開かれた学校づくり、心やすらぐ、ゆとりある環境づくりを進め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学校・家庭・地域の協働のもと確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。		

施策名	高校教育の充実
-----	---------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>連絡会議を中心に小中学校との情報交換を行いつつ、4つの高等学校が、時代潮流や生徒のニーズに応じた特色ある施設・設備の充実が図れるよう関係機関に要請していく。</p> <p>また、社会情勢の変化や地域の生徒数の動向を見据えながら、適切な高校・学科のあり方について検討を進める。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>篠山産業高校丹南校及び東雲校については、いずれも生徒数の減少に直面しており、振興会に対し補助金での支援を継続している。丹南校については、平成26年度入学生からの募集が停止となり、平成27年度末で廃止となることとなったが、東雲校については、平成23年度から篠山東雲高校として、単独校としての存続が決まった。</p> <p>県教育委員会が主催して年2回実施している中高連絡会を通じて、各学校間の情報共有を継続的に行うことができおり、平成22年度は「生徒指導」が協議テーマとなった。また、高等学校との連携事業としては、篠山産業高校と岡野小学校との農業体験活動、東雲校と福住小学校とのまちづくり事業が挙げられる。</p> <p>なお、適切な高校・学科のあり方については県が検討するものであるが、市としても情報を収集していく。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	<p>産業高校東雲校について、県下の状況を見る限り厳しい状況にありながら存続となったことは大きな成果である。</p> <p>中高連絡会などで県との連携・協力の意識を高め、機能の充実を図るとともに、市内の子どもたちにとって魅力的で、「通いたくなる」高校になるよう、支援していく必要がある。</p>
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	323	評価担当課名:学校教育課	関連部局:教育総務課、社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.41
----	-----	--------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	2.学校教育の充実
中項目の基本方針	活力に満ちた魅力ある、開かれた学校づくり、心やすらぐ、ゆとりある環境づくりを進め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学校・家庭・地域の協働のもとで確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。		

施策名	地域に開かれた学校づくりの推進
------------	------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>地域との連携のもとで、生涯学習社会の広がりに対応できる場の一つとしての学校施設の利用をさらに進めるとともに、児童生徒と市民との交流が可能となる開放的な教育空間の形成を図り、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>また、教育・文化・スポーツなどの指導実績のある市民や、「まなびすとバンク」登録者の協力を得て、今後とも園児や児童と市民との多様なふれあいを構築するとともに、地域住民が「講師」として、学校活動を支え関与することができる体制づくりを進める。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>オープンスクールを活用した開かれた学校づくりの取組では、保護者や地域の人々に教育内容や学校運営の状況等について公開し、積極的な情報提供に努めた。また、年3回、学校評議員会を開催し、学校の教育方針や地域との連携のあり方等について、意見交換を行い、地域による実質的な支援を図っている。</p> <p>生涯学習・社会教育の振興における、「まなびすとバンク」では市内の学校や各種団体、サークルなどが主体的に行う学習活動に際し、登録講師の紹介や派遣を行い、市内の団体やグループが実施する学習活動を支援することができた。</p> <p>今後一層の充実を図るには、新規の講師登録と、より活用しやすい情報提供のあり方を検討する必要がある。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
オープンスクール実施校数	オープンスクールを実施した学校数	校	-	25	23	23		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	学校評議員制度やオープンスクールの実施により、開かれた学校づくりが定着してきている。今後も学校・地域・家庭がよりつながりを深めていき、安心安全な学校づくりを進める。 また、学校支援地域本部事業や学校地域連携促進事業を活用し、郷土に根ざした開かれた学校・園づくりを推進する。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	324	評価担当課名:西部学校給食センター	関連部局:東部学校給食センター	後期基本計画掲載 P.41
----	-----	-------------------	-----------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	2.学校教育の充実
中項目の基本方針	活気に満ちた魅力ある、開かれた学校づくり、心やすらぐ、ゆとりある環境づくりを進め、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学校・家庭・地域の協働のもと確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。		

施策名	西部学校給食センターの整備
-----	---------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	完全ドライ方式採用による西部学校給食センターを建設し、衛生管理の徹底した安全安心な給食事業を推進する。
--------------------------	---

施策の実施状況 と課題	西部学校給食センターは、平成19年4月より稼動しており、東部学校給食センターと併せて市内の学校給食の拠点整備できた。
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
西部学校給食センター建設・稼動			-	-	稼動	稼動	H19稼動		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	西部学校給食センターについては、平成19年度より稼働を開始しており、衛生管理を徹底した安心安全な給食の提供を行っている。
	構成事務事業の妥当性	-	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	331	評価担当課名: 公民館	関連部局: 社会教育・文化財課、企画課	後期基本計画掲載 P.45
----	-----	-------------	---------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	3.社会教育の充実
中項目の基本方針	一人ひとりがその能力を活かし、支え合う地域づくりに向けて、生涯のあらゆる時期及び生活空間において学習に取り組めるよう、学習機会の創出及び学習情報サービスや学習成果を活用する場の充実に努める。		

施策名	社会教育の推進体制の充実
------------	---------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「篠山市生涯学習推進基本構想」に基づき、社会教育を含む広範な生涯学習活動を総合的に推進していくため、「篠山市生涯学習推進本部」のもとに、横断的推進体制の整備を図り、情報技術を利用した情報収集や情報提供のシステム化に努める。また、市民の学習意欲に応えとともに、学習推進の拠点となる施設の連携を強化し、市民の自己実現を支援する多種多様な学習内容や機会の充実に努める。</p>
--	--

施策の実施状況と課題	<p>学習機会の提供については、公民館の取り組みを中心として様々な事業を展開した。また、新規事業として保護者や地域住民等新たな年代層を対象に、さまざまな子育て方法やしつけのあり方、子どもたちが抱える悩みなどを講師とともに考える家庭教育支援事業を年3回実施。また、公民館の事業や活動団体を紹介する公民館だより「四季の森通信」を年4回発行し広報活動に努めた。</p> <p>しかし、各自主事業においては参加者の固定化や高齢化が進んでおり、より幅広い年齢層を対象とした事業内容の検討が課題となっている。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
高齢者大学の受講者	受講者総数	人	-	964	895	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	社会教育の各事業について一定の成果が上がっているが、事業のマンネリ化を防ぐため担当者の研修などの通してスキルアップを図ると共に、新たな発想の中でより魅力ある幅広い事業計画を進めていく。 四季の森通信については、今後より充実した内容での情報提供を行うと共に、市広報紙や地域放送などを活用した積極的な情報提供に努める。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	332	評価担当課名:社会教育・文化財課	関連部局:企画課、公民館、中央図書館、視聴覚ライブラリー、教育総務課	後期基本計画掲載 P.45
----	-----	------------------	------------------------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	3.社会教育の充実
中項目の基本方針	一人ひとりがその能力を活かし、支え合う地域づくりに向けて、生涯のあらゆる時期及び生活空間において学習に取り組めるよう、学習機会の創出及び学習情報サービスや学習成果を活用する場の充実に努める。		

施策名	市民による学習活動の活発化
------------	----------------------

施策の内容
(後期基本計画記載事項の要約)

地域に根ざした生涯学習活動を活発化するため、指導者の養成や地域ならではの学習活動を支援すると共に、相互交流の推進を図る。
また、明るい社会づくりを推進するため、ボランティアなどへの支援や団体間の連携などを通じ、健康・福祉活動や青少年の健全育成等を支援する。また、市民の学習拠点としてコミュニティセンターなどを有効利用し、生涯学習関連施設の充実に図る。
四季の森周の辺生涯学習ゾーンと市民センター図書コーナーなどの連携強化を図り、多様な市民ニーズに対して的確・迅速に応え得る生涯学習の場と資料を提供する。
チルドレンズミュージアムについては参加体験型博物館として、大学や子ども関連施設との連携を図りながら新たな体験事業を提供する。

施策の実施状況と課題

支え合う地域づくりに向けて、学校・家庭・地域が連携して子どもを育む取組を推進し、子どもたちが参加する通学合宿、トライしようDAY、放課後子ども教室、うりぼう師範検定等を実施した。また、青少年健全育成関係団体との連携をとおり、PTCAフォーラムの開催や、青少年の育成に関する活動を推進した。
学習機会の創出に関して、一般成人を対象とした各種講座の開催、社会教育関係団体への支援、高齢者大学の運営による高齢者の学習支援、家庭教育支援事業など、年代に応じた学習機会の充実に努めた。また、学習情報サービスに関して、蔵書整備とレファレンスサービスの充実に図り、学校との連携強化を進めながら、図書館の利用促進に努めた。「たんば篠山インターネットTV」の充実を通して、映像配信による市内の出来事等の情報提供を実施した。他にICTサロンがボランティアの支えで運営が継続できている。
全般的な課題として、地域との連携に関しては、地域によって実情に対応した取組の展開、市民ニーズの把握に基づいた事業展開等が課題となっている。
篠山チルドレンズミュージアムは指定管理者(有)エヌツー(平成22年度～平成24年度)による運営が図られているが、効率的な運営を進める中で、利用者ニーズに即したサービス展開が課題である。

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
図書館蔵書冊数	蔵書冊数	冊	99,040	148,388	158,728	150,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
まなびすとバンク登録者数		人	111	112	112	増加		

総合評価	施策の達成度	-	通学合宿など、社会教育全般について市民中心の活動が活発化してきており、更なる市民の学習活動の活発化を図るため、学習情報を広く提供するとともに、きっかけとなる場を積極的に設けていく必要がある。 また、図書館や交響ホールなどの活動の相互連携を行うと共に、情報の共有化を進め有効かつ効率的な事業運営に努める。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	333	評価担当課名:中央図書館	関連部局:公民館、社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.46
----	-----	--------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	3.社会教育の充実
中項目の基本方針	一人ひとりがその能力を活かし、支え合う地域づくりに向けて、生涯のあらゆる時期及び生活空間において学習に取り組めるよう、学習機会の創出及び学習情報サービスや学習成果を活用する場の充実に努める。		

施策名	ネットワーク化の推進
------------	-------------------

<p>施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small></p>	<p>図書館ネットワークについては、「中央図書館」、「市民センター図書コーナー」及び学校図書室などの連携を深め、資料の相互利用、生涯学習情報の提供と共有を目指すとともに、公民館配本所などに専用の端末を設置し、蔵書検索や情報提供サービスが利用できる環境を整える。</p> <p>また、オンラインで家庭と図書館を結び、図書や情報に関する調査相談サービスを開始し、ネットワークを駆使してできる限りの回答を行う体制とシステムの構築を進めるほか、県立図書館を中心とした全県的図書館サービスネットワークに積極的に取り組む。</p> <p>市内における双方向通信システムの整備を視野に入れながら、各家庭からオンラインで多様な学習や各種サービスを受けることができるなど、情報ネットワークによる社会教育の推進について検討を進める。</p> <p>人材のネットワーク化については、「まなびすとバンク」の一層の充実を図るとともに、社会教育の推進に関する各種組織、ボランティア団体、NPOなどへの支援と相互の連携強化に努める。</p> <p>また、保養施設などの民間施設や市外の関連団体との連携を強化する。</p>
--	---

<p>施策の実施状況と課題</p>	<p>市民センター図書コーナーはボランティアによる運営を行っており、毎日中央図書館から職員が2時間出向き、連携に努めている。中学校図書室では、中央図書館コーナーを設け、毎月図書館から配本している。支所の配本所では、パソコンからのインターネットによる蔵書検索に対応している。</p> <p>県立図書館とのネットワークは今では欠かせないものとなっている。今後は家庭と図書館との間のレファレンス業務において、インターネットを活用したスピーディーなサービス提供を図っていかねばならない。情報ネットワークによる社会教育の推進については、視聴覚ライブラリーによる映像情報提供などで行っている。</p> <p>また、まなびすとバンクの充実に関しては、登録講師名簿を公民館等に配置するなど広報に努め、利用促進を図った。課題としては、講師登録者の高齢化等に対応するため、新規の講師登録やより活用しやすい情報提供のあり方等について検討する必要がある。</p>
--------------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
図書館利用登録者数	利用登録者総数	人	17,636	23,452	24,732	22,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
図書館配本所年間延べ貸出冊数	配本所での貸出冊数	回	262	137	459	290		

総合評価	施策の達成度	-	<p>図書館ネットワークについては、システムの更新により携帯電話からの予約が可能となり、配本所貸出の増加に繋がっている。学校図書についても連携と情報提供の共有をはかり、資料の相互利用や配本が出来ている。</p> <p>インターネットによる図書情報サービスの充実によって蔵書検索や貸本予約が可能となり、貸出数の増加に繋がっており、今後もサービスを充実させると共に市民へのPRを積極的に行う。まなびすとバンクの充実についても検討を行う。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	341	評価担当課名:人権推進課	関連部局:公民館	後期基本計画掲載 P.50
----	-----	--------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	4.人権教育の推進
中項目の基本方針	市民の人権が等しく尊重されるまちづくりをめざし、人権啓発研修会の開催や、教材化の取り組み、市民が人権の視点で日常の暮らしを点検できる情報提供など、様々な啓発手法で工夫を凝らし、毎年度当初に重点目標を明確にした取り組みを進めていく。		

施策名	人権尊重意識の啓発
-----	-----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>人権施策とその取り組みについて、各支所や公民館などへの住民学習担当者の配置や、「人権施策ホームページ(仮称)」の立ち上げなど啓発活動を展開し、地域のニーズに即した学習内容を提案し、市民が生き生きと暮らせるよう支援活動を推進する。</p> <p>また、市民の意見を取り入れながら、人権教育・人権啓発を進めるうえで、各施設とも連携を図りながら積極的な利活用に努める。</p>
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>人権施策における人権教育・啓発活動の実施体制について、「住民学習、人権・同和教育研究大会」については、平成21年度以降篠山市同教4支部の廃止や各支所・公民館の機能縮小により、住民学習担当職員を配置し、各施設の活用を積極的に図りながら充実した取り組みを行っている。</p> <p>また、年間を通じた人権啓発の推進は、人権講座、人権フェスタinささやま、人権啓発冊子の全戸配布。さらには篠山市同教をはじめ関係団体との連携を密にしながら市民への啓発活動に努めてきた。</p> <p>ただ、住民学習をはじめ、あらゆる学習・研修の機会を設け人権教育・啓発活動を行っており、高い参加率になっているが、参加者が固定化傾向にあり、今後の取り組み方に工夫を要する。</p> <p>なお、人権施策ホームページ開設については、必要な情報は市のホームページのトップに逐次掲載しており、またPC利用をされない方が多くあることから、市広報、ふれあい館だより等の紙面を通じて手にとって見やすい手法に重きを置き、人権啓発情報を提供しているため開設は行っていない。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
自治会での住民学習会実施率		%	84.1	96.6	97.7	100.0		初回開催率
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
各種人権研修会への参加人数	人権講座受講者	人	-	120	173	100		人権フェスタ講演聴講者についてはカウントせず

総合評価	施策の達成度	-	住民学習、人権・同和教育研究大会については、自治会及び地区単位での取組として今後も継続した事業展開を行うとともに、参加者のニーズや地域課題に即したより一層の内容の充実を図っていく。 また人権啓発活動については、広報や人権講座などで進めてきており、今後も積極的な取組みとして事業を進めていく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	342	評価担当課名:人権推進課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.50
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	4.人権教育の推進
中項目の基本方針	市民の人権が等しく尊重されるまちづくりをめざし、人権啓発研修会の開催や、教材化の取り組み、市民が人権の視点で日常の暮らしを点検できる情報提供など、様々な啓発手法で工夫を凝らし、毎年度当初に重点目標を明確にした取り組みを進めていく。		

施策名	差別解消のための総合的施策の推進
-----	-------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>人権施策遂行にあたり、庁内関係部署との連絡調整を緊密にしながら事業展開を図り、「人権問題に関する市民意識調査」を実施するとともに、「篠山市の人権施策推進体制」の早急な確立を図る。</p> <p>また「人権のための国連10年篠山市行動計画」を人権施策における主要な柱として位置づけ、「人権行政推進本部会議・幹事会」・「人権行政推進懇話会」を発足し、市民の声を反映できるよう総合的な施策調整機能の充実を図る。</p>
---	---

施策の実施状況 と課題	<p>人権施策の取り組みは、市民の要望を踏まえ、全ての市民の人権が守られる「あたたかい住みよいまちづくり」を目指して、平成22年8月12日「篠山市人権条例制定委員会」を発足して以降、年間各4回の「制定委員会」と「起草委員会」を開催し、本市に相応しい条例の制定に向けて検討を重ねながら、平成23年度施行に向けて取り組んでいる。</p> <p>さらに、篠山市人権条例制定と同時に、現在設置の「人権施策推進審議会」を廃止し、条文中に「人権を尊重したまちづくり審議会(仮称)」を設け、「あらゆる人権に関する問題の解決に向けた施策」をはじめ、「人権に関する意識の高揚」「人権に関する相談及び支援体制に関すること」を掲げ、より充実した施策の取り組みを図る。</p> <p>また、市民からの人権相談等については、常時受け付けているが、解決できない事柄については、人権擁護委員や法務局の紹介等問題解決に努めている。5館の「ふれあい館」活動については、その運営組織と運営内容について平成21年度に改善策をまとめ、平成22年度から実施している。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
隣保館での相談件数	隣保館相談事業	件	-	582	500	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
人権相談件数	人権相談業務	件	-	13	16	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	ふれあい館の運営については、平成21年度に策定した改善策を元に運営を実施しているが、今後も市直営の社会福祉施設として多くの市民が利用できる取り組みを行っていく必要がある。 人権相談については女性の相談が増えており、内容も複雑なものが多くなっているが、各種団体と連携しながら相談体制の充実を図る。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

(施策を構成する事務事業)

事務事業	事務事業名	再生計画	市一般財源 〔人件費込〕 (千円)	活動指標	単位	H21	H22	H22	対H22	事業の方向性
						実績値	実績値	目標値	達成度	
34201	人権に係る総合的な施策業務		382	審議会開催回数	回	0	0	2		A
34202	人権侵害救済に係る総合的な施策業務		76	中央集会(東京)参加者数	人	1	0	2		B
34203	人権相談業務		932	相談件数	件	13	25	—	—	B
34204	人権条例制定事務事業		2,761	委員会開催回数	回	0	4	4		B
34205	研修会館等維持管理委託業務	行(3)	3,353	指定管理施設数	館	15	1	1		C
34206	人権啓発・広報事務		1,176	啓発冊子作成回数	回	1	1	1		B
34207	住民学習事業		7,744	自治会平均参加人数	人	20	17	20		B
34208	体験型人権学習活動支援助成事業		5,786	解学開催回数	回	249	250	250		B
34209	生活・人権相談事業 (畑ふれあい館)		852	相談事業回数	回	41	68	—	—	A
34210	地域住民相互交流事業 (畑ふれあい館)		179	交流教室開催回数	回	58	38	60		B
34211	地域福祉事業 (畑ふれあい館)		170	健康増進教室開催回数	回	11	3	12		B
34212	隣保館連絡協議会負担金事業 (畑ふれあい館)		63	協議会開催回数	回	6	6	6		B
34213	ふれあい館運営委員会開催事業 (畑ふれあい館)		167	委員会開催回数	回	2	2	2		B
34214	ふれあい館運営審議会開催事業 (畑ふれあい館)		104	審議会開催回数	回	2	2	2		B
34215	生活・人権相談事業 (日置ふれあい館)		619	相談事業回数	回	41	172	—	—	A
34216	地域住民相互交流事業 (日置ふれあい館)		116	交流教室開催回数	回	46	62	50		B
34217	地域福祉事業 (日置ふれあい館)		119	健康増進教室開催回数	回	34	10	40		B
34218	隣保館連絡協議会負担金事業 (日置ふれあい館)		42	協議会開催回数	回	6	6	6		B
34219	ふれあい館運営委員会開催事業 (日置ふれあい館)		99	委員会開催回数	回	2	2	2		B
34220	生活・人権相談事業 (西紀ふれあい館)		865	相談事業回数	回	451	189	—	—	A
34221	地域住民相互交流事業 (西紀ふれあい館)		188	交流教室開催回数	回	138	151	120		B
34222	地域福祉事業 (西紀ふれあい館)		131	健康増進教室開催回数	回	11	3	10		B
34223	隣保館連絡協議会負担金事業 (西紀ふれあい館)		59	協議会開催回数	回	6	6	6		B
34224	ふれあい館運営委員会開催事業 (西紀ふれあい館)		116	委員会開催回数	回	2	2	2		B
34225	生活・人権相談事業 (味間ふれあい館)		859	相談事業回数	回	31	52	—	—	A
34226	地域住民相互交流事業 (味間ふれあい館)		166	交流教室開催回数	回	130	125	130		B
34227	地域福祉事業 (味間ふれあい館)		154	健康増進教室開催回数	回	19	4	20		B
34228	隣保館連絡協議会負担金事業 (味間ふれあい館)		59	協議会開催回数	回	6	6	6		B
34229	ふれあい館運営委員会開催事業 (味間ふれあい館)		115	委員会開催回数	回	2	2	2		B
34230	生活・人権相談事業 (古市ふれあい館)		673	相談事業回数	回	18	19	—	—	A
34231	地域住民相互交流事業 (古市ふれあい館)		305	交流教室開催回数	回	181	371	180		B
34232	地域福祉事業 (古市ふれあい館)		127	健康増進教室開催回数	回	83	8	80		B
34233	隣保館連絡協議会負担金事業 (古市ふれあい館)		45	協議会開催回数	回	6	6	6		B
34234	ふれあい館運営委員会開催事業 (古市ふれあい館)		89	委員会開催回数	回	2	2	2		B
34235	人権学習活動支援事業		1,344	成人学級開催回数	回	37	13	15		B

施策	343	評価担当課名:人権推進課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.51
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	4.人権教育の推進
中項目の基本方針	市民の人権が等しく尊重されるまちづくりをめざし、人権啓発研修会の開催や、教材化の取り組み、市民が人権の視点で日常の暮らしを点検できる情報提供など、様々な啓発手法で工夫を凝らし、毎年度当初に重点目標を明確にした取り組みを進めていく。		

施策名	男女共同参画社会の実現
-----	-------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	各自治会の活動支援・学校教育での関係機関との連携・職場への男女共同参画への情報提供などを行い、また女性問題相談について、サポート体制の一層の充実を図るなど、男女共同参画に向けての意識啓発やあらゆる分野での男女共同参画社会の実現に向けての取り組みを推進する。
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>各自治会より推薦いただいている男女共同参画推進員対象(全集落の93.1%)の研修会、一般対象の男女共同参画啓発セミナー、男性のみ対象のおやじクッキング、情報誌(フィフティだより)の配布等により市民に意識啓発ができた。また女性相談も匿名による電話相談が多いが、快い対応に心がけ概ね相手に満足のいく回答ができています。</p> <p>男女共同参画とは、男女一人ひとりが個性と能力を十分に発揮する機会が得られ、自分の意思によりあらゆる分野の活動に参画し、ともに責任を担うことである。家庭にあっては、お互いが助け合い、思いやりを持ってともに幸せな生活ができることを目的にしているが、男女平等という言葉が浮遊して男性・女性の持つ特性が生かされていない傾向が見受けられる。今年度男女共同参画プランが期間終了となり、次期プランを策定中であるがその部分をどう掲載していくかが今後の課題となる。</p>
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
各種委員会等への女性委員の登用率		%	-	21	22	25		他委員会での重複あり。合計で118人を登用。
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
相談件数(女性問題、DV、セクハラ、子育て、介護、人間関係等)		件	-	71	63	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	各種委員会、審議会の女性登用率については、啓発活動の実施等により緩やかではあるが向上しているが、より一層の登用率向上となるよう取り組む必要がある。 篠山市男女共同参画プランについては平成23年度が最終年度となるため、これまでの成果を見極めた上での新たなプランを作成する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	351	評価担当課名:たんば田園交響ホール	関連部局:社会教育・文化財課、公民館	後期基本計画掲載 P.54
----	-----	-------------------	--------------------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	5.芸術・文化の振興
中項目の基本方針	より豊かな地域社会を創出するため、伝統文化の保存・継承、新しい地域文化と創造・発信、市民文化活動の育成などを支援するとともに、市民個人と文化活動との出会いや文化活動に関わる人と人との交流を促進する。		

施策名	芸術・文化活動への支援
-----	-------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>市民主体による芸術・文化活動を一層支援し、市民の手で守り育てていく芸術・文化の振興を図る。また、市民がより身近に芸術・文化に親しむことができるように、芸術・文化の発表機会の充実、文化情報の提供、施設の拡充・改修などを推進するとともに、鑑賞方法、展示などの質的充実を促進する。</p> <p>このため、各種芸術・文化団体の育成やそれに関わる人々の間での文化ネットワークの構築とともに、社会教育との連携を強化することを通じて、市民が気軽に芸術・文化に触れられる環境づくりを推進する。また、専門的な知識や技術を有した指導者や文化ボランティアの育成・確保に努める。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>市民主体による芸術・文化活動を支援するため、市民自らが企画立案していける市民共同企画事業や文化団体の事務局支援を行った。また、市民が身近に芸術・文化に親しむことができるよう、文化情報の提供や交響ホール主催事業のチケット予約がメールで出来るようにするなど、利便性の向上をめざし、ホームページの充実等を進めた。主催事業として6本の公演と交響ホールオペレータークラブ主催の第2回丹波篠山S-1グランプリ大会1本を開催し、市民協働により市民自らが活動への参加、推進に取り組み、愛され親しまれるホール運営に努めた。</p> <p>施設管理においては、平成21年度に引き続き兵庫県から受託した「たんば田園交響ホール改修整備事業」により交響ホール施設内外の改修工事を実施し、平成22年度末に全事業が完了した。</p> <p>年間入場者数は、実績値から見ると減少傾向にあるため、原因分析を行い入場者数の向上に努める。</p> <p>文化団体の構成を見ると、高齢化に伴い減少傾向にある。また、趣味の多様化により文化協会等組織に属さない団体・教室も増えており、類似団体のネットワーク化や団体数の把握自体が難しくなっている。</p> <p>ホールの利用増進については、地域文化の育成・創造活動の支援について考える上でも、公益性を損なうことなく、広く利用者へサービスを提供し、利用者にとって使いやすい運営方法や体制を構築するため、地域商店街との連携、他ホールとの比較や分析を重ねて運営計画の定期的な見直しや整備を進めることが求められる。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
文化協会加入団体数	市内における文化協会の団体数	団体	-	185	180	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
市内3ホールの年間入場者数	交響ホール、四季の森ホール、さぎそうホールの入場者数	人	97,208	66,898	58,536	100,000		

総合評価	施策の達成度	-	市民が優れた芸術文化に触れたり、芸術文化活動に参加できる機会を充実させると共に、文化活動支援や文化の発信・活性化に努めてきた。 市内3ホールの年間入場者は減少傾向にあるため、これまでの実績を踏まえつつ、田園ホールを中心としたより効果がある自主事業のあり方を見直す。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	352	評価担当課名:社会教育・文化財課	関連部局:景観室	後期基本計画掲載 P.54
----	-----	------------------	----------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	5.芸術・文化の振興
中項目の基本方針	より豊かな地域社会を創出するため、伝統文化の保存・継承、新しい地域文化と創造・発信、市民文化活動の育成などを支援するとともに、市民個人と文化活動との出会いや文化活動に関わる人と人との交流を促進する。		

施策名	文化財の保全・活用の推進
------------	---------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>長年にわたり地域で継承されてきた貴重な伝統芸能や文化を今後も保全・継承していくため、地域などと連携しながら後継者の育成などを積極的に支援するとともに、観光資源や学校教育、生涯学習などでの教材としての利活用も視野に入れた、幅広い活用方を検討する。</p> <p>これまでに指定されている文化財の保全・活用に引き続き取り組むとともに、さらなる文化財の収集・調査・保全に努める。</p> <p>また、「こんだ薬師温泉」と「兵庫陶芸美術館」との連携を図るとともに、「八上城跡」や「篠山市篠山伝統的建造物群保存地区」の整備を進め、貴重な歴史・文化資源の活用を推進する。</p>
--	--

施策の実施状況と課題	<p>文化庁の文化財総合的把握モデル事業に採択されたことにより、「篠山市歴史文化基本構想」を策定し、市内全域の文化財の総合的な調査の実施とその成果をまとめた。今後は構想に基づき、文化財の保存・活用を推進し、市民全体の意識向上に努める必要があり、その取り組みのひとつとして、地域の文化財等をテーマとした社会科の補助教材「ふるさとガイドブック」を作成し、市内の小・特別支援学校の5・6年生を対象に配布した。</p> <p>篠山伝統的建造物群保存地区においては、修理修景を実施し歴史的景観の向上と活性化の取り組みを進めるなど、貴重な歴史・文化資源の活用を促進した。</p> <p>八上城跡においては、保護管理に向けての周知啓発を行うとともに、案内看板の設置や登山道の整備にも取り組んだ。</p> <p>文化施設4館の入館者数は堅調に推移しているが、施設の老朽化が目立ち、今後修理等の必要性が出てきている。また篠山アートフェスティバルや八上城フォーラム、能舞台のワークショップ等文化財等を活かした住民主体による活動や後継者育成を目的とした体験学習等の取組が増えてきており、地域の主体的な取組について一層の支援が必要となってきた。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市指定文化財数	篠山市の指定文化財の総数	件	136	137	136	増加		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	今後の歴史文化を活かしたまちづくりの指針となる篠山歴史文化基本構想を策定し、文化財を把握することが出来た。今後は多くの市民の方々に認識を高めていただける意識啓発などを進めていく。 アートフェスティバルやワークショップなど、住民主体の取組が増えてきており、地域の主体的な活動に対して今後一層の支援を行っていけるよう検討する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	353	評価担当課名:社会教育・文化財課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.54
----	-----	------------------	-------	------------------

施策大綱大項目	生涯学習の充実	中項目	5.芸術・文化の振興
中項目の基本方針	より豊かな地域社会を創出するため、伝統文化の保存・継承、新しい地域文化と創造・発信、市民文化活動の育成などを支援するとともに、市民個人と文化活動との出会いや文化活動に関わる人と人との交流を促進する。		

施策名	新地域文化の創造
------------	-----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>芸術文化・伝統工芸など、幅広く文化を終結させ、全国に情報発信できる「市展」を開催し、篠山文化の高揚と発展を目指すとともに、文化活動をとおり、「創るよこび、見る楽しさ」が体感でき、活動する人たちが地域が元気の出る催しとして定着させていきます。</p> <p>また、地域に受け継がれた様々な文化資源を保全・活用しながら、市民による地元の自然的・文化的特質を最大限に活かした新しい地域文化の創造を促進するとともに、インターネットなどの情報技術も活用しながら、国の内外を問わず広く本市の文化を発信する。</p>
--	--

施策の実施状況と課題	<p>篠山市の芸術文化の向上を目指して篠山市展を開催した。作品公募、各専門分野の審査員による応募作品の審査を経て、入選作品は篠山市民センターで展示し、市民が優れた作品を鑑賞する機会とした。また、入賞者には賞を授与して作品を顕彰し、市民の創作活動を奨励する気運を高めた。</p> <p>応募作品が例年約200件で推移しており、今後より多くの出品者を募り、作品のレベルアップを図りながら、魅力ある篠山市展としていく必要がある。</p> <p>また、文化の発信に関して、視聴覚ライブラリーの映像製作や配信、IT推進事業、中央図書館での他図書館との連携による情報の収集・発信、市ホームページの充実など、多様な市民ニーズに対して的確かつ迅速に応え得る生涯学習の場と資料を提供した。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市展の来場者数	市展作品を見学した来場者数(1日平均)	人	-	142	126	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市民センターギャラリーの利用日数	市民センターギャラリーの利用日数	日	62	49	48	増加		

総合評価	施策の達成度	-	篠山市展について、本年度の出品数は約200件となっている。今後より多くの作品を出品していただけることにより作品のレベルが上がり、文化力の高揚に繋がると考えられるため、PRをより積極的に行うと共に、関係団体への資料提供を行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	411	評価担当課名:地域計画課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.57
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

施策名	計画的な都市整備の推進
------------	--------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「兵庫県土地利用基本計画」に即して、西紀北小学校区についても都市計画区域への編入を検討する。また、市街地の無秩序な拡大と非効率な市街地の分散を抑制しつつ、城下町、支所・交通拠点周辺、沿道等において、良好な市街地の整備・誘導を図る。特に、丹南篠山口インターチェンジ周辺及び大沢新東吹線沿道では、需要動向に見合った適切な土地利用転換を促進する。農村工業などの導入地域では、自然環境に負担をかけず、雇用拡大と将来性が期待できる企業立地を促進する。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>西紀北小学校区の都市計画区域編入については、合併後において特に開発事業もなく、都市計画区域編入により都市計画法に伴う土地利用及び建築物等の規制誘導は、県の緑条例、市のまちづくり条例等でその効果が期待できること、また地元理解が得られないことから編入は見送る方針である。</p> <p>市街地の無秩序な拡大、非効率な市街地の分散懸念は策定済みの市国土利用計画に13種の方針別区域設定を行っており、開発行為の内容が計画と大きく相違するところは見当たらない。</p> <p>城下からインター及びそのアクセス道路沿道および国道176号の広域沿道における土地利用転換が想定される地域については、県緑条例の地区整備計画で開発行為の規制誘導を検討している。特にインター周辺地区では9回、広域沿道地区では8回の説明会やワークショップ等を開催したが、地域の合意形成に向けて鋭意取り組んでいる。</p> <p>企業立地については、農工団地を中心に誘致活動を行っているが、農工団地での成果はまだあがっていない状態である。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
篠山市都市計画区域面積		ha	H13 34,995	34,995	34,995	37,761		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
用途地域面積		ha	H13 154	154	154	276		

総合評価	施策の達成度:	-	市の全域都市計画編入については、住民の要請や開発状況などから見送りとしている。丹南篠山口IC周辺と東岡屋周辺については地域住民とワークショップを開催し、土地利用計画素案を作成した。 今後、定住促進や地域の活性化等の観点から、雇用拡大を図るため開発誘導すべき地域には適切な誘導を促進していく。
	構成事務事業の妥当性:	計画通り進める	
	施策の方向性:	これまで通り力を入れる	

施策	412	評価担当課名:地域計画課	関連部局:景観室、地域整備課	後期基本計画掲載 P.57
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

施策名	篠山らしい都市環境の形成
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「丹波の森構想」の理念に基づき、地域の人々が丹波の自然と共生し、心豊かに暮らすための篠山らしいまちづくりを推進する。また、地域住民を主体とした、地区レベルの土地利用計画を定める里づくり計画制度により、地域特色を活かした土地利用の促進を図る。
---	--

施策の実施状況と課題	<p>「丹波の森構想」の理念を踏まえた県緑条例の景観形成区域(5種)及び環境形成基準である土地・建築・緑化指針により篠山らしい土地利用(開発等)の推進が図られている。</p> <p>地域住民を主体とした地区レベルの計画である里づくり計画の策定地区(自治会)としては、市内261地区(自治会)の中で7地区(自治会)であり、地区独自の土地利用誘導方針を定め地域住民(里づくり協議会)が運用を行っている。</p> <p>今後も、里づくり計画の策定について意欲をもつ地区(自治会)を支援し、計画策定を推進していく。</p> <p>市が主体となって計画策定を進める複数自治会が関係する県緑条例に基づく地区整備計画について、早期に知事認定を受けるべく取り組むものの、地域住民の合意形成等が課題である。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
里づくり協議会地区数	里づくり計画認定地区(累計)	地区	6	7	7	9		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	篠山市里づくり条例を推進するため自治会毎の里づくり計画の策定を進めてきた。今後も里づくり計画策定に意欲的な自治会を支援し、計画策定を推進していく。 また、意欲を持った団体への支援以外にも、全地域が自主的によりよい生活環境を作り出すような仕組みづくりを進める。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	413	評価担当課名:地域計画課	関連部局:社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.57
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

施策名	拠点的都市機能の整備の推進
------------	----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>JR篠山口駅周辺では、都市計画道路・大沢味間南線の新設整備を中心に都市機能の充実を目指し、地域住民との協働によるまちづくりを進める。城下町市街地において、都市計画道路網の見直しを進め、「歴史的環境整備街路事業」の推進と、将来ネットワークの確立を図る。あわせて、「街なみ環境整備事業」の推進とともに、「伝建地区」における生活環境の整備促進に努める。</p> <p>また、その他の地域においても、まちづくり、歴史的環境の保全、農林業・観光振興等への展開を含む拠点都市機能の整備を検討する。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>JR篠山口駅周辺の都市計画道路大沢味間南線については、篠山口駅西土地区画整理事業と調整を図り一定区間まで整備を完成したが、一部区間については市の財政状況により凍結している。</p> <p>城下町地区の都市計画道路網の見直しについては、道路ネットワーク及び現状に適合していない路線もあり、兵庫県都市計画道路網見直しと連携を図りながら取り組んでいる。</p> <p>歴史的環境整備街路事業(中央線)については、電線類地中化及び道路美装化事業として完成しているが、一部用地物件移転補償交渉が未成立で残っており今後の課題となる。また、城東線については、市の財政状況により凍結している。</p> <p>街なみ環境整備事業(二階町通り地区)及び伝統的建造物群保存地区については、中央線の道路美装化・御徒士町線の電線類地中化及び道路美装化等の整備が完了している。</p> <p>また、篠山城下町の歴史・文化の魅力を継承し、安心して暮らせるまちづくりを目標とする交付金による篠山城下町地区整備事業については、耐震性防火水槽の設置及び篠山城下町の景観に配慮し統一したシンプルなデザインの街路灯整備に取り組み生活環境の整備促進を進めている。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
都市計画道路整備延長(累積)	都市計画による基盤整備の状況	km	9	9	9	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	都市計画道路及びその他の道路整備について、市の目指すべき方向・施策を勘案し土地利用計画等が策定されている状況であり、今後都市計画道路については検討を行い、計画の見直しを図る。 まちづくり交付金事業については、順調に整備を行っており、地元の協力を得ながら平成24年度での完了を目指す。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	414	評価担当課名:地域計画課	関連部局:地域整備課、社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.57
----	-----	--------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

施策名	緑地拠点の保全と整備
-----	------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>都市公園の整備に関して、「篠山城跡公園」については、跡地整備などの検討を行い、篠山小学校・幼稚園の場内移転計画の検討も含めた整備促進を図る。「丹波並木道中央公園」の整備(H19年度開園)のほか、既存「公園」の活用と新設「公園」を核とした農村公園などの計画・整備を図る。</p>
---	---

施策の実施状況 と課題	<p>平成15年度から篠山城跡公園の内堀復元整備工事を継続的に実施し、現在約3割の整備が完了し、中学校の区域外移転を完了している。学校施設については、耐震改修を計画的に進めている。</p> <p>県立丹波並木道公園は平成19年秋に開園し、園内に各自然とふれあうゾーンなどを設け、県の指定管理によりイベント実施等で地域住民も参画するなかで都市住民との交流促進に寄与している。</p> <p>その他市の緑地拠点として、ささやまの森公園、丹波伝統工芸公園、川代公園、西紀運動公園、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷があり、それぞれの機能を発揮されているが、さらに管理費用や運営内容について見直しを進める必要がある。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
都市公園の箇所数 (累計)	都市公園の整備	箇所	-	15	15	16		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	篠山城跡公園について、「史跡篠山城跡整備基本構想」に基づく整備の推進と学校施設の移転問題等とを関連付けた上で方針を決定し事業を進める。 公園の活用については、公園間等の連携を行うと共に、既存の事業・目的にこだわらない新たな事業展開による運営の効率化・合理化を図る。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	415	評価担当課名:地域計画課	関連部局:景観室、地域整備課	後期基本計画掲載 P.58
----	-----	--------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	1.都市環境の整備
中項目の基本方針	丹波の森構想の理念と緑豊かな地域環境の形成に関する条例を基本として、地域の個性を活かした、ゆとりと潤いのある効率的な都市整備を進める。		

施策名	身近な「みどり」の保全と整備
-----	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>身近な場所での公園・緑地の整備について、地区公園や街区公園の計画的な配置方針の樹立とともに、農村公園の整備、学校グラウンドの活用などのオープンスペースの確保を行う。</p> <p>また、里づくり計画策定地区をはじめとする集落において、植栽指定路線の認定や関係法令との整合を図りながら、適正な土地利用の促進、森林及び緑地の保全、緑地の推進に指導・誘導を行う。</p>
---	---

施策の実施状況 と課題	<p>市内にある公園についての維持管理を行い、市民の主体的な利用を確保している。今田町上立杭地区においてはポケットパークを市民の手で整備する活動が行われた。</p> <p>また、花と緑の郷土づくり事業を活用して花の苗を配布することなどで環境美化の活動を行ってきた。</p> <p>市内で行われる開発行為に対しては、緑豊かな地域環境の形成に関する条例及び篠山市まちづくり条例他関係法令により、適正な土地利用の促進、森林及び緑地の保全、緑地の推進について、指導・誘導を行っている。</p> <p>市内で県民まちなみ緑化事業の事業対象となる地区等については、地域団体(里づくり協議会、PTA等)が主体となって、身近な「みどり」の整備に取り組んでいるが、事業対象となる地区が限られていることが課題である。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
県民まちなみ緑化事業活用件数	緑化件数(累計)	件	-	1	3	1		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	開発行為に関しては、まちづくり条例他関係法令により、ポケットパークなどの整備に着手し、また適正な土地利用の推進を行っている。県民まちなみ緑化事業を活用した緑化活動については、一地区で整備計画を策定し、取り組みを行った。 今後、地域活動における緑化・維持管理の合理的な方策を検討し、広域的な緑化活動の展開を行う。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	421	評価担当課名:地域整備課	関連部局:地域計画課、社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.61
----	-----	--------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	2.道路・交通網の整備
中項目の基本方針	利便性・安全性の向上に向け、必要性、緊急度などに応じ、交通結節点へのアクセス道路、拠点間を結ぶ道路などの重点的な整備を推進する。また、市街地の交通混雑の解消、高齢者・障害者への対応、環境対策として、公共交通を充実し、利用促進を図る。		

施策名	道路ネットワークの整備の推進
-----	----------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>拠点間を結ぶ広域幹線道路については、シンボリック道路としての意義を考慮し、道路空間の整備を推進し、主要道路については関係機関に整備を要請する。また、市街地においては、自動車交通と観光客の円滑な誘導を目的とした、整備を進めるとともに、都市計画道路の見直しを進める。未整備の都市計画道路については、長期的な観点からの街路網の見直しを進める。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>広域幹線道路である国道改修については、兵庫県において取り組みがなされているが、国道372号丹南バイパスは、用地確保の問題により予定通り進捗していない状況が発生している。県道においても、地域の要望等とともに県との調整を行っている状況である。</p> <p>市道の戦略的な道路整備については、財政上の事情等により新設、改良とも市道大沢新栗栖野線以外の路線は休止状態としている。</p> <p>歩行者優先道路、自転車道の整備についても市道整備と同様に休止としている。</p> <p>都市計画道路網については、社会情勢、市街地の形成状況の変化により、平成26年度に見直しを予定している。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
道路改良率		%	65.2	66.4	66.4	66.4		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	広域幹線道路の整備については、今後も関係機関に早期整備要請を行う。市道については利便性・安全性・必要性・緊急度などの観点より整備を進めると共に、平成26年度に都市計画道路網の見直しを行う予定としている。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	422	評価担当課名:企画課	関連部局:生活課	後期基本計画掲載 P.61
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	2.道路・交通網の整備
中項目の基本方針	利便性・安全性の向上に向け、必要性、緊急度などに応じ、交通結節点へのアクセス道路、拠点間を結ぶ道路などの重点的な整備を推進する。また、市街地の交通混雑の解消、高齢者・障害者への対応、環境対策として、公共交通を充実し、利用促進を図る。		

施策名	公共交通機関の整備
-----	-----------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>JR福知山線篠山口駅などにおいて、駅舎のバリアフリー化とともに、まちの顔となるような駅前空間の整備を推進する。また篠山口以北の複線化について関係機関と連携し働きかける。さらに、丹波大山駅や古市駅のアクセス道路の整備を検討する。</p> <p>バス交通については、コミュニティバスの実現化、既存の交通資源(路線バス、福祉バスなど)、新たな住民輸送(NPOなどによるボランティア輸送)の有効活用などにより、きめ細かなバスサービスの提供を検討する。</p> <p>また、低床型車両や低公害車の導入などにより、高齢者・障害者の移動を支えるものとして使いやすく、環境にやさしいバス交通としていくとともに、市内の移動ニーズに対応した路線運行、接続・運行ダイヤの見直し、バスサービス向上による利用喚起など、路線バス交通を活性化させる施策を検討する。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>JR福知山線対策については、JR福知山線複線化期成同盟会の中で、本社、支社への要望活動及びスタンプラリー等を通じた利用増進施策を実施した。</p> <p>路線バス対策としては、生活交通の維持確保のため路線バス、コミュニティバス、乗合タクシーの運行費に対する補助を実施した。また、ささやま医療センターへの乗り入れなどコミュニティバスの利便性向上を図った。</p> <p>課題としては、路線バス等公共交通の利用者が減少する中で、子どもや高齢者など移動手段を持たない人たちの移動手段の確保について、地域や行政が知恵を出して仕組みづくりを図ることが求められる。今、今田、西紀中、大芋地区においては、住民主体のボランティアによる移動サービスが行われている。今後は、公共交通を確保する中で、住民ニーズに沿った交通体系のあり方が課題となる。一方、丹波大山駅、古市駅へのアクセス道路整備の検討には至っていない状態である。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
コミュニティバス運行事業	平均乗車密度	人	-	1.5	1.8	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	生活交通の確保を図るため、路線バスの運行補助を実施し、またコミュニティバスについても利用者の利便性に留意し利用しやすい環境整備に努めている。今後利用者増につながる取組みと地域と協力できる公共交通体制を構築する。福知山線の篠山口以北の複線化については、関係機関と連携し要望活動等を行っているが、実現が難しい状態である。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	431	評価担当課名:下水道課	関連部局:経営企画課	後期基本計画掲載 P.63
----	-----	-------------	------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	3.生活排水処理施設の整備
---------	---------	-----	---------------

中項目の基本方針	生活排水処理施設は、処理区の統廃合、役割分担の適正化を進め、適切な管理・運営を促進する。また、処理施設における資源の有効活用を図る。
----------	--

施策名	生活排水処理施設の適切な管理・運営
-----	-------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	生活排水処理施設は、処理区のブロック化、統廃合などの検討を進める。また計画的な整備・管理・運営に努め、整備済み地域内での水洗化を推進する。今後も、未整備地区について、農業用水路と都市排水路の分離を図りつつ、集合処理施設の拡充に努める。また、民家が散在するなどにより集合処理施設整備が困難な地区でも、小型合併処理浄化槽の設置を推進する。
---	---

施策の実施状況 と課題	公共水域の水質保全と快適な市民生活を守るため、市内27処理区の下水処理場の維持管理に努めた。 処理施設統廃合については各施設の稼働状況、維持管理費、経過年数等を考慮しながら、現有施設の有効利用を図るための基本構想を職員で作成し、平成23年度からは基本構想を基により具体的な計画策定に取り組む。 長寿命化計画については継続して使用する処理施設を対象に機器の劣化度調査、更新計画の策定を実施した。 水洗化の促進は接続意向調査の分類を行ったが、未接続理由の多くが経済的理由、家屋の老朽化、後継者がいないなどの理由によるものでありその対応が課題となっている。
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
水洗化率	市内の水洗化人口		%	80.1	89.2	89.7	97.6		H21丹波市91.6%、加東市89.1%
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	下水処理場の維持管理は適切に実施している。また、水洗化率の向上についても、接続意向調査を実施しており、移行調査分析を含めた普及対策に努める。 処理施設統廃合については各施設の稼働状況、維持管理費、経過年数等を考慮しながら基本構想を策定しており、平成23年度からは基本構想を基により具体的な計画策定に取り組む。
	構成事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	432	評価担当課名:下水道課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.63
----	-----	-------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	3.生活排水処理施設の整備
中項目の基本方針	生活排水処理施設は、処理区の統廃合、役割分担の適正化を進め、適切な管理・運営を促進する。また、処理施設における資源の有効活用を図る。		

施策名	し尿処理施設の適切な管理・運営
------------	------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「あさぎり苑」の発生活泥量の見通しが具現化したことを受けて、経費節減及び効率化を図るため、下水汚泥処理とし尿処理のあり方などについて具体的な検討を進める。また、集合処理地域と小型合併処理浄化槽地域での管理負担については、小型合併処理浄化槽の管理が、各設置者の管理となっていることから、その管理方法とあわせ、適切な維持管理が推進できるような対策を検討する。
--	---

施策の実施状況と課題	<p>汚泥処分経費の削減と効率化を目的としたミックス事業の推進に向け、関係者の皆様にご理解をいただくため説明会を重ねた結果、おおむね合意が得られたことからミックス事業に着手することができた。</p> <p>なお、平成24年度から開始する汚泥乾燥業務の開始に向け安全面、環境面を考慮した効率的な業務、職員配置の検討が課題となっている。</p> <p>合併浄化槽の関係については、新規設置者に対して適切な管理をしていただくよう、口頭説明及び啓発チラシを配布した。</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
し尿処理量	し尿汲み取り量	kl	-	2,090	1,955	2,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
汚泥投入量	浄化槽汚泥の投入量	kl	-	3,210	3,063	3,141		

総合評価	施策の達成度:	-	ミックス事業については、説明会の開催などを通じておおむね合意が得られ、事業に着手することができた。建設中の汚泥乾燥処理施設やあさぎり苑の事業運営については、地元関係住民との信頼関係が損なわれないよう適正な事業運用を行う。 小型合併浄化槽については、下水道使用料と他市状況を調査し今後の対応を検討する。
	構成事業の妥当性:	計画通り進める	
	施策の方向性:	これまで通り力を入れる	

施策	433	評価担当課名:下水道課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.63
----	-----	-------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	3.生活排水処理施設の整備
中項目の基本方針	生活排水処理施設は、処理区の統廃合、役割分担の適正化などを進め、適切な管理・運営を促進する。また、処理施設における資源の有効活用を図る。		

施策名	資源の有効活用
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	省資源・循環型社会の構築に向けて、処理水の水資源化や発生活泥の再資源化・活用方法の研究・検討を進める。
---	---

施策の実施状況 と課題	処理水の活用については、一部の処理場で消泡水などの場内用水として再利用しており、また、下水処理場から発生する汚泥は脱水した後、民間処分場で堆肥原料として再利用されているが、平成24年度からは乾燥汚泥が発生することとなるため、利用方法、他自治体の活用状況等の調査、情報収集を行った。
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	乾燥汚泥処理について、民間処分場にて再利用されているが、平成24年度より汚泥乾燥施設を試験運転を実施するため、利用方法などの調査を行った。 今後は乾燥汚泥の緑地利用の可能性について具体的に検討を進める。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	441	評価担当課名:上水道課	関連部局:経営企画課	後期基本計画掲載 P.65
----	-----	-------------	------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	4.水資源確保と安定した水道供給
---------	---------	-----	------------------

中項目の基本方針	引き続き、上水道の安定的供給や限りある水資源を大切に使うための意識づくりを高めるとともに、水道水質基準の遵守や水道供給システムの効率化・安定化を図る。
----------	---

施策名	上水の安定的供給
-----	----------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>水資源確保とともに、効率的な水運用を行うため、経費節減に努めつつ、老朽化した施設の統廃合と施設整備などを計画的に推進する。また、配水管路のブロック化による計画的な漏水調査を実施することにより、有収率の向上を図り、安心・安全でより安定した水の供給に努める。また、給水区域の拡大や新たな需要家の獲得、企業誘致等の水需要の拡大を推進する。同時に、今後の整備計画も含めた財政計画にそって、適正な水道料金への見直しを行う。</p>
---	---

施策の実施状況と課題	<p>施設維持管理費について、老朽化していた住吉台受水施設・高架水槽の廃止及び東吹浄水場の休止を行い配水系統を見直したことで縮減することができた。また、有収率について、老朽管路区間で漏水多発箇所となっていた大山下及び県守の配水管更新(延長約930m)や漏水修理(配水管、約60件)の施工により微量ながら向上が図れた。</p> <p>今後更に管路更新計画及び漏水調査の結果を活用し計画的効率的に管路の更新を行うとともに、簡易水道統合計画の策定による施設の統廃合を進めることにより、有収率の向上と施設維持管理費の縮減を図る。</p> <p>なお、適正な水道料金への見直しについては、現行料金体系が県内他市と比較して高額である実情を踏まえて、更なる経費縮減をはじめとした水道経営の効率化を推進し現行料金体系の維持に努める。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
有収率	給水量/配水量×100	%	-	82.3	82.5	-	-	類似団体 86.4%
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-	-	-	-	-	-	-	-	-

総合評価	施策の達成度	-	安定的な水道経営と効率的な給水事業を行うため、現行の漏水多発地点や老朽管漏水箇所の早期敷設工事を実施し、有収率の向上を図る必要がある。 また、効率的な水運用や経費縮減を推進していくため、配水系統の見直しや給水間施設の統廃合などの検討を進める。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	442	評価担当課名:農都創造課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.65
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	4.水資源確保と安定した水道供給
中項目の基本方針	引き続き、上水道の安定的供給や限りある水資源を大切に使うための意識づくりを高めるとともに、水道水質基準の遵守や水道供給システムの効率化・安定化を図る。		

施策名	水源を涵養する森林の保全
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	不安定水源の解消や既設水源の有効活用を図るため、水源涵養林保全意識の啓発とともに、県と連携し、水源涵養林の拡大などを行う。
---	---

施策の実施状況 と課題	<p>間伐に必要な経費を、国の補助に加え、市と県が経費を賄うことにより、森林所有者等の負担を無くし間伐を推進する環境対策育林事業を行なった。実施面積は1,122haとなった。課題として、まだ市内には放置される森林がしなやかに多く散見されることから、実質負担が無いことをさらにPRし、森林所有者に対し間伐への関心を高めていく必要がある。</p> <p>混交林整備事業については、高齢級に達した杉・桧などの人工林の伐採・搬出を促し、その伐採跡地に広葉樹(ヤマザクラ2,600本)を植栽することにより、針葉樹と広葉樹の混交林化を進め、森林の多面的な機能発揮を図っている。また、本郷にて作業道1,072mの整備を行った。</p> <p>課題としては、県民緑税を活用し、森林所有者の植栽等に関する負担は無くなるが、事前の人工林の伐採・搬出が木材価格の低迷により伐採意欲にいたらず事業実施断念に至っているケースも少なからず存在しており、今後対応を検討する。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
環境対策育林事業実施面積	間伐した育成林の面積(累計)	ha	249	992	1,122	2,200		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
保安林改良事業	本数調整伐した保安林の面積	ha	9	76	24	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	「篠山市森林整備計画」に基づき、水源涵養林の保全や間伐育林等の拡大を図ると共に、里山保全の意識向上を図るため、市民主体の「里山彩園実験事業」を展開している。今後も森林バイオマスの展開等を検討し、市民による森林保全や森林組合の機能充実を検討する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	443	評価担当課名:経営企画課	関連部局:上水道課	後期基本計画掲載 P.65
----	-----	--------------	-----------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	4.水資源確保と安定した水道供給
中項目の基本方針	引き続き、上水道の安定的供給や限りある水資源を大切に使うための意識づくりを高めるとともに、水道水質基準の遵守や水道供給システムの効率化・安定化を図る。		

施策名	水資源有効利用意識の啓発
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	水資源の有効利用意識を高めるとともに、湯水時の節水意識向上に向けた啓発や情報提供をより一層充実する。
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>毎号の市広報で水質結果を掲載することにより水道水質の安全性をお知らせするとともに、3月号では節水のお願い記事を掲載した。また新たな試みとして、毎年発行している広報紙「ささやまの水道」を市広報に挟み込んで配布した。</p> <p>小学4年生を対象に西新町浄水場の見学を受け入れ、浄水場の仕組みや水道水のできるまでを学習した後、浄水場内の施設を見学した。(市内13校が参加)</p> <p>6月1日から7日までの水道週間期間中「水を大切にしましょう」と印字された横断幕を本庁舎4階壁面に掲げ、また本庁舎1階ロビーにおいて「篠山市水道の歴史」や「水道の豆知識」のパネル展示と節水ポスターの掲示を行い啓発に取り組んだ。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
水道広報宣伝回数	市広報・水道広報	回	-	14	13	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
節水意識の普及業務	展示PR・浄水場見学	回	-	18	14	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	広報での情報提供や小学生の浄水場見学などを通じて、水資源の有効活用に向けた啓発を行っている。 広報内容について、水道手続きの面だけでなく、浄水コストや施設維持管理など経営面の情報も提供していき、水道事業の将来的な課題について関心を高めていく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	451	評価担当課名:市民協働課	関連部局:総務課、企画課	後期基本計画掲載 P.67
----	-----	--------------	--------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	5.情報・通信基盤の充実
中項目の基本方針	ITの多様な活用を検討し、市民生活の向上をめざす。CATV網、携帯電話などを活用した実用的な情報・通信手段の確保に努め、行政事務効率化、福祉、健康、教育、文化、防災などでの利用を推進する。また、情報化に伴うトラブル防止やデジタルデバイドの防止の普及啓発活動を促進する。		

施策名	情報・通信基盤の充実
------------	-------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	市広報紙、ホームページ、市ビデオ広報などをお互いに連携させ、それぞれの特長を生かしながら、より細やかで、タイムリーな情報発信に努める。光ファイバーを利用したCATVについては、市民生活の利便性向上のため、市による自主放送サービスの有効活用を検討する。緊急時の情報通信システムについては、CATVの活用や防災行政無線機能により地域コミュニティを基礎とする多面的で実用的なシステムを検討し、早急な整備を図る。
--	--

施策の実施状況と課題	それぞれの媒体を活用し、タイムリーな情報発信を行っている。緊急時における情報伝達手段としては、行政防災無線のほか、地域サポート職員制度(自治会連絡員)による地域への連絡体制を構築している。ただし、情報伝達時にタイムラグが発生した時に、防災無線による一斉情報伝達できるシステムの構築が必要である。 また、民間のコミュニケーションチャンネルを使ったCATVについては、平成23年7月の地上デジタル放送の移行に先立ち、平成23年3月31日をもって放送が終了となった。今後は、フェニックス防災システムと連動した地上デジタル放送の「 commons 」サービス(無料)の活用方法を検討する。
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
発行ページ数	年間広報誌総ページ数(挟み込み含む)	ページ	-	416	428	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	各種媒体を使用したタイムリーな情報提供を行っている。緊急時には行政防災無線や地域サポート職員制度による連絡体制を構築しているが、他の伝達手段の有効活用も検討する必要がある。 民間のコミュニケーションチャンネルを使ったCATVに関しては、地上デジタル放送への移行に伴い放送終了となったため、今後は地上デジタルを利用した防災システムの検討を行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	452	評価担当課名:総務課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.67
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	5.情報・通信基盤の充実
中項目の基本方針	ITの多様な活用を検討し、市民生活の向上をめざす。CATV網、携帯電話などを活用した実用的な情報・通信手段の確保に努め、行政事務効率化、福祉、健康、教育、文化、防災などでの利用を推進する。また、情報化に伴うトラブル防止やデジタルデバイドの防止の普及啓発活動を促進する。		

施策名	情報・通信網の多面的利用
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>地域イントラネットを利用した電子申請や公共施設利用予約などにより、行政上サービスの充実に努め、民間の協力を得ながら、ITによる市民生活のサービス向上を目指す。</p> <p>また、質の高い行政サービスの実現のために、「篠山市統合型地理情報システム」の消防、福祉、教育などの分野での新たな展開を検討する。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>ホームページを利用した電子申請や公共施設予約システム、一斉メール送信システムなど、地域イントラネット情報通信網を多面的に活用した住民サービスの向上を図っており、ホームページでの市民生活情報の提供は、ほぼ行政サービスの全分野に及んでいる。</p> <p>地図情報システムは住民サービスを目的とした「道知る兵衛」と庁内向けWeb-GIS、事業ごとの個別GISを活用し、庁内の業務をカバーしている。「道知る兵衛」は史跡などの情報の更新、充実に努め、AED設置マップのホームページ公開などを行った。今後さらに多面的な市民サービスとして活用していく。庁内向けWeb-GISは職員研修を行い、それぞれの分野での内容拡充を行わねばならない。</p> <p>平成22年度は、図書館の予約受付・蔵書管理システムをクラウド化し、サービスの拡充、TCOの削減を図った。また、eL-TAX、電子入札など電子申請の活用において、国、県とも連動した大きな効果を見せている。他のシステムにおいてもより効率的で適正なシステムの運用の検討が課題である。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
年間アクセス件数	篠山市ホームページ年間アクセス件数	件	-	752,000	902,000	-	-	類似他団体年間アクセス件数180,000
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
電子申請による申請数		件	-	180	1,899	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	<p>ホームページを利用した電子申請や予約システムなど、地域イントラネット情報網を多面的利用したサービスの向上を図っており、引き続き適正な運用管理を行う。</p> <p>GISの活用など新しいメディアへの対応については、今後多面的な市民サービスとして活用できるよう検討する。</p> <p>またスマートフォンが爆発的な広がりを見せており、それについても活用方法を検討していく。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	453	評価担当課名:総務課	関連部局:視聴覚ライブラリー、学校教育課	後期基本計画掲載 P.67
----	-----	------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	都市基盤の整備	中項目	5.情報・通信基盤の充実
中項目の基本方針	ITの多様な活用を検討し、市民生活の向上をめざす。CATV網、携帯電話などを活用した実用的な情報・通信手段の確保に努め、行政事務効率化、福祉、健康、教育、文化、防災などでの利用を推進する。また、情報化に伴うトラブル防止やデジタルデバイドの防止の普及啓発活動を促進する。		

施策名	情報化への対応の促進
-----	------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>情報化社会には情報格差やネットワーク犯罪、個人情報保護など様々な問題を内部にはらんでいることから、サービス向上のための情報化を進めるとともに、これらの問題の対策と解決に努める。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>市民の情報化は地域イントラネットの推進により大きく発展してきたが、同時に個人情報保護に対する意識の向上や、市の発信する情報に対して量質ともに大きく変化している。また、一方でデジタルデバイドと呼ばれる情報格差も発生している。</p> <p>市民向けIT教室の実施により市民の情報化を図り、情報格差の是正に努めるとともに、携帯電話等のモバイルデバイスを活用した一斉メールシステムの活用、ブロードバンドとハイビジョン時代に対応したハイエンド機器の導入によるデカンショ祭りのインターネット中継など、特に動画コンテンツの充実を図り、情報発信を行っている。また、インターネットだけでなく、光CATVささやま11チャンネルを利用して、映像および文字放送による情報発信を行ってきた。アナログ放送終了に伴い、ささやま11チャンネルは平成22年度で終了したが、平成23年度より地デジデータ放送を利用した防災・イベント情報発信システム「コモンズ」へ参加することで、更なる情報発信を図る。</p> <p>サービスや情報の提供については、コンピュータやインターネットに係る新たな犯罪の問題もでてきており、より「安全」に重点をおいた内容が課題となる。</p> <p>教育委員会においても学校情報化支援員を置き、学校のホームページ立ち上げなど情報化の推進に努めている。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
ITサロン年間延利用者数		人	4,500	4,800	3,358	5,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
職員パソコン講習受講数		人	21	21	111	30		

総合評価	施策の達成度	-	<p>市民の情報化は進んできているが、新たな犯罪やデジタルデバイドなどの問題も発生しており、サービス提供にあたっては、利便性と併せて安全性を確認しつつ提供する必要がある。</p> <p>学校教育における情報化は一定の効果を見せているが、教育委員会と学校情報化支援員の更なる連携が必要である。</p>
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	511	評価担当課名:農都創造課	関連部局:農業委員会事務局、地域整備課	後期基本計画掲載 P.71
----	-----	--------------	---------------------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	1.農林業の振興
---------	-------	-----	----------

中項目の基本方針	農業・農村・山村を支える多様な人作り,長期的視点に立った土作り,消費者と連携した安全・安心・信頼のブランド作り,商業・観光との連携強化などを進め,景観形成,環境維持・向上,災害防止などにおける農林業の意義を高めるとともに,明るく生きがいのある農のある生活の再生をめざす。		
----------	---	--	--

施策名	農林業生産基盤整備の推進
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>農業については、農業基盤の改修や鳥獣害防護柵の設置を推進する。同時に「堆肥センター」、「ファーマーズマーケット(JA)」の整備等、検討を進める。また、黒大豆等の生産・処理機械施設等の、設置・拡充などへの支援策を検討する。さらに、農業生産の低コスト化・効率化や商品の競争力を高めるために、土づくり・輪作の支援や休耕地を活用した実験農地の設置を検討する。</p> <p>林業については、適切な支援措置による人工林の間伐や林道などの基盤整備を促進する。また、特用林産物の生産林の整備や明るい林相を進める。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>有害鳥獣駆除対策事業として、農作物に被害を及ぼす有害鳥獣を市猟友会により駆除を行った(シカ:1,054頭 イノシシ:517頭 アライグマ:274匹、ヌートリア:1匹、タヌキ等:92匹)。課題としては、駆除を行う猟友会員が、高齢且つ減少化しており、駆除体制の維持に加え、駆除一辺倒にならない農家等の防除体制の確立が急務である。</p> <p>獣害防護柵設置事業(中山間地域総合整備事業・村づくり事業等)については、農地等への野生動物の侵入を防ぐ為、集落の廻りに、金網柵を設置した。課題として、獣害柵が必要であるにもかかわらず未設置集落を如何に解消するか、その課題等の洗い出し及び解消、既設置集落には獣害柵の機能維持に必要な管理等の指導が不可欠である。</p> <p>味土里館については来館者数が197,025人となり、JA丹波ささやま管内で生産・製造された農産物・加工品等を消費者に直接供給すると同時に、地域農業に関する情報提供及び消費者との交流の場づくりを行い、農業振興と地域活性化を図った。売上額は328,266千円となっている。</p> <p>地域ぐるみでの効果の高い共同活動と、農業者ぐるみでの営農活動を支援する「農地・水・環境保全向上対策」に取り組んだ。組織数は67組織となっている。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
鳥獣防護柵の延長(累計)	鳥獣防護柵延長	km	108	164	194	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
黒大豆作付面積	黒大豆作付	ha	523	599	644	553		

総合評価	施策の達成度	-	<p>「丹波篠山農都宣言」の具体化策として「アグリプラン21」に基づいた農業施策を展開している。農業振興を行う上で獣害防護柵の設置が重要課題であるため、未設置地区への早急な設置を行う。</p> <p>農業施設の経年劣化については、今後の更新・補修事業実施箇所の把握による計画づくりと「農地・水保管理支払交付金」を活用し事業実施にあたる。</p>
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

(施策を構成する事務事業)

事務事業	事務事業名	再生計画	市一般財源 〔人件費込〕 (千円)	活動指標	単位	H21	H22	H22	対H22	事業の 方向性
						実績値	実績値	目標値	達成度	
51101	農業近代化資金等利子補給事業		1,028	-	-	-	-	-	-	B
51102	農業振興地域整備促進事業		1,535	-	-	-	-	-	-	B
51103	農作業受託組織事業		6,169	-	-	-	-	-	-	B
51104	転作作物確認立ち会い事業		4,007	-	-	-	-	-	-	B
51105	数量調整円滑化推進事業		555	-	-	-	-	-	-	B
51106	森林の整備計画事業		764	-	-	-	-	-	-	B
51107	林道維持管理事業		1,909	-	-	-	-	-	-	B
51108	森林組合の育成事業		3,464	-	-	-	-	-	-	B
51109	松くい虫防除対策事業		1,310	松食い虫駆除実施量	m3	105	103	100	-	B
51110	有害鳥獣駆除対策事業	行: (4) - 55	31,916	-	-	-	-	-	-	A
51111	溪流工整備事業		382	-	-	-	-	-	-	B
51112	緑の少年団関係事業		903	緑の少年団活動	校	5	4	4	-	B
51113	森林整備地域活動支援事業		1,479	-	-	-	-	-	-	B
51114	環境対策育林事業	ま: 47P	6,106	環境対策育林整備面積	ha	126	130	120	-	B
51115	緊急防災林整備事業	ま: 47P	908	緊急防災林整備面積	ha	50	92	22	-	B
51116	針葉樹林と広葉樹林の混交林整備事業	ま: 47P	921	針葉樹林と広葉樹林の混交林整備面積	ha	62	60	10	-	A
51117	市単独補助治山事業		382	-	-	-	-	-	-	B
51118	里山林再生事業		4,527	里山スクール参加者	人	-	30	40	-	A
51119	丹波黒大豆優良種子生産協議会負担金事業	ま: 50	1,692	採種圃面積	アール	998	1,000	1,000	-	B
51120	山の芋種芋生産推進協議会負担金事業	ま: 50	1,736	作付面積(市全体)	ヘクタール	65	62	62	-	B
51121	特産物振興対策補助金事業	ま: 50	1,168	-	-	-	-	-	-	B
51122	中山間地域交付金直接支払制度事業		22,135	組織数	組織	33	31	31	-	B
51123	土地改良施設の整備 土地改良事業公共事業		21,286	総農家戸数	戸	4,400	4,400	4,400	-	B
51124	土地改良施設の整備 県営土地改良事業		22,833	総農家戸数	戸	4,400	4,400	4,400	-	B
51125	土地改良施設の整備 県土地改良事業団体連合会事業		1,371	総農家戸数	戸	4,400	4,400	4,400	-	B
51126	土地改良施設の整備 土地改良施設維持適正化事業		2,229	工事件数	件	4	3	4	-	B
51127	土地改良施設の整備 中山間地域総合整備事業	「ま+50頁」	38,046	工事件数	件	3	5	5	-	B
51128	土地改良施設の整備 村づくり交付金事業	「ま+50頁」	20,681	工事件数	件	3	3	5	-	B
51129	鳥獣被害防止対策施設整備事業		8,291	工事件数	件	4	8	5	-	A
51130	災害農地復旧事業	「ま+50頁」	799	各農業者	件	1	1	41	-	B
51131	家畜損害防止事業	ま50	407	家畜伝染病予防法に指定されているアカバネ病(流産等)の予防注射実施頭数。	頭	191	170	170	-	B
51132	畜産部会補助事業	ま50	445	部会員の飼育技術向上等の相互研修実施回数。	部会	3	3	3	-	B
51133	畜産衛生対策事業	ま50	384	事故が起こりやすい新規導入牛に対する寄生虫予防実施頭数。	頭	202	280	280	-	B
51134	家畜管理技術導入促進事業	ま50	528	牛の健康管理の基本となる削蹄実施頭数。	頭	535	540	550	-	B
51135	但馬牛増頭促進事業	ま50	582	繁殖牛増頭数	頭	10	10	10	-	B

施策	512	評価担当課名:農都創造課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.71
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	1.農林業の振興
中項目の基本方針	農業・農村・山村を支える多様な人作り,長期的視点に立った土作り,消費者と連携した安全・安心・信頼のブランド作り,商業・観光との連携強化などを進め,景観形成,環境維持・向上,災害防止などにおける農林業の意義を高めるとともに,明るく生きがいのある農のある生活の再生をめざす。		

施策名	経営体と担い手の育成
-----	------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>農地の集積を推進するとともに、市民の農業に対する意識向上を促進し、また市民主体の地域づくりと連動するため、市内外に広く情報を発信し、参加・体験の機会を通じた担い手の育成を推進する。特に近年、生産調整の強化や鳥獣被害により、山間部を中心に農地の荒廃が進むなか、集落営農組織の支援対策を進める。</p> <p>各生産組合のリーダーの育成や法人化の推進とともに、空き家情報の提供や「農地流動化調整会」の充実を図る。また、「中山間地域など直接支払制度」の実施、「農業後継者・就農促進協議会」の設立、「農業インターン制度」の創設、農林産物加工グループへの支援等を検討する。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況 と課題	<p>農地流動化事業として、高齢化等、様々な事情により耕作できなくなった農地を、地域農業の担い手に利用権設定を行い、農地の有効活用と農業の振興を図った。農業担い手サポートセンターと農地流動化センターに、農地流動化調整員を配置し、JAとも連携しながら流動化のコーディネートを行った。この結果、流動化面積は915.6haとなった。</p> <p>生産組合活動支援事業については、農作業の安全確保、農業機械の使用方法及び簡単な修理などのオペレーター研修会や先進地視察、リーダー研修会を開催し、集落営農組織の運営に必要な技術の習得や情報提供、意見交換の場を設けるなど、109団体に対し各種支援を行った。また集落営農組織の新設に向けた組織の目的や業務内容、任意組織と法人組織等について、また、集落営農組織のステップアップに必要な労務管理や適正な会計管理の方法などの講座を全6回開設した。</p> <p>篠山楽農スクール事業については、農業の後継者不足が深刻な課題となっている中で農業に興味や関心がある者を対象に、肥料・農薬の使用法、家庭菜園の栽培技術、農機具の安全な使用法及びメンテナンス等農業の基礎知識を学び、「農」への理解や「農」に対して意欲的に取り組める体制を整えた。スクールの参加者は40名となり、今後も継続して事業を実施する。</p>
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
集落営農組織数	集落営農組織の数	組織	117	113	109	180		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
認定農業者数	認定農業者の数	経営体	23	41	40	44		

総合評価	施策の達成度	-	新たな担い手作りや農業への関心を高めるため、楽農スクールなどの研修を実施している。また集落営農を推進することも必要であることから既存営農組織の実態検証を行い、継続できる営農を考える機会作りを行う。 今後は従来の施策に加え、新規就農希望者への具体的な支援策を確立できるよう検討する。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	513	評価担当課名:農都創造課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.72
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	1.農林業の振興
中項目の基本方針	農業・農村・山村を支える多様な人作り,長期的視点に立った土作り,消費者と連携した安全・安心・信頼のブランド作り,商業・観光との連携強化などを進め,景観形成,環境維持・向上,災害防止などにおける農林業の意義を高めるとともに,明るく生きがいのある農のある生活の再生をめざす。		

施策名	農林産物の販売力の強化
-----	-------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>地域特産物のブランド力と品質の向上をめざし,JAや普及センターなどと協力しつつ,ブランド構築を進めるとともに,環境に配慮した生産や品質基準,農薬・化学肥料使用基準などの確立を検討する。大都市や交通拠点における特産物展示・販売施設の整備,学校給食や高齢者支援グループと連携した地産地消,ITの有効活用,消費者ニーズや商品動向に即した販売戦略の立案・展開を促進し,特産物振興の強化に努める。</p> <p>また,地域産木材の活用,間伐材の利用などを促進し,多くの人に木の良さを知ってもらう機会を増やすとともに,木材需要の向上に努める。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況 と課題	<p>篠山ブランドである山の芋の生産及び販売意欲の向上,並びに作付面積の拡大を図ることを目的として,山の芋振興事業として山の芋の販売目的で作付した農家に対し,10a当たり7,750円の奨励金を交付し,5,220aの作付面積が確保できた。</p> <p>また,イベント開催事業では,青山まつり(10月15日～16日)及び東京都庁での東京都庁全国観光PRイベント(12月1日～7日)に参加し,江戸時代の篠山藩主・青山氏ゆかりの地である東京青山,東京都が都庁内に開設した「全国観光PRコーナー」で特産市を実施することにより,丹波篠山黒豆・黒枝豆をはじめとする特産物とまちの魅力を広く首都圏からPRし,地域ブランドの確立と全国から本場・篠山への集客を図った。</p> <p>ご当地グルメ篠山グランプリ事業では,ボタン鍋につく新「ご当地グルメ」を発掘するため,ご当地グルメ篠山グランプリを開催した。応募総数137点からグランプリに選ばれた篠山牛しぐれ丼をベースにし,総称「篠山まるごと丼」としてルールを策定し,取扱店の募集を行い,26店舗にて提供していただくこととなった。</p> <p>市及び観光協会のホームページにおいて,特産物にかかるレシピ・食べ方・取扱店舗などの情報の充実を図った。</p> <p>間伐等による林地残材の活用に向け,市職員によるプロジェクトチームを結成し,様々な視点から,利活用方法について検討を行なった。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
青山デカンショ黒枝豆販売量	青山デカンショ特産市での黒枝豆販売量	kg	-	530	200	-	-	H22の実績値が減ったのは会場変更および,従来の3日間開催が2日間開催に変更となったことによる
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
特産間ささやま年間利用者数		千人	-	108	101	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	各種PRイベントやマスメディアなどを利用した販売戦略により「丹波篠山ブランド」を全国発信している。今後もあらゆる機会を通じて情報発信すると共に,生産者の更なるブランド意識の醸成を図る。また,新たな加工品の開発や生産者の自発的な取組みを進められる環境づくりを行う。 森林資源については森林バイオマス活用推進計画の樹立を目指す。
	構成事務事業の妥当性	改善が必要	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	514	評価担当課名:農都創造課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.72
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	1.農林業の振興
中項目の基本方針	農業・農村・山村を支える多様な人作り,長期的視点に立った土作り,消費者と連携した安全・安心・信頼のブランド作り,商業・観光との連携強化などを進め,景観形成,環境維持・向上,災害防止などにおける農林業の意義を高めるとともに,明るく生きがいのある農のある生活の再生をめざす。		

施策名	連携・交流による農林業の振興
-----	----------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>農地、里山、棚田などについては、景観・環境資源、かつ都市住民と地元住民がともに憩い・学び・交流の場として、地域ぐるみ又は広域的な観点から保全・活用に努める。また、「農地・森づくりオーナー事業」や「丹波松茸大作戦」を実施するとともに、「農地保全ボランティア調整組織」の設立を検討し、民間・個人による市民農園の設置を促進する。「県民緑税」を活用し、里山防災林整備、野生動物育成林整備などを行う。</p> <p>農産物の生産における品質の向上と量の拡大を農家に働きかけるとともに、農家民宿やホームステイ、一般農家での農作業・ものづくり体験などの篠山の特性を活かしたグリーンツーリズムを促進する。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>ハートピア(細工所)・大山荘の里の2箇所で市民農園事業を実施している。秋には収穫祭等のイベントを実施すると共に、地域の伝統行事への参加も積極的に行い、地域住民との交流を図った。</p> <p>交流施設事業では地元協議会等を指定管理として、黒豆の館、丹波旬の市、丹波旬の市南部店を運営している。地域交流の拠点として活用されており、特産品販売や季節に応じたイベントを実施し、都市と農村、農家と非農家の交流を図った。</p> <p>また、農村ボランティアによりモデル地区内農家の玉ねぎ、ジャガイモなど夏野菜の定植や、丹波篠山黒大豆収穫に必要な葉取り、収穫作業、脱粒作業、草刈りを行うなど、協働による都市農村の交流を図るため、楽農パートナー事業を実施しており、2組織(23名)の登録となっている。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市民農園の総面積(建物、農園)	市民農園として利用した土地面積	ha	2.3	3.7	3.7	6.4		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
市民農園の数(滞在型)	箇所数	箇所	2	4	4	4		

総合評価	施策の達成度	-	市民農園事業は主に阪神間からの利用があり、区画の利用率は100%となっている。交流施設は指定管理者制度を導入しており、また地域交流拠点としても活用されている。農村ボランティアによる楽農パートナー事業も実施しており、今後も継続して事業を実施する。 農村の活力や景観・里山再生に向けた交流活動を積極的に行い、定住促進も視野に入れた地域活性化策を検討する。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	521	評価担当課名:企業振興課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.74
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	2.商工業の振興
中項目の基本方針	魅力ある個性的なまちとして発展していくため、商工会など関係機関と連携し、本市の自然や歴史との調和のもとに、市民ニーズに対応する多様な商工業の振興を図るとともに、伝統産業育成、起業支援を図るなど、環境と調和した就労の場の充実をめざす。		

施策名	多様な商工業空間の形成
-----	-------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>中心市街地活性化に向けて、空き店舗の多面的利用、商業の担い手育成などを推進し、商業空間の維持・向上を図る。また、JR篠山口駅周辺や今田町立杭地区における商業空間形成を推進するとともに、地域景観、既存商業施設との調和を図りながら新規出店を誘導する。加えて、県・商工会と連携するなかで、産業の活性化、産業構造の高度化を図り、並行して商工業の活性化方策について調査・研究を進める。</p>
---	--

施策の実施状況と課題	<p>中心市街地活性化については、篠山市中心市街地活性化協議会が市と県の補助金を活用して、篠山市中心市街地活性化基本計画の素案を作成中で、23年6月に市に提案をいただく予定である。「JRバス本篠山駅跡地利用計画」については、協議会では核事業として検討され、市としても河原町地区の活性化に欠かせない重要な施策として捉えており、今後利用方法を検討していく。</p> <p>篠山市商工会が今田地区の活性化を図るため「今田ネットワーク委員会」を組織して、陶の郷、兵庫陶芸美術館、ぬくもりの郷の集客施設を中心にスタンプラリーの開催やグルメガイドの発行を行っており、その活動に補助金及び助言による支援を行った。また、経営力向上や技術者養成のための研修などの開催経費として、篠山市商工会へ支援し、商工業者の人材育成を行った。</p> <p>西町の昭和縁日、篠山商店街連合会主催の商店街めぐり、篠山東商店連盟の年末大売出しなどに間接補助をし、商業の活性化を図った。</p> <p>課題として、中心市街地活性化基本計画は、23年度に協議会から提案を受けた後、市内部で検討し、認定権者である内閣府と協議する必要がある。また、JR篠山口駅周辺においては、篠山市商工会と連携をとり、活性化の方策を検討する必要がある。</p> <p>郊外の大型商業施設やコンビニエンスストアなどに消費者を奪われていることから、商店においては後継者不足や営業意欲の低下が起きており、引き続き人材育成に取り組む必要がある。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
空き店舗解消件数	商工会に登録している空き店舗の開店数	件	-	2	6	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
商工会員数	篠山市商工会に入会している事業所数	件	-	1,355	1,350	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	中心市街地活性化計画については、市と協議会で十分に協議を重ね、認定に向けて詳細な事業計画の策定を進めていく必要がある。 JR篠山口駅周辺や今田町上立杭地区の活性化についても中心市街地の活性化と併せて検討していく。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	522	評価担当課名:企業振興課	関連部局:農都創造課	後期基本計画掲載 P.74
----	-----	--------------	------------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	2.商工業の振興
中項目の基本方針	魅力ある個性的なまちとして発展していくため、商工会など関係機関と連携し、本市の自然や歴史との調和のもとに、市民ニーズに対応する多様な商工業の振興を図るとともに、伝統産業育成、起業支援を図るなど、環境と調和した就労の場の充実をめざす。		

施策名	地域特性を活かした産業の振興
-----	-----------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>伝統的な地場産業の担い手育成を行い、「丹波伝統工芸公園陶の郷」などの施設を活用し、産業の振興を図る。</p> <p>また、自然環境資源を活かした循環型産業の誘致など、地域特性を踏まえた産業の振興について検討を進める。</p> <p>さらに、新分野ビジネスの創出として、コミュニティの課題やニーズをビジネスチャンスとして捉えたコミュニティビジネスなどの起業支援を行う。</p>
---	--

施策の実施状況 と課題	<p>丹波焼では「陶器まつり」、丹波杜氏では「酒造大学講座」に対し、補助金の交付や助言を行い、人材育成に対して支援を行っている。</p> <p>丹波杜氏においては、高齢化による担い手不足となっている。</p> <p>地域特性を生かした産業の誘致については、関連企業への営業活動は行っているが、立地にはいたっていない。</p> <p>コミュニティビジネスへの起業支援については、商工会が実施している全般的な創業指導の中で補っているが、コミュニティに特化した支援が必要であり、今後検討を行う。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
陶の郷入館者数	陶の郷の年間入館者数	人	-	76,829	69,629	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
丹波杜氏組合員数	丹波杜氏組合に入会されている人数	人	-	127	116	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	伝統的地場産業については、高齢化等による担い手不足など厳しい状況にあるが、活動拠点を中心として関係機関との連携や地域とのネットワーク強化や、自主提案事業への支援により、新たな取り組みを促進する必要がある。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	523	評価担当課名:企業振興課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.75
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	2.商工業の振興
中項目の基本方針	魅力ある個性的なまちとして発展していくため、商工会など関係機関と連携し、本市の自然や歴史との調和のもとに、市民ニーズに対応する多様な商工業の振興を図るとともに、伝統産業育成、起業支援を図るなど、環境と調和した就労の場の充実をめざす。		

施策名	就労の場の拡大
-----	---------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>県との連携による誘致の推進を図るとともに、企業立地及び産業集積による就労の場の拡大を検討する。また、企業と地域との関連性を強化し、安定した産業集積を目指す。</p> <p>また、地元での就労の場の拡大を図るとともに、ハローワークや商工会と連携し企業展や商業展の開催、起業家育成講座の開催などを行う。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>篠山市へ企業を誘致するため約520社への企業訪問営業を行なうとともに、食品関連企業対象アンケートを実施し、企業の実態やニーズの調査を行なった。また、農工団地への誘致提案を具体的にするため用地の測量設計、図面作成を行なった。本年度は、空き工場に2件の企業立地が実現した。</p> <p>市役所ロビーでの企業紹介展、高校生対象の企業見学会、企業紹介セミナー等への開催支援などを行い、地元での就労の場の拡大につなげるため、市民に対し就労場所の情報提供を行っている。</p> <p>課題としては、企業の海外流出や、既に造成済みの工業団地が余っている中での企業誘致は非常に困難な状況である。企業に注目してもらうためには、「篠山でしかできない」特徴を押し出すべきであり、篠山らしさを活かした戦略作りが必要である。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
企業立地	就業先確保の指標である市内での新規事業所の立地数	件	-	1	2	2		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
工業関係事業所数	雇用機会の状況を示す数値として市内工業関係の事業所数と従業者数	ヶ所人	157 4,485	119 3,593	108 3,612	減少幅の縮小		数値は24年1月に判明

総合評価	施策の達成度	-	空き工場への企業誘致は2件成立したが、農工団地への誘致については現地視察までは進むものの成約には至っていないため、庁内関連部署との連携強化、地権者・地域との調整などを進めながら、今後も誘致に向けて取り組む。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる	

施策	531	評価担当課名:観光課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.77
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	3.観光・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	観光資源間のネットワークとともに、農林業、商工業、地域振興との結びつきを強化し、市民・観光事業者と連携しながら、市民の主体的な参加のもとに、篠山らしさのある一体となった観光地域をめざす。		

施策名	観光資源・サービスの充実
-----	--------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	新たな観光資源の発掘と育成、また、今ある観光資源を活かした参加体験型、長期滞在型観光などの推進により、リピーターや宿泊客の増加をめざす。 また、観光形態の多様化に対応するため、観光協会の一体化による連携体制の強化を図る。
---	---

施策の実施状況 と課題	農業体験などを観光資源として、20種類の観光プログラム延べ65回の開催や、レンタサイクルで年間2500台の貸し出しを行い、自転車による周遊観光を行なった。観光ボランティアガイドの育成では、丹波杜氏組合が行なう酒造り案内ガイドに対して支援を行い、観光客に対して酒造り技法を説明するガイドとして活躍されている。 今後も体験型観光を進めていくために、市内観光事業所と市民組織の連携や、おもてなしの意識向上に向けた取り組みを進める必要がある。
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
観光客入込数	年間観光客数(観光まちづくり戦略数値)	千人	-	2,783	2,403	2,700		H22より集計方法変更。H21・H22数値は旧集計方法にて算出
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
王地山公園ささやま荘年間宿泊者数	王地山公園ささやま荘年間宿泊数	人	-	9,717	9,325	-		

総合評価	施策の達成度: -	-	レンタサイクルや各種イベントの実施により、周遊観光や参加体験型観光につなげることができた。今後も篠山市観光まちづくり戦略に基づく、歴史や景観など地域資源の活かし方を精査し、観光客の滞在時間延長に繋げていく。 また、観光客の殆どが日帰り客になっているため、体験型・長期滞在型観光等の提案を行うとともに、観光事業者が連携する体制を構築する。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める		
	施策の方向性: これまで通り力を入れる		

施策	532	評価担当課名:観光課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.78
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	3.観光・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	観光資源間のネットワークとともに、農林業、商工業、地域振興との結びつきを強化し、市民・観光事業者と連携しながら、市民の主体的な参加のもとに、篠山らしさのある一体となった観光地域をめざす。		

施策名	情報発信の拡大
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	多様に变化する観光客のニーズに合った情報提供に努め、観光パンフレットやHPにより、本市の多面的な魅力をアピールする。 また、インターネットなどのネットワークを活用し、イベントへの参加や本市への来訪を促進する。 東京「青山通り」など大都市内でのキャンペーンや、「青山まつり」への継続参加、歴史街道を活かした情報発信に努める。また、本市の情報を入手できる「アンテナショップ」の開設を目指す。
---	---

施策の実施状況 と課題	観光情報をホームページで発信する「篠山市観光情報サイト」の刷新に取り組み、サイト利用者への情報提供サービスの向上を図った。(22年度閲覧者実績208,817件、前年対比235%)観光パンフレットはデザインを一新するとともに、英語、中国語、韓国語のパンフレットを制作し、外国人観光客にも対応できるようにした。 また、情報提供拠点であるJR篠山口駅の観光案内所を改装し、公共交通の玄関口としての機能を拡充した。(22年度案内実績13,094件、前年対比131%) 都心での情報発信では、東京都港区「青山まつり」への参画や、東京都庁「全国観光PRイベント」における特産販売や観光PRを実施した。 歴史街道やアンテナショップについては費用面等で検討する必要がある。また本市の情報発信についてより効果的な手段を研究し、より多くの篠山ファンの増加を図る施策を検討する。
----------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
観光案内件数	篠山観光案内所年間案内件数	件	-	16,258	11,745	16,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
駅観光案内件数	篠山口駅観光案内所年間案内件数	件	-	9,977	13,094	10,000		

総合評価	施策の達成度: -	-	篠山市観光情報サイトを刷新し、利用者への情報提供サービスの向上に取り組んでいる。また、東京などにおいてイベントによる特産品販売や観光PRを実施している。 観光情報の発信にはインターネットが不可欠であり、見やすくまた関心を持ってもらえるようなレイアウトにするなど情報発信の方法を検討する。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める		
	施策の方向性: これまで通り力を入れる		

施策	533	評価担当課名:観光課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.78
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	産業の振興	中項目	3.観光・レクリエーションの振興
中項目の基本方針	観光資源間のネットワークとともに、農林業、商工業、地域振興との結びつきを強化し、市民・観光事業者と連携しながら、市民の主体的な参加のもとに、篠山らしさのある一体となった観光地域をめざす。		

施策名	市民生活との共存
------------	-----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>観光・レクリエーション事業の連携強化をめざし、組織面での充実に加え、イベントの企画・実施団体における市民参画の強化に努める。</p> <p>市民の主体的なまちづくりへの参加支援など、人的支援を活用し、農業と商業及び観光が融合した新たな拠点施設整備の検討などを行い、市民生活と共存した環境づくりを進める。</p>
--	--

施策の実施状況と課題	<p>丹波篠山築城四〇〇年祭以降、ささやマルシェやアートフェスティバルなど市民組織による集客イベントや体験型観光が数多く開催され、都市住民から本市へのエコ・スローツーリズムへの期待が高まってきている。イベント企画段階でのボランティアや市民の参画は少数であるため、都市住民の参画を含めて多様な担い手を受け入れる体制を構築する必要がある。</p> <p>都市住民が求める観光ニーズとして、歴史的な町並みや農村景観を楽しむ観光客が増加しており、新たな拠点施設を建築するよりも、伝統的な本市の特徴を活かす環境整備を行なう必要がある。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
デカンショ祭市職員出役数	デカンショ祭担当課外市職員出役者延べ数	人	-	80	41	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
観光ガイドボランティアによるガイド件数	ディスカバーささやマグループ観光ガイド件数	件	-	543	404	増加		

総合評価	施策の達成度	-	イベントの運営方法を見直し、官民の役割分担を再考したことで、職員出役による負担は軽減することが出来た。 参画と協働を基本とした市民主体のイベント実施に向け、新たなイベントの実施形態や連携体制の構築に取り組む。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	611	評価担当課名:公民館	関連部局:社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.80
----	-----	------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	1.市内の多様な連携・交流の促進
中項目の基本方針	市民が本市の魅力を再発見し、郷土への愛着心を育むことができるよう、郷土の歴史・文化や自然の学習を促進するとともに、市内における多様な交流や、多分野にわたる人材ネットワークの構築、団体間の交流を促進する。		

施策名	交流機会の充実
------------	----------------

<p>施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)</p>	<p>市民の暮らしを支え、地域に根付いた自治会などの様々な市民活動を支援するとともに、少子高齢化、核家族化などへの対応も視野に入れた地域間交流や世代間交流などを展開していく。</p> <p>市内における多種多様な祭事やイベントの継承・充実を図るとともに、生涯学習やスポーツ、ボランティア、NPO活動などの各種団体間の交流や情報交流の機会を設けるなど、市民の身近な活動における交流を促進する。</p> <p>また、集落、小学校区などのコミュニティにおける連携・交流を促進し、「地域で助け合う、支えあう」といった連帯意識の向上を図るとともに、すべての市民が気軽に交流できる環境づくりを進める。</p>
---	--

<p>施策の実施状況と課題</p>	<p>地域の人々が協力してコミュニティを活性化させるとともに、イベントを通して帰省者が地元の良さを見直すことを目的に、にしきふるさとまつりやたんなん味覚まつりなど地域に根ざしたイベントを展開した。</p> <p>交流促進の新たな取り組みとしては、市民センター内に市民プラザを設置し、中間支援としての各種相談や情報提供などを行い、約1,500人の来場があった。また、市民プラザの登録団体が50団体となり、補助金情報や活動団体の情報提供等を行うことができた。</p> <p>西部地区では、四季の森生涯学習センター東館に生涯学習コーナーを設置し、活動団体やサークル活動、地域の情報などさまざまな活動機会や情報提供に努めた。今後、いかに団体等の活性化を図っていくか、団体同士の交流を促進するかが課題となってくる。</p> <p>通学合宿については、地域で子どもを育む意識の醸成を目指し5地区で実施した。実施団体が固定化しており、他地区への展開が課題となっている。</p>
--------------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
通学合宿の実施数	通学合宿を実施した団体数	団体	-	3	5	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
西紀ふるさと祭り参加者数		人	-	中止	650	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	地域交流の新たな取り組みとして、市民センター内に市民プラザを設置し、中間支援として相談や市民団体の情報提供などを行った。 事業展開をしていく中で、「交流機会の充実」に重点を置き、世代間や地域間が身近になるよう意識付けを行っていくことが重要である。全ての地区で設立されたまちづくり協議会との連携も強化していく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	612	評価担当課名:公民館	関連部局:社会教育・文化財課	後期基本計画掲載 P.81
----	-----	------------	----------------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	1.市内の多様な連携・交流の促進
中項目の基本方針	市民が本市の魅力を見直し、郷土への愛着心を育むことができるよう、郷土の歴史・文化や自然の学習を促進するとともに、市内における多様な交流や、多分野にわたる人材ネットワークの構築、団体間の交流を促進する。		

施策名	郷土学習の推進
------------	----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>地域への理解、愛着を深めるため、生涯学習との連携を図りながら、公民館などを中心に、本市の歴史・文化から現代の本市の姿、将来あるべき本市の姿まで、総合的に学ぶ郷土学習の機会づくりに努める。また、地域や歴史を指導できる人材の登録、活用を図る「まなびすとバンク」の充実を図るなど、人材のネットワーク化を促進する。</p> <p>また、学校においても、地域の方々に講師として参画してもらうなど、地域に密着した郷土学習を一層進める。</p>
--	--

施策の実施状況と課題	<p>公民館が実施する「ささやま市民文化講座」、「丹波ささやまおもしろゼミナール」、「古文書入門講座」などは、ふるさと篠山の歴史や文化を学びたいと願う市民から多くの参加を得ている。各事業とも参加者アンケートをとり、市民ニーズの把握に努めている。また、受講経験者が講師や支援者として発展的に参画するなど、事業自体が活性化している例もある。しかしながら、参加者の多くが高齢者であり、様々な年代層が参加できる事業内容の検討が課題となっている。</p> <p>地域の人材活用については、総合的な学習の時間への関わりが多く、まなびすとバンクの実績として地球温暖化や手話の講師派遣があるほか、各学校単位でも地域の人材を活かす取り組みを積極的に進めている。</p> <p>また、地域の歴史や文化を学校等の学習資料として活用できるよう、「篠山ふるさとガイドブック」を作成し、小学5、6年生に配布した。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
地域や歴史の指導登録者数	まなびすとバンクにおける地域・歴史関係の登録者	人	6	12	20	増加		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	小学校5・6年生を対象に配布した「篠山ふるさとガイドブック」は大変好評であり、多くの市民が改めて郷土理解を深めるとともに愛着心を持っていただけるよう、平成23年度にガイドブックの市民配布を行う。 郷土学習の充実については、各担当課が連携し情報共有を行う体制を構築し、新たな取り組みを行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	621	評価担当課名:企画課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.82
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	2.丹波地域内の連携・交流の促進
中項目の基本方針	丹波の森構想にもとづいた地域づくりを進めるとともに、構想の推進を通じた連携・交流を促進する。		

施策名	魅力ある地域の形成
------------	------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>「県立丹波並木道中央公園」の運営にあたっては、丹波らしい公園運営を方針として、公園を「つかう(利用)」という機能を中心に、住民参加型の企画運営や情報交流の場の設定などを展開していく。一方、丹波の魅力を一層高めるために、「四季の森生涯学習センター・四季の森公園」や「陶の郷」などを活用しながら、丹波地域の特産を活かした交流を促進する。</p> <p>また、丹波市、丹波の森協会、丹波の森公園、丹波県民局などの関係行政機関などとの連携を強化しながら、魅力あるまちづくりを推進する。</p>
--	---

施策の実施状況と課題	<p>「丹波の森宣言」から20年を契機に丹波の森構想評価・検証委員会において、これまでの検証と新展開構想が掲げられた。21世紀に入り、少子高齢化や地球温暖化など社会・自然条件の変化が顕在化する中、丹波の森構想は、新しい時代にも充分対応できる理念であると考えられる。</p> <p>現在、丹波地域においては、丹波の森づくりとして、森林文化をキーワードにした地域づくり、生活創造活動への支援、芸術文化の振興の3つのテーマに取り組んでいる。また、丹波地域の特性を活かし、両市に分布する篠山層群での恐竜、哺乳類化石など新しい地域資源の活用をはじめとする連携を進めることが求められており、両市、関係団体が構成する協議会において化石マップの作成、市民講座やシンポジウムの開催、石割り体験などの取り組みが行われている。</p> <p>シュペルティアードたんば(丹波全域)9月～11月(街角コンサート、サロンコンサートなど)</p> <p>恐竜プレ国際フォーラム12月4日(やまなみホール)</p> <p>空き民家活用プロジェクト(県民局、篠山市、丹波市)[モデル地区:福住、神楽地区]</p>
-------------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
交響ホール友の会の丹波地域在住会員数		人	H17 596	243	293	900		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	丹波地域内の連携交流については、丹波の森構想の理念の下に丹波の森協会の活動等を通じて、芸術文化活動が進められている。 篠山市・丹波市・県民局・森協会との連携については、現在は相互連携しての取り組みが出来ていない状態であるが、今後は共通した地域課題を活かすと共に、共通項目について連携を更に深め、課題に取り組んでいく。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	631	評価担当課名:企画課	関連部局:生活課	後期基本計画掲載 P.83
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	3.県内・近隣市町等との連携・交流の促進
中項目の基本方針	県内・近隣市町などとの多様な連携・交流を促進し、他市町との協調による行政課題への積極的な対応や、住民間などの情報交換、連帯などを通じた環境にやさしい快適なまちづくりを推進する。		

施策名	交流事業の促進
-----	---------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	「三たん地方開発促進協議会」への参加や、「丹波少年自然の家事務組合」への参加を通じ、相互のネットワーク形成など、連携・交流を促進する。
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>「三たん地方開発促進協議会」は休止状況にある。「丹波少年自然の家」は阪神丹波の自治体が連携して運営に当たっている。</p> <p>また、新たな動きとして、共通の歴史を有しながら、府県が異なることから目立った交流のなかった京都丹波と兵庫丹波の交流促進のため、京都府、兵庫県及び両府県の6市1町で構成する大丹波連携推進協議会が設立(H22.7)され、街頭キャンペーン、大阪市内での大丹波展など観光事業が始まっている。</p> <p>今後の京都丹波との連携については、有害鳥獣対策、観光など共通の課題を府県が異なる各市において、いかに連携して対応することができるかが課題となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波少年自然の家(利用者:48千人(うち篠山市の利用者654人)) ・自然学校(阪神・丹波地区など)、阪神丹波ふるさと交流事業など ・大丹波連携推進協議会(H22.7月設立) 京都府、兵庫県、福知山市、綾部市、京丹波町、亀岡市、南丹市、篠山市、丹波市 大丹波展の開催(H23.1、於:大阪市)など
------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
兵庫5カ国交流会議	交流回数		回	-	5	3	-	-	
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	定住促進や篠山へ帰ろう住もう運動において、阪神間との交流が重要であり、阪神丹波ブロックの連携を高めていけるよう交流を深めていく。 兵庫丹波と京都丹波の連携がスタートしたため、行政レベルのみならず市民レベルの交流を推進し、新たな活性化に繋がる事業を展開する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる	

施策	632	評価担当課名:企画課	関連部局:観光課	後期基本計画掲載 P.83
----	-----	------------	----------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	3.県内・近隣市町等との連携・交流の促進
中項目の基本方針	県内・近隣市町などとの多様な連携・交流を促進し、他市町との協調による行政課題への積極的な対応や、住民間などの情報交換、連帯などを通じた環境にやさしい快適なまちづくりを推進する。		

施策名	都市との交流の推進
-----	-----------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>「ささやまの森公園」や里山、「篠山チルドレンズミュージアム」などを活用し、自然体験のプログラムの開発や参加体験事業を進め、都市部との連携・交流を積極的に推進する。</p> <p>武庫川や加古川流域圏、JR福知山線沿線など、共有基盤を活かした連携・交流を促進する。</p> <p>また、都市部の販売拠点施設との連携も含め、本市の特産物などを販売するアンテナショップの設置を検討する。</p>
--------------------------	---

施策の実施状況と課題	<p>「ささやまの森公園」では里山を生かしたプログラムの展開が行われ、「篠山チルドレンズミュージアム」では、アーティスト、ボランティアなどが、テーマに応じた参加体験活動を実施し、リピーターの増加など地域の魅力の発信による交流が広がっている。共有基盤を生かした連携としては、沿線市町、JRなどと連携した情報誌の作成、JR福知山線駅のスタンプラリーなどを行っている。また、丹波焼ボランティアガイドやクリンソウを守る会など、生態系、歴史文化などの地域資源を生かした独自のプログラム展開など新たな交流が進められている。</p> <p>共有基盤を活かした交流の課題としては、京都、播磨などとの街道を基軸とした広域観光ルートの開発などが考えられる。また、観光ボランティアガイドの取り組みは、観光客へのサービス向上に加え、観光ガイドの生きがいづくりにまで効果が及んでいるため、一過性のものでなく、継続できる事業となるよう資金援助などの環境を整える必要がある。また、アンテナショップについては必要性を引き続き検討していく。</p>
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
城東味まつり来場者数	城東味まつりに来場した人数	人	-	11,000	5,000	11,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
チルドレンズミュージアムの市外来館者数		人	60,005	54,664	44,735	33,180		

総合評価	施策の達成度	-	都市との交流を更に推進するため、地域資源である篠山市の文化力・歴史・食・農の魅力を最大限に活かす取り組みを行い、新たな連携や交流を生み出せるよう市内組織と連携した推進を図る。 団体の自主的活動に対して側面的な支援を行い、長期的に持続可能なまちづくりを行う。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	641	評価担当課名:企画課	関連部局:観光課、農都創造課、企業振興課	後期基本計画掲載 P.84
----	-----	------------	----------------------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	4.国内の連携・交流の促進
中項目の基本方針	全国に向け積極的かつ多様な手法で本市の魅力を発信し、全国の篠山ファンを増加し、交流人口の増加を図ることにより、市内の各産業の活性化を図る。		

施策名	情報発信による連携・交流の拡大
-----	-----------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	<p>市外への情報発信については、丹波黒枝豆や猪肉、様々なイベントをはじめとした本市の特性や魅力について、きめ細やかな情報発信を全国に向けて積極的に行うとともに、その推進体制についても充実・強化を図る。また、特産物やイベントの利用者の意向調査を行い、新しい魅力を発掘し質の高い情報を提供するための研究や開発を促進するとともに、インターネットなど情報技術を活用して、地域間の連携・交流の一層の強化を図る。</p> <p>さらに、歴史的資源の積極的活用や市内外企業での交流を踏まえた情報発信なども検討する。</p>
---	---

施策の実施状況 と課題	<p>市外への情報発信については、デカンショ祭、味まつり、篠山マラソンなどの市内のイベントや、高山、東京青山など市外のイベントにも参加し、特産物、文化など広く篠山の魅力の発信を行っている。また、篠山市HP、観光ポータルサイト(H21.6月開設)、定住促進サイト(H23.4月開設)などインターネットを通じて全世界に多様な分野での情報発信を行っている。ご当地グルメグランプリなど新たな特産開発にも取り組み、篠山の味の開発を行っている。</p> <p>平成21年の文化芸術創造都市表彰や丹波篠山築城400年祭を契機に、市民がまちづくりに主体的に取り組む意識が高まっている。また、近年、飛騨の小京都ともいわれる高山市との交流を進めており、文化創造として連携を進めている。</p> <p>歴史的資源や特産物を活用した情報発信は進んでいるが、市内外企業での交流を踏まえた情報発信については顕著な実績は見られないため、今後方法等について検討を行う。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
市ホームページの観光ページアクセス数	ページビュー数	件	-	668,159	1,365,284	800,000		
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
ふるさと応援団員数	ふるさと応援団加入者人数	人	-	230	275	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	篠山市の観光来訪者数は減少傾向にあるが、多様な媒体による情報発信により様々な交流が来ている。今後も目的を持った交流先の選定と内容を重視した交流を行い、またより多くの人が情報に触れていただけるような多様な情報の発信を検討する。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	651	評価担当課名:生活課	関連部局:中央図書館	後期基本計画掲載 P.86
----	-----	------------	------------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	5.様々な国・人との連携・交流の促進
中項目の基本方針	多文化共生のまちづくりに向け、市民の国際交流・理解・協力活動や在住外国人への生活支援活動を積極的に支援し、小中学校図書館などでの学習活動資料収集などを推進する。また、国際交流に関わる市民団体との連携・協力を図り、姉妹都市などを通じた国際交流活動を推進する。		

施策名	地域に根ざした国際交流の推進
-----	----------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>市内在住外国人が、篠山市民として安心・安全な市民生活が送れるよう取り組む。国際理解教育を推進し、また国際理解施策に在住外国人の意見を反映するため、「在住外国人市民会議(仮称)」の早期立ち上げを目指すなどを各種機関や市民団体、在住外国人との連携及び協力体制の強化を図る。</p> <p>外国語図書の実充など異文化理解に重点を置き、相互理解や相互協力につながる活動を幅広く推進する。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況と課題	<p>平成22年度は、市内在住外国人が安心して市民生活が送れるよう「在住外国人支援に関する庁内関係課連絡会」(以下「連絡会」)を設立。構成員は、在住外国人支援庁内関係課及び篠山国際理解センターである。年間計画としては、年2回の全体会と年数回の分科会(篠山国際理解センターと関係課の喫緊の課題に対する意見交換会)を行う。</p> <p>実施状況は、7月16日に多文化共生研修会(篠山国際理解センター主催、篠山市後援)を実施。その後第1回連絡会(全体会)を実施。9月3日には、連絡会(分科会)を行い、健康課が参加。3月4日に第2回連絡会(全体会)を実施。また、在住外国人が図書館を利用しやすくするなど多文化共生社会につながるために、図書館に外国語資料を購入。</p> <p>連絡会にて出た意見として、災害時の対応での情報提供について多言語による情報提供が出来てないという課題があり、今後各関係課と連携しながら支援を行う必要がある。</p> <p>平成23年度は、翻訳等による文書等の多言語化により、在住外国人の側面的な生活支援に取り組む。</p> <p>また、目標値達成に向けてさらなる図書館外国語資料の実充を図る。</p>
------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
多文化共生相談件数 (在住外国人生活支援)		件	-	137	135	-	-	
主な施策指標	指標の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
図書館外国語資料数		冊	135	165	168	270		

総合評価	施策の達成度	-	在住外国人の方の生活ニーズなどに関しては、国際理解センターを通じて把握している状態であり、また支援に関する連絡会を設立し、研修会や会議を開催している。 また連絡会開催での意見交換時に出てきた課題として、災害時の対応などが挙げたことから、今後関係各課と連携しながら支援を行い、多文化共生社会の実現を目指す。
	構成事務事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	652	評価担当課名:生活課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.86
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	連携・交流の促進	中項目	5.様々な国・人との連携・交流の促進
中項目の基本方針	多文化共生のまちづくりに向け、市民の国際交流・理解・協力活動や在住外国人への生活支援活動を積極的に支援し、小中学校、図書館などでの学習活動、資料収集などを推進する。また、国際交流に関わる市民団体との連携・協力を図り、姉妹都市などを通じた国際交流活動を推進する。		

施策名	より広範な国際交流の推進
-----	--------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	<p>姉妹都市提携を通じた国際交流をはじめとして、広く海外との交流を促進し、人材・情報・文化など、幅広い分野での交流事業を推進する。</p>
--------------------------	--

施策の実施状況 と課題	<p>国際姉妹都市提携をしている2市のうち、アメリカワラワラ市においては、1972年8月15日に姉妹都市提携して以来40年近く、毎年高校生を中心とした短期交換留学生の派遣及び受入事業を展開しており、お互いの市民交流が活発に継続的に行われている。</p> <p>一方1988年5月26日に姉妹都市提携したギリシャアンシェントエビダウロス市とは、ギリシャ国の経済情勢、渡航費用等財政面の問題、言語通訳の問題、エビダウロス市の姉妹都市委員会等事務局との連絡が出来ていない等さまざまな問題により、平成16年の市民訪問団派遣事業を最後に交流が出来ていない。</p> <p>2市の姉妹都市との国際交流を推進するため姉妹都市委員会の支援を行うとともに、より広範な国際交流を推進していくため、姉妹都市以外の国との国際交流に関わる市民団体と連携協力しながら交流活動の推進に取り組む。</p>
----------------	--

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
ワラワラ短期交換留学生 受入・派遣事業	参加人数		人	-	25	25	20		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	ワラワラ市との交流については、長年の実績もあり順調に進んでいる。 今後も、姉妹都市提携委員会などの市民団体と協力しながら、より広範な国際交流に取り組む。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	711	評価担当課名:市民協働課	関連部局:企画課、総務課	後期基本計画掲載 P.89
----	-----	--------------	--------------	------------------

施策大綱大項目	計画の推進	中項目	1.計画の推進
中項目の基本方針	厳しい行財政状況のなかで、効率的・機動的な行財政運営や行政情報の公開を進め、市民と行政の参画と協働にもとづく透明性の高い行政をめざすとともに、本総合計画の着実な実現を図る。		

施策名	情報公開と市民参加の推進
------------	---------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	積極的な情報公開のための行政資料サービスコーナーを設けるなど、市民に対する普及・啓発活動の推進や、市民の生の声や積極的な提案を聴取する機会を増やし「市民との参画と協働」を通じて、市民の望む社会を育てていくまちづくりを推進する。
--	---

施策の実施状況と課題	<p>行政情報は、適時に市広報紙への掲載するほか、報道機関へ情報提供し掲載を依頼している。ただし、詳細な情報については、市ホームページ上にて掲載もしくは担当窓口での閲覧を行っている。</p> <p>また、市民の意見や提案の聴取方策としては、市長へ直接に意見・提言できる「こんにちは市長室」や地域へ出向いて実施する「ふるさと一番会議」を行っている。その他、パブリックコメントや「篠山市公平な職務の執行の確保等に関する条例、規則」に則り、市民からの意見・提言を記録簿に作成し適正な処理に努めている。今後も行政情報の公開により、市民からの意見・提言を聴取し、さらに議論を重ねる中で施策に反映していくまちづくりを目指す。</p>
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
ふるさといちばん会議	参加人数	人	-	541	692	-	-	H22は、教育懇談会と合同開催
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
パブリックコメントの件数	実施及び評価にあたり、広く市民の意見を求める	件	-	4	4	-	-	

総合評価	施策の達成度	-	毎月広報誌、市ホームページや報道機関を通じて、市民に分かりやすい情報を早期に提供することが重要である。また、「ふるさと一番会議」や「こんにちは市長室」などの実施により、幅広い市民の皆様からの意見聴取ができているが、さらに実効性を高めるとともに、市民の声を市政に反映できるよう事業を展開していく必要がある。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

施策	712	評価担当課名:行政経営課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.89
----	-----	--------------	-------	------------------

施策大綱大項目	計画の推進	中項目	1.計画の推進
中項目の基本方針	厳しい行財政状況のなかで、効率的・機動的な行財政運営や行政情報の公開を進め、市民と行政の参画と協働にもとづく透明性の高い行政をめざすとともに、本総合計画の着実な実現を図る。		

施策名	行政改革の推進
-----	---------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	行政評価システムを確立し、効率的な行財政運営を目指すとともに、行財政情報の一層の透明化と、市民と行政の役割分担の明確化により、市民と行政のパートナーシップの構築を進める。 また、給与・人事制度の見直し、組織の効率化に向けた再編成などを進め、職員の意識改革を推進する。
---	--

施策の実施状況と課題	行財政改革については篠山再生計画(行財政改革編)を平成20年11月に策定し、抜本的な取組みを進めるとともに、毎年度その効果を検証し、新たな改革項目にも取り組んでいる。取り組み結果や検証等は市民で構成される篠山再生計画推進委員会において審議をいただき、市広報やホームページで広く公表している。計画の実施年度は平成22年度までとなっているが、今後においても現在の取組項目を引き続き実施することで着実に行財政改革を進める。 また、市民公募による庁内委員会への委員登用や、自治基本条例の制定など、市民とのパートナーシップについても市民参画の拡大を進めている。 行政評価については、平成21年度から施策評価に取り組んでおり、平成22年度には全85施策について評価結果をホームページで公表した。また、平成24年度に実施する第2次総合計画に対する評価については、本格実施に向けて総合計画・予算・行政評価の連動による効率的な行政運営が図れるよう、システム構築の検討・調整を進める。 給与・人事制度の見直し、組織再編についても、篠山再生計画(行財政改革編)及び第3次定員適正化計画にもとづき、計画どおり進めている。
------------	---

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
実質公債比率	市全体の公債費負担を示す財政指数	%	-	22.7	22.5	23.0		H22 宍粟市20.0
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
職員数の削減	普通会計正規職員数	人	553	421	414	479		H21 宍粟市467

総合評価	施策の達成度: -	-	篠山再生計画による行財政改革の取組みはほぼ着実に実行しており、特に財政運営については計画当初の収支見通しを下回ることなく財政指標などの改善が図れている。今後もまだ厳しい状況が続くことから、再生計画による行財政改革の取組みを継続すると共に、事業項目の見直し・点検を行う。 また、第2次総合計画による新しい行政評価システムの樹立に向け検討を行う。
	構成事務事業の妥当性: 計画通り進める		
	施策の方向性: これまで通り力を入れる		

施策	713	評価担当課名:企画課	関連部局:全ての部局	後期基本計画掲載 P.89
----	-----	------------	------------	------------------

施策大綱大項目	計画の推進	中項目	1.計画の推進
中項目の基本方針	厳しい行財政状況のなかで、効率的・機動的な行財政運営や行政情報の公開を進め、市民と行政の参画と協働にもとづく透明性の高い行政をめざすとともに、本総合計画の着実な実現を図る。		

施策名	適正な人口規模の実現
-----	------------

施策の内容 (後期基本計画記載事項の要約)	活力とにぎわいのあるまちづくりを継続・発展させていくために、適正な人口規模として6万人の実現を目指す。個性の尊重や共生を目指しながら、少子化、雇用、住環境、交通など人口の維持・増加につながる施策を様々な分野において効果的に展開する。また、体制やシステム面の整備など、適正な人口規模の実現に向けた創意工夫を全市をあげて取り組む。 一方、団塊世代の大量退職など、人口動向に流動的な要素があるため、基本構想における人口フレームについては適正な人口規模を踏まえた上で検討を行う。
--------------------------	--

施策の実施状況 と課題	現総合計画では、10年後の目標人口を6万人としてまちづくりを進めてきたが、都市回帰、少子高齢化など社会情勢の変化により人口はむしろ減少基調となってきた。兵庫県が示した平成32年(2020年)の篠山市の人口推計は、40,700人(中位標準型)となっている。そこで、篠山再生計画においては、子育て支援、景観、産業、文化など篠山の魅力を高め、発信することで、定住人口の確保を図り、また、平成22年12月に策定した第2次篠山市総合計画においても、活性化施策の展開により、平成32年(2020年)の目標人口として42,000人をめざしている。 人口の推移のみを注目するのではなく、変化する人口構造や市内においても市街地と周辺地域人口推計などに基づく対応が、今後の篠山市の地域づくりが課題となる。
----------------	---

主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
市内在住人口			人	47,367	45,352	44,756	42,000 (H32)		
主な施策指標	指標	の説明	単位	H16 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H22 目標値	対H22 達成度	類似他団体比較等
-									

総合評価	施策の達成度	-	第2次総合計画において人口見通しを42,000人としており、産業・観光振興、文化創造などにより地域活力を高め、人口減少社会の中で、「ふるさと篠山へ帰ろう住もう運動」に係る全庁的な施策を進めていくなど、市内人口の減少を食い止める施策を展開する。
	構成事務事業の妥当性	-	
	施策の方向性	これまで以上に力をいれる	

施策	714	評価担当課名:企画課	関連部局:	後期基本計画掲載 P.90
----	-----	------------	-------	------------------

施策大綱大項目	計画の推進	中項目	1.計画の推進
中項目の基本方針	厳しい行財政状況のなかで、効率的・機動的な行財政運営や行政情報の公開を進め、市民と行政の参画と協働にもとづく透明性の高い行政をめざすとともに、本総合計画の着実な実現を図る。		

施策名	計画のフォローアップ体制の確立
------------	------------------------

施策の内容 <small>(後期基本計画記載事項の要約)</small>	「総合計画」は長期的な展望に立ち、めざすべき将来像を達成するために実施する施策の体系や事業内容を定めたものであり、その推進にあたっては時代の情勢に柔軟に対応することも必要になってくるため、短期的な視点に立った実施計画を策定し、庁内の各部を横断する連絡調整体制を整えるとともに、計画の検証及び各個別計画との整合性を図る。また、一年ごとの人口の動向を確認・検証し、人口規模に即した事業調整や事業計画の見直しを図るとともに、市民の視点に立った効率的な施策を推進するため、基本計画の着実な実現を目指す。
--	---

施策の実施状況と課題	平成22年度からは全ての施策評価を実施することで、総合計画の進捗管理としているところである。 平成23年度からの第2次総合計画においては各施策の構成事業の優先度や必要性を見える形にして効率的な事業推進を図るため、実施計画を策定し、予算・行政評価と一体のものとしてPDCAの流れをより明確にすることで、施策の進行管理を行う。
-------------------	--

主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								
主な施策指標	指標の説明	単位	H16実績値	H21実績値	H22実績値	H22目標値	対H22達成度	類似他団体比較等
-								

総合評価	施策の達成度	-	計画の実効性をこれまで以上に高めるとともに、施策評価も含めたフォローアップ体制の構築を進める必要がある。 また、篠山再生計画行財政改革編や収支見通しと連動した評価を行っていく。
	構成事業の妥当性	計画通り進める	
	施策の方向性	これまで通り力を入れる	

